

2015年度

# 歯学部研究年報



明海大学

MEIKAI UNIVERSITY

# 目 次

	頁
形態機能成育学講座	
解剖学分野	1
口腔解剖学分野	3
生理学分野	5
口腔小児科学分野	7
歯科矯正学分野	12
口腔生物再生医工学講座	
生化学分野	20
微生物学分野	22
歯周病学分野	24
基礎生物学分野	30
基礎化学分野	31
機能保存回復学講座	
歯科生体材料学分野	32
歯科補綴学分野(有床義歯)	34
歯科補綴学分野(クラウンブリッジ)	36
保存治療学分野	41
オーラル・リハビリテーション学分野	43
摂食嚥下リハビリテーション学分野	45
基礎物理学分野	48
病態診断治療学講座	
病理学分野	49
薬理学分野	52
総合臨床歯科学分野	59
歯科放射線学分野	62
口腔顎顔面外科学分野(Ⅰ)	66
口腔顎顔面外科学分野(Ⅱ)	69
高齢者歯科学分野	72
歯科麻酔学分野	74
歯科法医学分野	80
社会健康科学講座	
口腔衛生学分野	82
スポーツ歯学分野	85
医療情報科学分野	86
障がい者歯科学分野	87
基礎数学・統計学分野	89
総合臨床医学講座	
内科学分野	90
眼科学分野	91
特別研究室	
M P L	92

# 形態機能成育学講座

解 剖 学 分 野

口 腔 解 剖 学 分 野

生 理 学 分 野

口 腔 小 児 科 学 分 野

齒 科 矯 正 学 分 野

# 解剖学

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) Inoue K, Bando Y, Sakiyama K, Takizawa S, Sakashita H, Kondo H, Amano O: Development and regression of the thyroglossal duct in mice. *Ann Anat.* 200: 54-65. 2015
- 2) Sakagami H, Shimada C, Kanda Y, Amano O, Sugimoto M, Ota S, Soga T, Tomita M, Sato A, Tanuma S, Takao K, Sugita S: Effects of 3-styrylchromones on metabolic profiles and cell death in oral squamous cell carcinoma cells. *Toxicol Rep.* 2: 1281-1290. 2015
- 3) 横塚裕二, 重松久夫, 坂東康彦, 崎山浩司, 天野 修, 坂下英明: マウス咽頭・喉頭筋における心筋型脂肪酸結合タンパクの局在. *小児口腔外.* 25(3): 126-139. 2015

### 2. 全国学会

#### (2) シンポジウム

- 1) 天野 修: 唾液腺筋上皮の形態変化一腺の比較・成長加齢・外科切除一, 第 25 回日本解剖学会関東支部懇話会, 2015, 6
- 2) 崎山浩司, 瀧澤将太, 坂東康彦, 坂下 英, 天野 修: 癌が舌筋の形態や特性に与える影響, 第 57 回歯科基礎医学会学術大会・総会 (新潟市), 2015, 9
- 3) 天野 修, 川邊好弘, 溝部健一, 平良芙蓉子, 三宅玄輝, 崎山浩司, 荒木久生: 外分泌腺における筋上皮の意義一唾液腺筋上皮の形態変化一, 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 郡山, 2016, 3

#### (3) 一般演題

- 1) 坂東康彦, 坂下 英, 崎山浩司, 天野 修: レチノイン酸欠乏・過剰による septoclast の増殖抑制と形態変化の誘導. 第 57 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟 2015 年 9 月
- 2) 坂下 英, 坂東康彦, 平良芙蓉子, 崎山 浩司, 天野 修: マウスメッセル軟骨におけるゼプトクラストの局在と三次元的形態. 第 57 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟 2015 年 9 月
- 3) 坂上 宏, 田中庄司, 村上幸生, 片山 直, 天野 修, 横瀬敏志: ユージノールにより誘導される口腔正常細胞の代謝プロファイルの変化. 第 57 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 新潟 2015 年 9 月
- 4) H Sakashita, Y Bando, K Sakiyama, Y Kawabe, Y Owada, T Fuyoko, G Miyak, Y Komine, H Sakashita, O Amano: Immunolocalization of E-FABP in Meckel's

- Cartilage of Mice. 第 39 回峠の会 (形態学セミナー), 盛岡, 2015 年 7 月
- 5) 天野 修, 川邊好弘, 溝部健一, 坂東康彦, 坂下 英, 崎山浩司: 片側顎下腺切除後の術側・非術側ラット顎下腺筋上皮細胞の形態変化. 第 39 回峠の会 (形態学セミナー), 盛岡, 2015 年 7 月
  - 6) Bando Y, Sakashita H, Yamamoto M, Iseki S, Owada Y, Amano O: Influence by excess and deficiency of retinoic acids on septoclasts in the epiphyseal plate of mice. 第 39 回峠の会 (形態学セミナー), 盛岡, 2015 年 7 月
  - 7) 坂下 英, 坂東康彦, 崎山浩司, 大和田祐二, 天野 修, マウスメッセル軟骨におけるセプトクラストの分布と形態変化. 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 郡山市, 2016 年 3 月
  - 8) 井上勝元, 崎山浩司, 坂下 英, 滝澤将太, 坂東康彦, 坂下英明, 天野 修, マウス甲状舌管の移動経路と消失機構. 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 郡山市, 2016 年 3 月
  - 9) 坂東康彦, 坂下 英, 崎山浩司, 山本 美由紀, 井関尚一, 大和田祐二, 天野 修, マウス骨端板の septoclast におけるレチノイン酸欠乏・過剰による増殖抑制と形態変化. 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 郡山市, 2016 年 3 月
  - 10) 平良芙蓉子, 川邊好弘, 坂東康彦, 崎山浩司, 天野 修, ラット Ebner 腺の筋上皮細胞の分布と形態. 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 郡山市, 2016 年 3 月
  - 11) 三宅言輝, 平良芙蓉子, 坂東康彦, 崎山浩司, 天野 修, ラット舌下腺筋上皮におけるアディポネクチンの特異的局在. 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 郡山市, 2016 年 3 月
  - 12) 崎山浩司, 小峰雄介, 坂東康彦, 天野 修, 下顎前歯部舌側領域の顎舌骨筋と静脈貫通部の関係. 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 郡山市, 2016 年 3 月

## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 基板研究 (C): 天野 修, 軟骨吸収における脂肪酸と脂肪酸結合タンパク質の役割. 課題番号 26462796.

# 口腔解剖学

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) Nakayachi M, Ito J, Hayashida C, Ohyama Y, Kakino A, Okayasu M, Sato T, Ogasawara T, Kaneda T, Suda N, Sawamura T, Hakeda Y. Lectin-like oxidized low-density lipoprotein receptor-1 abrogation causes resistance to inflammatory bone destruction in mice, despite promoting osteoclastogenesis in the steady state. *Bone*, 75:170-182, 2015.  
doi:10.1016/j.bone.2015.02.025.

## C. その他の刊行物など

- 1) 林田千代美, 羽毛田慈之, 海外文献紹介「破骨細胞特異的カテプシン K 遺伝子欠損は S1P 依存的骨形成を促進する」, メディカルレビュー社, 大阪, THE BONE, 29(2):198-198, 2015. (文献紹介)
- 2) 伊東順太/羽毛田慈之 NADPH オキシダーゼ 4 の破骨細胞形成促進による骨量の制限. THE BONE, 29(2):198-198, 2015. (文献紹介)

## D. 学会発表

### 2. 全国学会

#### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 林田千代美. 骨細胞は破骨細胞形成抑制因子としてインターフェロン $\beta$ を産生する. 第27回歯科基礎医学会 学会奨励賞 受賞講演; 解剖学部門, 第57回歯科基礎医学会学術大会, 新潟, 歯科基礎医学会学会奨励賞受賞講演, 2015年, 9月.

#### (3) 一般演題

- 1) 林田千代美. 破骨細胞が産生する非液性タンパク質 keratoepithelin の骨吸収・骨形成カップリングファクターとしての機能解析, 明海歯科医学会第26回学術大会, 坂戸, 2015年, 6月.
- 2) 伊東順太, 林田千代美, 大山洋子, 佐藤卓也, 羽毛田慈之. レクチン様酸化 LDL 受容体-1 (LOX-1) 欠損は定常状態の破骨細胞形成を促進するが, LPS 誘導炎症性骨破壊には抵抗性を示す, 第57回歯科基礎医学会学術大会, 新潟, 2015年, 9月.

## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 基盤研究 (B) 羽毛田慈之 (代表) : 炎症性骨疾患の骨吸収への脂質の役割 - 特に

酸 LDL 受容体 LOX-1 の役割を探る－. 2015 年度.

- 2) 若手研究 (B) 伊東順太 (代表) : 炎症によって惹起される骨芽細胞の LOX-1 依存的 RANKL 発現機構の解明. 2015 年度.
- 3) 若手研究 (B) 林田千代美 (代表) : 骨細胞由来の未知の破骨細胞形成抑制因子の同定とその作用機構の解明. 2015 年度.

3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 宮田研究奨励金 (A) 伊東順太 : LPS 誘導歯周炎モデルマウスの歯槽骨吸収に対する lectin-like oxidized LDL receptor-1 (LOX-1) の役割に関する研究. 2015 年度

# 生理学

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) 溝口尚子, 久保英範, 村本和世, 鼓索神経・嗅球への電気刺激に対する一次味覚野および周辺領域における応答変化, "日本味と匂学会誌 22 (3), 279-282", 2015, 12

### 2. 総説

- 1) 村本和世, 「におい」の生物学, "小児保健研究 74 (3), 355-360", 2015, 5

## C. その他の刊行物など

- 1) 村本和世, 「研究室紹介」明海大学歯学部形態機能成育学講座生理学分野, "日本味と匂学会誌 22 (2), 192-194", 2015, 8
- 2) 村本和世, 高齢者の摂食・嚥下, "日本健康医療学会雑誌 3 (1), 34-35", 2015, 10

## 2. 全国学会

### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 村本和世, 高齢者の摂食・嚥下, 日本健康医療学会第8回総会・学術大会, 千代田区, 東京, 2015, 10

### (3) 一般演題

- 1) 溝口尚子, 久保英範, 村本和世, The excitatory responses in rat gustatory cortex and surrounding area induced by electrical stimulation to the chorda tympani nerve and/or main olfactory bulb., 日本味と匂学会第49回大会, 岐阜, 2015, 9
- 2) 宇津木千鶴, 片山直, 村本和世, 町野守, 残存歯数と嗅覚機能の関係, 日本味と匂学会第49回大会, 岐阜, 2015, 9
- 3) 箕田碧, 溝口尚子, 村本和世, 須田直人, 歯根膜領域への電気刺激に対する大脳皮質応答, 第74回日本矯正歯科学会大会, 福岡, 2015, 11

## 3. 地方会

### (3) 一般演題

- 1) 溝口尚子, 久保英範, 村本和世, 歯根膜領域電気刺激に対する大脳皮質応答について, 第132回日本薬理学会関東部会, 浦安, 千葉, 2015, 7

## E. その他の研究会、講演など

- 1) 村本和世, 化学感覚の統合・風味形成機構の解析, 平成27年度一般社団法人歯科基礎医学会第1回社員総会生理学分科会, 千代田区, 東京, 2015, 4



## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 挑戦的萌芽研究：村本和世（代表），脂味の受容と脂質摂取調節における唾液リパーゼの役割（平成 27 年度～平成 29 年度），
- 2) 若手研究（B）：溝口尚子（代表），

### 3. 宮田研究奨励金（A）および（E）

- 1) 宮田研究奨励金（A）：溝口尚子，歯根膜感覚の脳皮質間連絡による情報処理機構について，2015 年度
- 2) 宮田研究奨励金（E）：久保英範，マウス島皮質での味覚または嗅覚応答に対する風味の連合学習による影響，2015 年度

# 口腔小児科学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 渡部 茂: 3. 齲蝕予防薬 新版 日本歯科用医薬品集 金子明寛編集, 永末書店, 東京, 2015年5月, pp. 45-51.

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) 佐野哲文, 大山洋子, 森 一将, 龍田恒康, 佐野正之, 渡部 茂, 嶋田 淳: 小児歯科専門医院における外傷性歯牙脱臼の臨床的検討, 小児口外, 25:140-146, 2015年12月
- 2) 大橋英夫, 小口寛子, 中村昭博, 中村徳三, 雀部貴志, 荻原 孝, 渡辺幸嗣, 渡部 茂: 痛みのない歯科治療を求めて—表面麻酔剤の使用に関する調査—, 日本健康医療学会雑誌, 3: 21-26, 2015年12月
- 3) Koji Watanabe, Toshiko Tanaka, Ayaka Enomoto, Katsura Saeki, Shigenori Kawagishi, Hideaki Nakashima, Kenshi Maki, Shigeru Watanabe: Acid Elution of Aluminum and Calcium from Human Deciduous Enamel in Relation to Dental Caries, Open Journal of Stomatology:54-63, 2016, 2
- 4) 鈴木 亮, 荻原 孝, 大場英和, 三木崇裕, 山田亜由子, 雀部貴志, 中村昭博, 渡辺泰平, 中村徳三, 小野義晃, 巢瀬賢一, 渡辺幸嗣, 渡部 茂: 小児歯科外来における初診患者の実態調査—口腔外科的主訴での来院患児—, 明海歯学誌, 45:1-6, 2016年2月

### 2. 総説

- 1) 渡部 茂: 0歳から始める口腔ケア—, 母子保健 2016年682号: 1-3, 2016年2月
- 2) 渡部 茂: 第31回小児保健セミナー 最近の話題 歯科保健 up to date —唾液の機能—, 小児保健研究 75(2): 161-164, 2016年3月

## C. その他の刊行物など

- 1) 渡部 茂, 荻原 孝, 中村昭博, 鈴木 亮, 鈴木 昭, 諸星孝夫: 特別企画 第29回日本小児歯科学会関東地方会大会より 「子ども大学」, 東京臨床出版株式会社, 月刊 小児歯科臨床 4月号: 64-67, 2015年4月
- 2) 渡部 茂: 研修医のための乳幼児健診のすすめ 口腔健診のポイント, 小児科臨床 79(5): 665-669, 2015年6月
- 3) 渡部 茂: 歯科に求められる児童虐待への対応と予防 —まとめと提言—, 小児歯科

臨床 20 (9) : 28-31, 2015 年 9 月

- 4) 渡部 茂: 子ども虐待の早期発見のために歯科ができることー子ども虐待の現状と対応ー, DENTALDIAMOND, 40 (15) : 61-63, 2015 年 11 月

#### D. 学会発表

##### 1. 国際学会

###### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) Shigeru Watanabe: For some of the procedures in childrens dental practice, The Summit Forum of Minimal Invasive Technique, 2016, 3
- 2) Shigeru Watanabe: Saliva and Oral Health, Dental South China International Expo & Conference, Guangzhou, China, 2016, 3

###### (3) 一般演題

- 1) Reina Odai, Kazunori Adachi, Shunsuke Hino, Tetsuo Simoyama, Hiroshi Sakagami, Gills J. Lavigne and Barry J. Sessle : Time-related changes of jaw-opening reflex excitability in quiet sleep in rats during post-surgical recovery, Society for neuroscience 2015, Chicago, 2015, 10

##### 2. 全国学会

###### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 渡部 茂: 子どもたちが輝く明日のために 歯科に求められる児童虐待への対応と予防, 第 53 回日本小児歯科学会大会, 広島 シンポジウム 2, 2015 年 5 月
- 2) 渡辺幸嗣: 小児の養育環境と齲蝕罹患状況, 虐待防止・歯科研究会, 東京, 2015 年 6 月
- 3) 渡部 茂: 咀嚼と唾液, 第 8 回日本健康医療学会学術集会, 東京, 2015 年 10 月
- 4) 渡部 茂: 口腔環境と唾液, 第 19 回日本病態栄養学会年次学術集会シンポジウム, パシフィコ横浜, 2016 年 1 月

###### (3) 一般演題

- 1) 渡辺幸嗣, 中村昭博, 尾台令奈, 巢瀬賢一, 小野義晃, 諸星孝夫, 渡部 茂: 小児における養育環境と齲蝕罹患との関連性について, 第 53 回日本小児歯科学会大会, 広島, 2015 年 5 月
- 2) 駒澤大悟, 渡部 茂: 異なる材質のブラケットモデルへのトルク負荷時に生じる応力分布の差違 三次元有限要素法, 第 53 回日本小児歯科学会大会, 広島, 2015 年 5 月
- 3) 三木崇裕, 大場英和, 中村朋美, 沖殿ちひろ, 池田英史, 尾臺令奈, 渡部 茂: 上顎急速拡大装置を用いた咬合誘導の 2 例, 第 53 回日本小児歯科学会大会, 広島, 2015 年 5 月
- 4) 大場英和, 沖殿ちひろ, 中村朋美, 三木崇裕, 江田康輔, 中村徳三, 渡部 茂: 上顎前歯部ならびに上顎右側小臼歯部に埋伏過剰歯を有し咬合誘導を行った 1 例, 第 53 回日本小児歯科学会大会, 広島, 2015 年 5 月

- 5) 江田康輔, 中村朋美, 中村徳三, 大場英和, 中村昭博, 渡部 茂: ムーシールドによる過蓋咬合の早期治療例, 第 53 回日本小児歯科学会大会, 広島, 2015 年 5 月
- 6) 棚瀬康介, 荻原 孝, 駒澤大悟, 鈴木 亮, 渡部 茂: 過去 5 年間の本学小児歯科における舌小帯短縮症の実態調査, 第 53 回日本小児歯科学会大会, 広島, 2015 年 5 月
- 7) 中村昭博, 渡辺泰平, 中村徳三, 雀部貴志, 渡辺幸嗣, 渡部 茂: 日常生活における口腔内唾液 pH のモニタリング, 第 53 回日本小児歯科学会大会, 広島, 2015 年 5 月
- 8) 中村朋美, 中村徳三, 大場英和, 江田康輔, 中村昭博, 渡部 茂: 上顎急速拡大治療と気道の変化についての検討, 第 53 回日本小児歯科学会大会, 広島, 2015 年 5 月
- 9) 渡辺幸嗣, 巢瀬賢一, 渡部 茂: 小児の養育環境と口腔内環境について, 第 62 回日本小児保健協会学術集会, 長崎, 2015 年 6 月
- 10) 荻原 孝, 佐野正之, 渡部 茂: 近年注目されている歯科疾患—エナメル質形成不全 (MIH)—, 第 62 回日本小児保健協会学術集会, 長崎, 2015 年 6 月
- 11) 中村昭博, 渡辺泰平, 中村徳三, 雀部貴志, 渡辺幸嗣, 渡部 茂: 飲食後の口腔内 pH のモニタリング, 第 62 回日本小児保健協会学術集会, 長崎, 2015 年 6 月
- 12) 吉田美香子: 定期検診の関わりを通して学んだこと, 第 33 回日本顎咬合学会学術大会, 東京, 2015 年 6 月
- 13) 荻原 孝: 光誘導蛍光定量法 (QLF 法) を用いた亜鉛によるエナメル質再石灰化の評価, 明海歯科医学会第 26 回学術大会, 埼玉, 2015 年 6 月
- 14) 尾臺令奈: ラットの安静睡眠時における開口反射誘発興奮性の術後性変化, 明海歯科医学会第 26 回学術大会, 埼玉, 2015 年 6 月
- 15) 尾臺令奈, 安達一典, 渡部 茂, 坂上 宏: ラットの術後性回復と安静睡眠時の末梢刺激応答性変化, 第 57 回歯科基礎医学会, 新潟, 2015 年 9 月
- 16) 渡辺幸嗣, 鈴木 亮, 中村昭博, 池田英史, 江田康輔, 吉原幸司郎, 渡部 茂: Quantitative Light-induced Fluorescence-Digital による歯垢検知法, 第 8 回日本健康医療学会, 東京, 2015 年 10 月
- 17) 渡辺幸嗣, 中村昭博, 尾臺令奈, 巢瀬賢一, 小野義晃, 渡部 茂: 小児の齲蝕罹患に大きな影響を与える生活習慣, 第 8 回日本健康医療学会, 東京, 2015 年 10 月
- 18) 吉田美香子, 吉原幸司郎, 棚瀬康介, 江田康輔, 池田英史, 小野義晃, 巢瀬賢一, 鈴木 昭, 渡部 茂: 上顎前歯部過剰歯の臨床統計的検討, 第 8 回日本健康医療学会, 東京, 2015 年 10 月
- 19) 小口寛子, 中村徳三, 鈴木 亮, 駒澤大悟, 渡部 茂: 咀嚼時の舌運動と舌骨上筋群筋活動との関連, 第 8 回日本健康医療学会, 東京, 2015 年 10 月
- 20) 鈴木 亮, 駒澤大悟, 小口寛子, 渡部 茂: 舌小帯短縮症患者の咀嚼機能ならびに咀嚼筋活動に関する研究, 第 8 回日本健康医療学会, 東京, 2015 年 10 月
- 21) 中村昭博, 佐藤智之, 大場英和, 渡辺泰平, 渡辺幸嗣, 渡部 茂: 清涼飲料飲用時における口腔内唾液 pH のモニタリング, 第 8 回日本健康医療学会, 東京, 2015 年 10 月

- 22) 渡辺泰平, 市川智久, 中村昭博, 吉原幸司郎, 渡辺幸嗣, 渡部 茂: 口腔内唾液 pH の長期モニタリングー睡眠中の変化についてー, 第 8 回日本健康医療学会, 東京, 2015 年 10 月
- 23) 大橋英夫, 荻原 孝, 渡辺幸嗣, 渡部 茂, 痛くない局所麻酔への探求ー小児歯科専門医と一般開業医の違いー, 第 8 回日本健康医療学会学術大会, 東京, 2015 年 10 月
- 24) 中村朋美, 中村徳三, 大場英和, 江田康輔, 中村昭博, 渡辺幸嗣, 渡部 茂: 上顎左側犬歯の埋伏と交叉咬合および叢生を伴った 1 例, 第 8 回日本健康医療学会, 東京, 2015 年 10 月
- 25) 中村朋美, 中村徳三, 大場英和, 江田康輔, 中村昭博, 渡部 茂: ムーシールドによる過蓋咬合の早期治療例, 第 8 回日本健康医療学会, 東京, 2015 年 10 月
- 26) 中村朋美, 中村徳三, 大場英和, 江田康輔, 中村昭博, 渡辺幸嗣, 渡部 茂: 上唇小帯強直症手術により口唇または鼻の形態改善がみられた症例, 第 8 回日本健康医療学会, 東京, 2015 年 10 月
- 27) 中村朋美, 中村徳三, 大場英和, 江田康輔, 中村昭博, 渡部 茂: 上顎急速拡大治療と気道の変化についての検討ー第 2 報ー, 第 8 回日本健康医療学会, 東京, 2015 年 10 月
- 28) 駒澤大悟, 渡部 茂: ハイブリッドタイプ急速拡大装置を用いた上顎前方牽引時の骨切り術の違いによる応力分布の差異ー三次元有限要素法, 第 27 回日本小児口腔外科学会, 宮崎, 2015 年 10 月
- 29) 中村昭博: 口腔内 pH の 1 日の変化ー異なった部位でのモニタリングー, 明海歯科医学会第 27 回学術大会, 埼玉, 2015 年 10 月
- 30) 雀部貴志: QLF を用いた初期脱灰病変の診査方法の確立, 明海歯科医学会第 27 回学術大会, 埼玉, 2015 年 10 月
- 31) 吉田美香子, 巢瀬賢一, 渡部 茂: 早期より適正な食事・口腔管理を受けた Prader-Willi 症候群の 1 症例, 第 32 回日本障害者歯科学会学術大会, 名古屋, 2015 年 11 月
- 32) 佐野哲文, 河村良彦, 荻原 孝, 渡部 茂, 佐野正之, 嶋田 淳: 外傷性歯牙脱臼受傷に関する臨床的検討ー受傷患児の性格および行動パターンとの関連ー, 第 27 回一般社団法人日本小児口腔外科学会学術大会, 宮崎, 2015 年 11 月
- 33) 鈴木 亮: 舌小帯短縮症の機能障害に関する研究, 明海歯科医学会第 28 回学術大会, 埼玉, 2015 年 12 月

### (3) 一般演題

- 1) 鈴木 亮, 駒澤大悟, 小口寛子, 渡部 茂: 舌小帯短縮症患者の咀嚼機能に関する研究, 日本小児歯科学会関東地方会第 30 回記念大会, 東京, 2015 年 9 月
- 2) 佐野哲文, 荻原 孝, 龍田恒康, 渡部 茂, 嶋田 淳: 上顎第三大臼歯の存在が,

上顎第二大臼歯の萌出を妨げた1例, 日本小児歯科学会関東地方会第30回記念大会,  
東京, 2015年9月

- 3) 中村徳三, 大場英和, 江田康輔, 中村昭博, 渡部 茂, 中村朋美: 上顎急速拡大治療と気道の変化についての検討(第2報), 日本小児歯科学会関東地方会第30回記念大会, 東京, 2015年9月
- 4) 池田英史: 本学小児歯科における Er:YAG レーザーの導入と安全管理, 日本レーザー歯学会第1回症例報告会, 東京, 2015年11月

#### E. その他の研究会、講演など

- 1) 渡部 茂: 子ども虐待の現状と対策ー歯科医の視点からー, 札幌市児童相談所主催 子ども虐待対応のための説明会, 札幌, 2015年11月
- 2) 渡部 茂: 歯科保健 up to date, 第31回日本小児保健協会セミナー, 東京, 2015年11月
- 3) 渡部 茂: 生活環境を守る番人としての歯科医療, 平成27年度子育て支援地域連合推進講習会, 埼玉, 2016年1月
- 4) 渡部 茂: 唾液ー歯と口腔の健康, 千葉県衛生士会 2016年度ステップアップセミナー, 千葉, 2016年3月

#### F. 研究助成金等の受入れ

##### 3. 宮田研究奨励金(A)および(E)

- 1) 駒澤大悟: 異なる固定法および骨切り術の有無における急速拡大時の変位解析ーデジタル画像関連法を用いてー, 宮田研究奨励金(A)
- 2) 中村昭博: 小唾液腺唾液の睡眠中口腔環境への影響, 宮田研究奨励金(E)

## 歯科矯正学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Fujimoto M, Ohte S, Osawa K, Miyamoto A, Tsukamoto S, Mizuta T, Kokabu S, Suda N, Katagiri T. Mutant activin-like kinase 2 in fibrodysplasia ossificans progressiva are activated via T203 by BMP type II receptors. *Mol Endocrinol.* 2015 Jan;29(1):140-52.
- 2) Mano, H., Nakatani, S., Kimira, Y., Mano, M., Sekiguchi, Y., Im, R. H., ... & Wada, M. (2015). Age-related decrease of IF5/BTG4 in oral and respiratory cavities in mice. *Bioscience, biotechnology, and biochemistry*, 79(6), 960-968 (2015.02)
- 3) Matsui S, Umezaki E, Komazawa D, Otsuka Y, Suda N. Evaluation of mechanical properties of esthetic brackets. *J Dent Biomech.* 2015 Feb 26(6)1-7.
- 4) 大塚雄一郎, 藤田昌樹, 江川広人, 三條恵介, 藤本舞, 龍田恒靖, 松井成幸, 嶋田淳, 須田直人. 骨格性下顎前突症例における下顎枝分割位置の違いが術後成績に与える影響. *日本顎変形症学会雑誌* (0916-7048)25 巻 1 号 Page32-41(2015.04)
- 5) Nakayachi M, Ito J, Hayashida C, Ohyama Y, Kakino A, Okayasu M, Sato T, Ogasawara T, Kaneda T, Suda N, Sawamura T, Hakeda Y. Lectin-like oxidized low-density lipoprotein receptor-1 abrogation causes resistance to inflammatory bone destruction in mice, despite promoting osteoclastogenesis in the steady state. *Bone.* 2015 Jun;75:170-182.
- 6) 三條恵介, 大塚雄一郎, 品川令, 富田至保, 箕田碧, 長谷川尚哉, 須田直人. 精度の高い歯列画像を有する三次元顎顔面頭蓋画像の再構成. *日本顎変形症学会雑誌* (0916-7048)25 巻 3 号 Page207-217(2015.08)
- 7) 田中恵理, 真野樹子, 松本美樹, 長谷川紘也, 瀬川千花子, 品川令, 富田至保, 箕田碧, 奥結香, 重松久夫, 坂下英明, 須田直人. Platelet-rich plasma (PRP) を用いた片側性唇顎口蓋裂児における顎裂部二次骨移植の術後評価. *Orthodontic Waves-Japanese Edition* 74 巻 2 号 111-120 (2015.09)
- 8) 金子浩巳, 大塚雄一郎, 長谷川尚哉, 須田直人. 片側性咬筋肥大を伴う成長期顔面非対称の一例 非観血的治療とその経過, *明海歯科医学*(1881-4298)45 巻 1 号 Page92-101(2016.02)
- 9) 遠藤則和, 松井成幸, 品川令, 富田至保, 箕田碧, 日比野靖, 中畠裕, 須田直人. セルフエッチングプライマータイプ矯正歯科用接着システムのヒト歯面における接着強さとエナメル質への影響, *Orthodontic Waves-Japanese Edition*

### 3. 症例報告

- 1) 佐々木会, 田中恵理, Frank Dorotyya, 品川令, 加藤悠歩, 藤本舞, 奥結香, 重松久夫, 真野樹子, 坂下英明, 須田直人. 上顎骨延長法後に術後安定性が得られた片側性唇顎口蓋裂の 1 例(A Case of Unilateral Cleft Lip and Palate with Postoperative Skeletal Stability after Maxillary Distraction Osteogenesis)(英語). 日本顎変形症学会 (0916-7048)25 卷 3 号 223-233(2015.08)

### 4. 短報

- 1) 須田直人. 矯正治療における診断と治療のイノベーション. 日本歯科理工学会誌 34 卷 4 号(2015.07)
- 2) 須田直人. 注目の海外文献. Clinical Calcium 25 卷 9 号(2015.09)
- 3) 須田直人. 遺伝性疾患における歯の以上とその多様性. 腎と骨代謝 29 卷 1 号 (2016.01)

## D. 学会発表

### 1. 国際学会

#### (3) 一般演題

- 1) Shinagawa R, Tamaki Y, Suda N, Nakahara T. In vitro and in vivo stem cell characteristics of human dental follicle and periodontal ligament cells isolated using two distinct methods. International Society for Stem Cell Research (ISSCR) 13th Annual meeting. 24-27 June, 2015, Stockholm, Sweden.
- 2) Yoshikawa M, Suda N. Electron microscopic study on enamel crystallites after tooth bleaching. 13th International Symposium on Biomineralization. 16-19 September, 2015, Granada, Spain.
- 3) Otsuka Y, Sanjo K, Matsui S, Suda N. Biomechanical study on distalization of maxillary molars by Temporary anchorage devices (TADs). 8th international orthodontic congress 2015. 27-30 September, 2015, London, United kingdom.
- 4) Shinagawa R, Tamaki Y, Nakahara T, Suda N. Cementogenesis by human mesenchymal stem cells isolated from periodontal ligaments. 8th international orthodontic congress 2015. 27-30 September, 2015, London, United kingdom.
- 5) Sanjo K, Otsuka Y, Suda N. Effect of window levels on integration of craniofacial CT image and digital image of dental model. 8th international orthodontic congress 2015. 27-30 September, 2015, London, United kingdom.



- 6) Machiya A, Fujimoto M, Tsukamoto S, Kuratani M, Ohte S, Suda N, Katagiri T. Role of FKBP12 in Signal Transduction by Mutant ALK2 Responsible for Fibrodysplasia Ossificans Progressiva. ASBMR 2015 Annual Meeting. 9-12 October, 2015, Washington, USA.
- 7) Hasegawa N, Sasaki A, Takahashi K, Yu G, Suda N, Sakagami H, Adachi K. Temporal alterations of morphological and physiological features in experimental tooth movement model rats. Society for Neuroscience Annual Meeting. 17-21 October, 2015, Chicago, USA.
- 8) Otsuka Y, Sanjo K, Matsui S, Suda N, Biomechanical property of distal movement of maxillary molars using temporary anchorage devices (TADs), The 48th annual scientific congress association of orthodontists. 29-31 October, 2015, Gwangju, Korea.
- 9) Kato Y, Otsuka Y, Kaneko Y, Moriwaki Y, Sanjo K, Suda N. Analysis quantitative evaluation of asymmetry in mandibular prognathic cases based on three dimensional analysis, The 48th annual scientific congress association of orthodontists. 29-31 October, 2015, Gwangju, Korea.
- 10) Sanjo K, Matsumoto M, Sakurai Y, Matsui S, Suda N. A case with keratocystic odontogenic tumor undergone sagittal splitting ramus osteotomy, The 48th annual scientific congress association of orthodontists. 29-31 October, 2015, Gwangju, Korea.
- 11) Fujimoto M, Mano M, Otsuka Y, Suda N. Orthodontic approach to traffic injury cases, The 48th annual scientific congress association of orthodontists. 29-31 October, 2015, Gwangju, Korea.
- 12) Moriwaki Y, Otsuka Y, Kaneko Y, Kato Y, Onuki T, Suda N :Evaluation of tongue pressure on patients with ankyloglossia before and after lingual frenotomy, The 48th annual scientific congress association of orthodontists. 29-31 October, 2015, Gwangju, Korea.
- 13) Machiya A, Fujimoto M, Ohte S, Tsukamoto S, Kuratani M, Suda N, Katagiri T. A Roles of FKBP12 and BMP TypeII receptors in the activation mechanism of mutant ALK2 responsible for in Fibrodysplasia Ossificans Progressiva (FOP). ANZBMS Annual Scientific Meeting 2015, 1-4 November, 2015, Tasmania, Australia
- 13) Suda N. Cementum formation by human mesenchymal stem cells. 2016 Frontier Meeting in Hong Kong, 12 February, 2016, Hong Kong.

## 2. 全国学会

### (2) シンポジウム

- 1) 須田直人. 口の中から考える全身の健康. 城西大学市民大学. 2015年5月23日, 坂戸, 埼玉.
- 2) 須田直人. 口腔の機能と矯正歯科治療. 城西大学薬学部フレッシュマンセミナー演習. 2015年6月22日, 坂戸, 埼玉.
- 3) 須田直人. マルファン症候群と口腔疾患. 岩手医科大学大学院集中講義. 2015年7月21日, 盛岡, 岩手.
- 4) 須田直人. シンポジウム: 歯科から臨床へ向かう「歯と歯周組織の再生医学」— 硬組織としての歯の特異性—. 第33回日本骨代謝学会学術集会. 2015年7月23-25日, 東京.
- 5) 須田直人. ダウン症児・者の噛み合わせと歯並びの治療. ダウン症患者会「チューリップの会」学術講演会. 2015年9月13日, 東京.
- 6) 須田直人. 口唇口蓋裂の基本知識と歯科衛生士の役割. 特別区歯科衛生士自主運営研究会. 2016年2月1日, 東京.
- 7) 須田直人. 地域医療における矯正歯科治療. 東京医科歯科大学大学院講義. 2016年3月4日, 東京.

### (3) 一般演題

- 1) 真野樹子, 石渡靖夫, 朝日藤寿一, 岩田敏男, 坂本輝雄, 森下格, 山本有理, 須田直人, 須佐美隆史, 斎藤功. 片側性唇顎口蓋裂における矯正歯科治療後の咬合に関する多施設アンケート調査, 第39回日本口蓋裂学会総会・学術集会. 2015年5月21-22日, 東京.
- 2) 川口祥子, 田草川徹, 吉川秀明, 龍田恒靖, 竹島浩, 川尻朱美, 真野樹子, 須田直人, 嶋田淳, 田村暢章. 術前CT画像により中頭蓋窩くも膜嚢胞が確認された1例, 第25回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会. 2015年6月4-5日, 東京.
- 3) 金子優, 大塚雄一郎, 加藤悠歩, 森脇由華, 藤田昌樹, 田草川徹, 龍田恒靖, 嶋田淳, 須田直人. 骨格性下顎前突患者における顎矯正手術後の口唇圧と舌圧の変化, 第25回特定非営利活動法人日本顎変形症学会総会・学術大会. 2015年6月4-5日, 東京.
- 4) 藤本舞, 真野樹子, 大塚雄一郎, 須田直人. 交通外傷症例に対する矯正歯科的アプローチ. 第74回東京矯正歯科学会. 2016年7月16日, 東京.
- 5) 町谷 亜位子, 藤本 舞, 塚本 翔, 大澤 賢次, 大手 聡, 須田 直人, 片桐 岳信.

- 進行性骨化性線維異形成症の ALK2 変異体活性化における FKBP12 の役割. 第 33 回日本骨代謝学会学術集会, 2015 年 7 月 23-25 日, 東京.
- 6) 町谷亜位子, 藤本舞, 須田直人, 片桐岳信. 進行性骨化性線維異形成症 (FOP) の ALK2 変異体の活性化機構における FKBP12 と BMP II 型受容体の役割 Roles of FKBP12 and BMP Type II Receptors in Signal Transduction BMP Signaling by Mutant ALK2 Responsible for Fibrodysplasia Ossificans Progressiva (FOP). 第 57 回歯科基礎医学会学術大会. 2015 年 9 月 11-13 日, 新潟.
  - 7) 川尻朱美, 松井成幸, 加藤悠歩, 大塚雄一郎, 佐々木会, 遠藤則和, 上里忠成, 須田直人. 頭蓋骨形態と下顎窩の位置の三次元解析. 第 74 回日本矯正歯科学術大会, 2015 年 11 月 18-20 日, 福岡.
  - 8) 箕田碧, 溝口尚子, 村本和世, 須田直人. 歯根膜領域への電気刺激に対する大脳皮質応答, 第 74 回日本矯正歯科学術大会. 2015 年 11 月 18-20 日, 福岡.
  - 9) 松井成幸, 梅崎栄作, 上里忠成, 大塚雄一郎, 須田直人. トルク負荷時における矯正用ブラケットの変形について. 第 74 回日本矯正歯科学術大会. 2015 年 11 月 18-20 日, 福岡.
  - 10) 吉川正芳, 藤田昌樹, 坂本幸弘, 須田直人. リン酸酸性フッ化ナトリウム (APF) 塗布剤のエナメル質結晶への影響について-第 2 報-. 第 74 回日本矯正歯科学術大会. 2015 年 11 月 18-20 日, 福岡.
  - 11) 富田至保, 日々野靖, 中嶋裕, 須田直人. 矯正用レジシン添加型ガラスイオノマーセメントの接着強さ -サーマルサイクルと紛液比の影響-. 第 74 回日本矯正歯科学術大会. 2015 年 11 月 18-20 日, 福岡.
  - 12) 上里忠成, 松井成幸, 櫻井洋介, 松本美樹, 梅崎栄作, 須田直人. 水平的偏位を伴った骨格性下顎前突症例における SSR0 後の下顎骨の応力解析. 第 74 回日本矯正歯科学術大会. 2015 年 11 月 18-20 日, 福岡.
  - 13) 金子優, 大塚雄一郎, 加藤悠歩, 森脇由華, 藤田昌樹, 田草川徹, 龍田恒靖, 嶋田淳, 須田直人. 顎矯正手術による下顎の移動と舌圧の変化, 第 74 回日本矯正歯科学術大会. 2015 年 11 月 18-20 日, 福岡.
  - 14) 加藤悠歩, 大塚雄一郎, 金子優, 森脇由華, 三條恵介, 須田直人. 非対称を伴う骨格性下顎前突症例に対する三次元評価に基づいた偏位の定量化. 第 74 回日本矯正歯科学術大会. 2015 年 11 月 18-20 日, 福岡.
  - 15) 町谷亜位子, 藤本舞, 大手聡, 片桐岳信, 須田直人. 進行性骨化性線維異形成症 (FOP) の異所性骨化における FKBP12 の役割. 第 74 回日本矯正歯科学術大会. 2015 年 11 月 18-20 日, 福岡.
  - 16) 三條恵介, 松本美樹, 櫻井洋介, 松井成幸, 田村暢章, 嶋田淳, 須田直人. 角化嚢胞性歯原性腫瘍摘出後に外科的矯正治療を行った骨格性下顎前突の 1 例. 第 74 回日本矯正歯科学術大会. 2015 年 11 月 18-20 日, 福岡.

- 17) 東金由莉, 能勢なつみ, 長谷川紘也, 須田直人. 精神遅滞を伴う歌舞伎症候群の矯正治療例. 第74回日本矯正歯科学術大会. 2015年11月18-20日, 福岡.
- 18) 金子浩巳, 大塚雄一郎, 須田直人. 片側性咬筋肥大を伴う成長期顔面非対称症例の一例. 第74回日本矯正歯科学術大会. 2015年11月18-20日, 福岡.
- 19) Shinagawa R, Tamaki Y, Suda N, Nakahara T. In vivo cementum formation by mesenchymal stem cells derived from extracted human teeth. The 74th Annual Meeting of the Japanese Orthodontic Society. 18-20 November, 2015, Fukuoka, Japan.
- 20) 町谷亜位子, 藤本舞, 大手聡, 塚本翔, 須田直人, 片桐岳信. 進行性骨化性線維異形成症(FOP)の骨化シグナル活性化機構におけるFKBP12とII型BMP受容体の役割. 第13回RCGMフロンティアシンポジウム. 2015年10月30-31日, 日高, 埼玉.
- 21) Machiya A, Fujimoto M, Ohte S, Tsukamoto S, Kuratani M, Suda N, Katagiri T. Roles of FKBP12 and BMP Type II Receptors in Activation of Mutant Forms of BMP Type I Receptor, ALK2, which are Responsible for Heterotopic Ossification in Fibrodysplasia Ossificans Progressiva (FOP). International Symposium 2015 Oral and Craniofacial Development and Diseases, 10-11 December, 2015, Osaka

## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 須田直人: 科学研究費 基盤研究(B) (25293422) 「歯根-歯周組織ユニット」の形成によるヒト歯根再生への新規ストラテジー, 2013年4月~2016年3月, 総額17,550千円
- 2) 須田直人: 科学研究費 挑戦的萌芽研究 (15K15759) 臍帯血幹細胞を用いた再生医学的アプローチによる早期顎裂閉鎖に向けて, 2015年4月~2017年3月, 総額3,640千円
- 3) 佐々木会: 科学研究費 若手研究(B) (26861799) 矯正誘発疼痛モデルの評価と新規疼痛管理薬物の探索, 2014年4月~2016年3月, 総額1,950千円
- 4) 長谷川紘也: 科学研究費 若手研究(B) (25870674) IRF-8による破骨細胞の抑制機構とメカニカルストレスの関係, 2013年4月~2016年3月, 総額4,030千円
- 5) 長谷川紘也: 2015年度宮田奨励金A, メカニカルストレスによる破骨細胞の分化促進機構について, 総額756千円
- 6) 品川令: 2015年度宮田研究奨励金E, ヒト抜去歯由来幹細胞を用いた歯根-歯周組織ユニットの再生のための基礎的研究, 総額300千円

## 受賞

- 1) 真野樹子, 時岡一幸, 松本美樹, 田中恵理, 長谷川紘也, 大浜令, 箕田碧, 富田至保, 中塚貴志, 須田直人. 歯肉骨膜形成術を施行した唇顎口蓋裂児の顎裂部の三次元評価. 第39回日本口蓋裂学会学術集会. 2015年5月21-22日. 東京. 優秀論文賞
- 2) 真野樹子, 石渡靖夫, 朝日藤寿一, 岩田敏男, 坂本輝雄, 森下格, 山本有理, 須田直人, 須佐美隆史, 斎藤功. 片側性唇顎口蓋裂における矯正歯科治療後の咬合に関する多施設アンケート調査, 第39回日本口蓋裂学会総会・学術集会. 2015年5月21-22日, 東京. 優秀ポスター賞
- 3) 町谷亜位子, 藤本舞, 塚本翔, 大澤賢次, 大手聡, 須田直人, 片桐岳信. 進行性骨化性線維異形成症の ALK2 変異体活性化における FKBP12 の役割. 第33回日本骨代謝学会学術集会. 2015年7月23-25日. 東京 ANZBMS2015 Travel Award
- 4) 金井悠佑, 梅崎栄作, 松井成幸, 駒澤大悟, 須田直人. Digital Image Correlation Analysis of Distal Movement of Mandibular Teeth Using Anchor Screws. 2015年8月28日. 新潟. 論文賞
- 5) Machiya A, Fujimoto M, Ohte S, Tsukamoto S, Kuratani M, Suda N, Katagiri T. Role of FKBP12 in Signal Transduction by Mutant ALK2 Responsible for Fibrodysplasia Ossificans Progressiva. ASBMR 2015 Annual Meeting, 9-12 October, 2015, Washington, USA. 2015 ASBMR Young Investigator Award
- 6) Machiya A, Fujimoto M, Ohte S, Tsukamoto S, Kuratani M, Suda N, Katagiri T. A Roles of FKBP12 and BMP TypeII Receptors in the activation mechanism of mutant ALK2 responsible for in Fibrodysplasia Ossificans Progressiva (FOP). ANZBMS Annual Scientific Meeting 2015, 1-4 November, 2015, Tasmania, Australia. Plenary Poster
- 7) 町谷亜位子, 藤本舞, 大手聡, 片桐岳信, 須田直人. 進行性骨化性線維異形成症 (FOP)の異所性骨化における FKBP12 の役割. 第74回日本矯正歯科学術大会, 2015年11月18-20日, 福岡. 優秀ポスター賞
- 8) Otsuka Y, Sanjo K, Matsui S, Suda N, Biomechanical property of distal movement of maxillary molars using temporary anchorage devices (TADs), The 48th annual scientific congress association of orthodontists. 29-31 October, 2015, Gwangju, Korea. Excellent Poster Presentation Award
- 9) Sanjo K, Matsumoto M, Sakurai Y, Matsui S, Suda N. A case with keratocystic odontogenic tumor undergone sagittal splitting ramus osteotomy, The 48th annual scientific congress association of orthodontists. 29-31 October, 2015, Gwangju, Korea. Excellent Poster Presentation Award
- 10) Moriwaki Y, Otsuka Y, Kaneko Y, Kato Y, Onuki T, Suda N :Evaluation of tongue

pressure on patients with ankyloglossia before and after lingual frenotomy,  
The 48th annual scientific congress association of orthodontists. 29-31  
October, 2015, Gwangju, Korea. Excellent Poster Presentation Award

# 口腔生物再生医工学講座

生 化 学 分 野

微 生 物 学 分 野

齒 周 病 学 分 野

基 礎 生 物 学 分 野

基 礎 化 学 分 野

# 生化学

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) Maeda A, Bandow K, Kusuyama J, Kakimoto K, Ohnishi T, Miyawaki S, and Matsuguchi T: Induction of CXCL2 and CCL2 by pressure force requires IL-1 $\beta$ -MyD88 axis in osteoblasts. *Bone*, 4, 76-82, 2015, 5
- 2) Bandow K, Kusuyama J, Kakimoto K, Ohnishi T, and Matsuguchi T: AMP-activated protein kinase (AMPK) activity negatively regulates chondrogenic differentiation. *Bone*, 4, 125-133, 2015, 5
- 3) Tomomura M, Suzuki R, Shirataki Y, Sakagami H, Tamura N, and Tomomura A: Rhinacanthin C inhibits osteoclast differentiation and bone resorption: Roles of TRAF6/TAK1/MAPKs/NF- $\kappa$ B/NFATc1 signaling. *PLoS ONE*, 10(6): e0130174, 2015, 6

### 2. 総説

- 1) Tomomura M, and Tomomura A: Caldecrin: A pancreas-derived hypocalcemic factor, regulates osteoclast formation and function. *World J Biol Chem*, 6(4), 358-365, 2015, 11

## C. その他の刊行物など

- 1) Tomomura M: Rhinacanthin C は破骨細胞の分化と骨吸収を抑制する : TRAF6/TAK1/MAPKs/NF- $\kappa$ B/NFATc1 シグナリングの役割. 1st Author 日本骨代謝学会、2015. 2

## D. 学会発表

### 2. 全国学会

#### (3) 一般演題

- 1) 田村暢章, 友村美根子, 坂東健二郎, 川口祥子, 嶋田淳, 友村明人: 細菌内毒素による破骨細胞分化誘導に対するカルデクリンの抑制効果. 第 33 回日本骨代謝学会, 東京, 2015, 7
- 2) 楠山譲二, 坂東健二郎, 大西智和, 仙波伊知郎, 松口徹也: p46JNK2 の構成的活性は脂肪分化前期における C/EBP  $\delta$  の発現に必須である. 第 57 回歯科基礎医学会学術大会, 新潟, 2015, 9
- 3) 柿元協子, 楠山譲二, 坂東健二郎, 大西智和, 松口徹也: MAP3K8/Cot/Tp12 シグナル分子はマクロファージの LPS 刺激による分解の後, NF- $\kappa$ B による mRNA の誘導により回復する. 第 57 回歯科基礎医学会学術大会, 新潟, 2015, 9



- 4) 前田綾、坂東健二郎、宮脇正一、松口徹也：自然免疫に重要な Myd88 と IL-1 $\beta$  は機械的刺激による骨芽細胞のケモカインの発現誘導に關与する．第 75 回日本矯正歯科学会大会，福岡，2015, 11
- 6) 坂東健二郎、田村暢章、川口祥子、友村美根子、友村明人：LPS により誘導される破骨細胞分化に対する Caldecrin の影響．第 38 回日本分子生物学会年会第 88 回日本生化学会大会合同大会，兵庫，2015, 12
- 7) 大西智和、楠山讓二、坂東健二郎、柿元協子、松口徹也：骨芽細胞分化による ATP 産生経路の呼吸鎖から解糖系への移行．第 38 回日本分子生物学会年会第 88 回日本生化学会大会合同大会，兵庫，2015, 12
- 8) Tomomura M, Suzuki R, Shirataki Y, Sakagami H, Tamura N, and Tomomura A : Anti-osteoclastic activity of rhinacanthin C, 第 38 回日本分子生物学会年会・第 88 回日本生化学会大会合同大会，兵庫，2015, 12
- 9) 楠山讓二、成昌ファン、大西智和、坂東健二郎、松口徹也：LIPUS 刺激は Nanog の発現誘導とリン酸化によって間葉系幹細胞の分化能を維持する．第 19 回超音波骨折治療研究会，東京，2016, 1

### 3. 地方会

#### (1) 特別講演（教育講演）

- 1) 友村美根子：血清カルシウム降下因子（カルデクリン）と骨代謝，第 130 回日本薬理学会関東部会，ランチョンセミナー，千葉，2015,7

### F. 研究助成金等の受入れ

#### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 友村美根子：破骨細胞形成におけるリナカンチン C の抑制作用の分子メカニズム，基盤研究(C)

## 微生物学分野

### A. 著書

#### 1. 著書

- 1) 大森喜弘、第1章 微生物学総論 III 微生物の分類と性状、A 細菌：口腔微生物学・免疫学 第4版、川端重忠、小松澤均、大原直也、寺尾豊、浜田茂幸、医歯薬出版、東京、10-17, 2016
- 2) 大森喜弘、第一章 微生物学総論 III 微生物の分類と性状、B ウイルス：口腔微生物学・免疫学 第4版、川端重忠、小松澤均、大原直也、寺尾豊、浜田茂幸、医歯薬出版、東京、18-24, 2016
- 3) 大森喜弘、第一章 微生物学総論 III 微生物の分類と性状、D 原虫：口腔微生物学・免疫学 第4版、川端重忠、小松澤均、大原直也、寺尾豊、浜田茂幸、医歯薬出版、東京、29-31, 2016
- 4) 大森喜弘、第3章 病原微生物各論 X 原虫感染症：口腔微生物学・免疫学 第4版、川端重忠、小松澤均、大原直也、寺尾豊、浜田茂幸、医歯薬出版、東京、173-174, 2016
- 5) 大森喜弘, 天野滋, 廣井美紀, 山口花: 2015年度 微生物学実習 (第7版), DTP出版, 東京, 2015年

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Mori, K, Haraguchi, S, Hiroi, Shimada, J and Ohmori Y: Tumor-associated macrophages in oral premalignant lesions coexpress CD163 and STAT1 in a Th1-dominated microenvironment. BMC Cancer, 15:3573, 2015
- 2) Amano, S., Chang, Y-T., Fukui, Y.: ERK5 activation is essential for osteoclast differentiation. PLoS One, 10: e0125054, 2015

### C. その他の刊行物など

- 1) 天野 滋 (研究代表者)：間質細胞由来破骨細胞前駆細胞機能維持因子の同定と炎症性骨破壊における役割の解明, 文部省科学研究費補助金 成果報告書 (挑戦的萌芽研究)

### D. 学会発表

#### 1. 国際学会

##### (3) 一般演題

- 1) Amano, S., Chang, Y-T., Fukui, Y.: ERK5 activation is essential for osteoclast differentiation. 4th Joint Meeting of ECTS and IBMS, Rotterdam, The Netherlands,

2015. 4

## 2. 全国学会

### (3) 一般演題

- 1) 山口 花, 大森喜弘: マウス舌癌モデルにおけるケモカイン遺伝子の発現動態. 第57回歯科基礎医学会学術大会, 新潟, 2015年9月.
- 2) 森 一将, 廣井美紀, 嶋田 淳, 大森喜弘: 口腔前癌病変におけるCD163<sup>+</sup> 腫瘍関連マクロファージの分化誘導への浸潤ヘルパー1型T細胞の関与. 57回歯科基礎医学会学術大会, 新潟, 2015年9月.
- 3) 天野 滋, 大森喜弘: 破骨細胞前駆細胞の維持におけるファイブロネクチンN末端領域の役割. 57回歯科基礎医学会学術大会, 新潟, 2015年9月.
- 4) 森 一将, 廣井美紀, 嶋田 淳, 大森喜弘: 前癌病変の CD163<sup>+</sup> 腫瘍関連マクロファージ分化誘導に浸潤ヘルパー1型 T 細胞が関与する. 第60回日本口腔外科学科総会, 名古屋, 2015年10月

## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 大森喜弘 (研究代表者): 基盤研究C, ケモカイン遺伝子の発現制御におけるメディエーター複合体の役割.
- 2) 廣井美紀 (研究代表者): 基盤研究C, 口腔扁平上皮癌における腫瘍関連マクロファージの誘導機構ならびに機能解析.
- 3) 山口 花 (研究代表者): 若手研究B, マウスモデルを用いた口腔癌のインターフェロン耐性の生物学的意義の解明.
- 4) 天野 滋 (研究代表者): 挑戦的萌芽, 間質細胞由来破骨細胞前駆細胞機能維持因子の同定と炎症性骨破壊における役割の解明.
- 5) 大森喜弘 (研究分担者): 基盤研究C, 口腔癌細胞におけるアポトーシス制御因子GRIM-19 の発現制御機構

## 歯周病学

### A. 著書・訳本

#### 1. 著書

- 1) 申 基喆/編, 辰巳順一, 林 丈一朗, 谷田部一大, 大塚秀春, 大西英知, 石井麻紀子, 鈴木允文/著, 歯周病診断と治療マニュアル 第1版, 美和野印刷, 東京, 2015年6月

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) 辰巳順一, 成田宗隆, 申 基喆, 各種除染法の有効性に関する基礎的検討からインプラント周囲炎治療法を探る, 明海歯学, 44(1), 9-16, 2015年4月
- 2) 林 丈一朗, 吉田進也, 落合幸彦, 安井絢子, 新家央康, 石井麻紀子, 大西英知, 櫻井裕士, 申 基喆, 不織布フィルターを用いた閉鎖系デバイスによる顎骨骨髄からの間葉系幹細胞分離に関する研究, 明海歯学, 44(1), 17-26, 2015年4月
- 3) 寺西麻里奈, 谷田部一大, 天野 滋, 中島明敏, 権 海尚, 鈴木允文, 辰巳順一, 林 丈一朗, 申 基喆, 抗菌光線力学療法によるインプラント体表面に付着した歯周病原細菌に対する殺菌効果に関する in vitro 研究, 明海歯学, 44(1), 50-61, 2015年4月
- 4) 小野裕貴, 大西英知, 鈴木允文, 新家央康, 大塚秀春, 林 丈一朗, 申 基喆, 歯肉溝滲出液中の *Tannerella forsythia* Forsythia Detaching Factor に対する切断酵素活性の治療効果判定への応用, 明海歯学, 44(2), 217-227, 2015年10月
- 5) 林 丈一朗, 難波智美, 上 佳弘, 岩田卓也, 安井絢子, 葛山賢司, 石井麻紀子, 大西英知, 辰巳順一, 申 基喆, 歯周炎患者に対するインプラント治療の治療成績に関する後ろ向き研究—インプラント周囲軟組織の状態が予後に及ぼす影響について—, 明海歯学, 44(2), 208-216, 2015年10月
- 6) 小野裕貴, 大西英知, 鈴木允文, 新家央康, 大塚秀春, 林 丈一朗, 申 基喆, 歯肉溝滲出液中の *Tannerella forsythia* Forsythia Detaching Factor に対する切断酵素活性の治療効果判定への応用, 明海歯学, 44(2), 217-227, 2015年10月
- 7) 林 鋼兵, 辰巳順一, 小玉治樹, 中島明敏, 渡辺和志, 市村 光, 石井麻紀子, 谷田部一大, 申 基喆, 慢性歯周炎患者に対する抗菌光線力学療法の有効性に関する臨床的研究—臨床パラメータおよび細菌検査による評価—, 明海歯学, 44(2), 228-240, 2015年10月
- 8) 石井麻紀子, 林 丈一朗, 遠藤 学, 岩田卓也, 新家央康, 山村加奈子, 辰巳順一, 申 基喆, 歯周炎患者に対するコーヌステレスコープ義歯が支台歯の予後に及ぼす影響に関する後ろ向き研究, 明海歯学, 45(1), 39-49, 2016年2月

- 9) 大塚秀春, 市村 光, 児島 暁, 安井絢子, 三宅 唯夫, 大西英知, 林 丈一朗, 申 基喆, 共振型音波歯ブラシの慢性歯周炎患者に対する臨床効果, 明海歯学, 45(1), 50-61, 2016年2月
- 10) 辰巳順一, 林 鋼兵, 小川洋一, 小玉治樹, 中島明敏, 鈴木允文, 谷田部一大, 申 基喆, 抗菌光線力学療法を用いたインプラント周囲炎の非外科的治療効果, 明海歯科医学 45(1), 81-91, 2016年3月

### 3. 症例報告

- 1) Joichiro Hayashi, Kitetsu Shin, Henry H. Takei, Minimally Invasive Surgical Approaches for Esthetic Implant Dentistry: A Case Report, Journal of Oral Implantology, 42 (1), 93-97, 2016.2

### C. その他の刊行物など

- 1) 辰巳順一, 申 基喆, 特別企画 光線力学療法とは何か? —医科での現状と歯科への応用の可能性を探る— 歯周病とインプラント周囲炎に対する a-PDT —文献的考察と臨床応用の可能性, 日本歯科評論 75(4), 38-46, 2015年4月
- 2) 申 基喆, New Frontier 歯科界が、変わる・動く・広がるレガシーインプラントの可能性, 新聞 Quinto 第 238 号, 2015年10月
- 3) 申 基喆, 特集 専門医がいる歯科診療所, 週刊朝日特大号, 2015年11月
- 4) 林 丈一朗, 超高齢社会を見据えた歯周治療のベーシック&トレンド電動歯ブラシを活用したプラークコントロール, DENTAL DIAMOND, 41 (2), 56-61, デンタルダイヤモンド社, 2015年11月
- 5) 林 丈一朗, 抜歯窩搔爬を効率良く確実に: パワーサージカルキュレット, ITX News Letter 臨床レポート, ヨシダ, 2015年11月
- 6) 林 丈一朗, 今, ブラッシング指導に求められる意識改革とは, Dental Products News, 216号, ヨシダ, 2016年2月

### D. 学会発表

#### 1. 国際学会

#### (3) 一般演題

- 1) Joichiro HAYASHI, Ayako YASUI, Shinya YOSHIDA, Hidetomo ONISHI, Kazuhiro YATABE, Junichi TATSUMI, Hiroshi SAKURAI, Kitetsu SHIN, Isolation of Mesenchymal Stem Cells from Gnathic Bone Marrow by Closed System Device Using Nonwoven Fabric Filter, EuroPerio8, London, UK, 2015, 6
- 2) Tatsumi J, Hayashi K, Kurihara N, Ishii M, Yatabe K, Hayashi J and Shin K ,

Efficacy of non-surgical therapy using antimicrobial photodynamic therapy on peri-implantitis patients, 11th Asian Pasific Society of Periodontology Meeting, Bali, Indonesia, 2015, 10

## 2. 全国学会

### (2) シンポジウム

- 1) 林 丈一朗, ポケットを確実に除去! 切除療法の考え方とテクニック, 日本顎咬合学会第33回学術大会, テーブルクリニック, 東京, 2015年6月
- 2) 辰巳順一, 歯周治療成功の鍵 “Concordance”, 日本顎咬合学会第33回学術大会, テーブルクリニック, 東京, 2015年6月

### (3) 一般演題

- 1) 谷田部一大, 鈴木允文, 安井絢子, 辰巳順一, 申 基喆, 広汎型侵襲性歯周炎患者に対し包括的治療を行い11年経過した一症例, 第58回春季日本歯周病学会学術大会, 千葉市, 2015年5月
- 2) 福嶋太郎, 大西英知, 林 丈一朗, 申 基喆, 大臼歯部の咬合崩壊を伴った広汎型重度慢性歯周炎患者の一症例, 第58回春季日本歯周病学会学術大会, 千葉市, 2015年5月
- 3) 谷田部一大, 抗菌光線力学療法を用いたインプラント体表面の機械的および化学的除染効果に関する研究, 第26回明海歯科医学会学術大会, 坂戸市, 2015年6月
- 4) 鈴木允文, 申 基喆, 明海大学型少人数制グループ実習「Vertical Tier」における学生の意識変化と学習効果, 第34回日本歯科医学教育学会総会および学術大会, 鹿児島市, 2015年7月
- 5) 鈴木允文, 石井麻紀子, 田中麻衣, 中丸陽一, 渡邊寿邦, 小林之直, 大塚秀春, 谷田部一大, 申 基喆, 歯周病学教育における明海大学型少人数制グループ実習「Vertical Tier」の効果, 第58回秋季日本歯周病学会学術大会, 浜松市, 2015年9月
- 6) 安井絢子, 辰巳順一, 小玉治樹, 権 海尚, 大西英知, 林 丈一朗, 申 基喆, インプラント-アバットメント接合部封鎖性に及ぼす水平荷重負荷の影響, 第58回秋季日本歯周病学会学術大会, 浜松市, 2015年9月
- 7) 小貝 崇, 谷津田博美, 大西英知, 林 丈一朗, 申 基喆, 歯周病検査用 SAW バイオセンサの開発, 第58回秋季日本歯周病学会学術大会, 浜松市, 2015年9月
- 8) 権 海尚, バイオセンサを用いたヘモグロビン検出による歯周病スクリーニング検査法の開発, 明海歯科医学会第27回学術大会, 坂戸市, 2015年10月

- 9) 林 鋼兵, 辰巳順一, 申 基喆, 抗菌光線力学療法は慢性歯周炎患者に対して有効か, 第 5 回関東 9 大学歯周病学講座・JACP 関東支部合同研修会, 東京, 2016 年 2 月
- 10) 大塚秀春, 林 丈一朗, 申 基喆, 明海大学病院糖尿病総合外来における歯周治療に関する疫学調査および症例報告, 平成 27 年度埼玉県歯科医学大会, さいたま市, 2016 年 2 月
- 11) 大西英知, 申 基喆, 複数歯の歯肉退縮に根面被覆術を試みた一症例, 平成 27 年度埼玉県歯科医学大会, さいたま市, 2016 年 2 月
- 12) 新家央康, 林 丈一朗, 申 基喆, 重度慢性歯周炎患者に対してインプラント治療による口腔機能回復治療を行った長期経過症例, 平成 27 年度埼玉県歯科医学大会, さいたま市, 2016 年 2 月
- 13) 鈴木允文, 小玉治樹, 安井絢子, 石井麻紀子, 谷田部一大, 申 基喆, 歯周病学をテーマとした明海大学型少人数制グループ実習「Vertical Tier」の教育効果, 平成 27 年度埼玉県歯科医学大会, さいたま市, 2016 年 2 月
- 14) 林 鋼兵, 中丸陽一, 辰巳順一, 申 基喆, 難治性の歯周-歯内病変に対し抗菌光線力学療法(a-PDT)と遊離歯肉移植術を行った症例, 平成 27 年度埼玉県歯科医学大会, さいたま市, 2016 年 2 月

### 3. 地方会

#### (2) シンポジウム

- 1) 申 基喆, 中等度～重度歯周炎患者に対する歯周外科治療 - その適用と長期安定性を考える -, 日本顎咬合学会 関東・甲信越支部学術大会, 横浜市, 2015 年 10 月
- 2) 申 基喆, 治療オプションとしての歯周外科-その必要性和効果を考える-, 平成 27 年度埼玉県歯科医学大会, さいたま市, 2016 年 2 月

#### E. その他の研究会、講演など

- 1) 林 丈一朗, クリニカルステップアップセミナー ステップアップ歯周基本治療, 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 新宿, 2015 年 5 月
- 2) 林 丈一朗, 歯周治療ベーシックシリーズ 歯周治療の診査・診断と治療計画(歯周治療 I), 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 新宿, 2015 年 5 月
- 3) 林 丈一朗, 歯周治療ベーシックシリーズ 歯周基本治療(歯周治療 II), 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 新宿, 2015 年 5 月
- 4) 林 丈一朗, ペリオ・インプラントのトータルマネジメント- 歯周病患者におけるインプラント治療の問題点とその解決法 北日本口腔インプラント研究会公開講座, 札幌市, 2015 年 7 月

- 5) 辰巳順一, 歯周治療ベーシックシリーズ 歯周外科処置の基本 (歯周治療 III), 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 新宿, 2015年7月
- 6) 辰巳順一, 歯周治療ベーシックシリーズ オープンフラップキュレタージ (歯周治療 IV), 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部, 新宿, 2015年7月
- 7) 林 丈一朗, 今, ブラッシング指導に求められる意識改革とは, 東京デンタルショー2015, 生涯研修セミナー, 東京, 2015年8月
- 8) 辰巳順一, 歯周病と全身疾患 ペリオドンタルメディスンを振り返る, 熊本県八代市歯科医師会主催学術講演会、八代市, 2015年8月
- 9) 林 丈一朗, 確実に歯周ポケットを除去するための「切除療法のススメ」, 北埼玉歯科医師会学術講演会, 羽生市, 2015年10月
- 10) 申 基喆, 辰巳順一, 林 丈一朗, 歯周治療 ベーシック&アドバンス 第1回 歯周治療ベーシック 診断から歯周基本治療まで, 明海大学歯学部同窓会主催学術研修会, 御徒町, 2015年10月
- 11) 申 基喆, 歯周外科シリーズ② ペリオとインプラントのためのハードティッシュマネジメント, 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修部 2015年度セミナー, 新宿, 2015年10-11月
- 12) 申 基喆, 全身の健康のための口腔ケアの必要性 - 特に糖尿病と歯周病との関連 -, アストラゼネカ医科歯科連携ミーティング, さいたま市, 2015年10月
- 13) 申 基喆, Tapered Screw-Vent の臨床とインプラント周囲組織の外科的ソフトティッシュ・マネジメント, 白鵬40周年記念講演会デンタルプレゼンテーション 2015, 東京, 2015年11月
- 14) 林 丈一朗, ペリオから学ぶインプラント周囲のティッシュマネジメント, ITI Study Club 第3回 SC 東京2, 東京, 2015年11月
- 15) 林 丈一朗, 今, ブラッシング指導に求められる意識改革とは, Sonicare Symposium 2015, 品川, 2015年11月
- 16) 林 丈一朗, 歯周病患者へのインプラント治療における4つの問題点とその解決法, 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科歯科インプラント外来研修会, 鹿児島市, 2015年11月
- 17) 林 丈一朗, 超高齢社会の歯周治療を考える, 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科歯周病学分野イブニングセミナー, 鹿児島市, 2015年11月
- 18) 辰巳 順一, Version up! 歯周治療, 明海大学歯学部同窓会千葉県支部学術講演会, 千葉市, 2015年11月
- 20) 申 基喆, 知ってほしい歯周病と糖尿病の関係, 埼玉県市民公開講座「糖尿病と歯周病の関係」, さいたま市, 2016年1月
- 21) 申 基喆, 林 丈一朗, デンタルスーチャリングとフラップ手術(エムドゲイン実習を含む), 明海大学歯学部同窓会 2015年度学術研修会, 上野, 2016年1月



- 22) 申 基詰, 林 丈一朗, デンタルスーチャリングとフラップ手術(エムドゲイン実習を含む) 明海大学歯学部同窓会 2015 年度学術研修会, 上野, 2016 年 1 月
- 23) 辰巳順一, インプラントベーシックプログラム Session 4 インプラント周囲のティッシュマネジメント, 明海大学朝日大学歯学部生涯研修, 浦安市, 2016 年 1 月
- 24) 辰巳順一, インプラントベーシックプログラム Session 4 インプラント周囲炎の診断と治療, 明海大学朝日大学歯学部生涯研修、浦安市, 2016 年 1 月
- 25) 林 丈一朗, 今, ブラッシング指導に求められる意識改革とは, 第 39 回中部日本デンタルショー・企画講演, 名古屋市, 2016. 2
- 26) 辰巳順一, インプラントベーシックプログラム Session 5 歯周病患者へのインプラント治療, 明海大学朝日大学歯学部生涯研修、浦安市, 2016 年 2 月
- 27) 辰巳順一, Version up ! 歯周病 歯周病治療のどこが変わった! 変わらない? 明海大学歯学部同窓会群馬県支部学術講演会, 高崎市, 2016 年 3 月

## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 申 基詰, 辰巳順一, 林 丈一朗, 大塚秀春, 谷田部一大, インプラント周囲炎に関するリスク因子の解析のための前向き研究, 学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C), 2015 年 4 月
- 2) 林 丈一朗, 友村明人, 申 基詰, 辰巳順一, 谷田部一大, 大西英知, 閉鎖系細胞分離システムを用いた歯槽骨由来の骨髄間葉系幹細胞による再生療法の開発, 学術研究助成基金助成金, 挑戦的萌芽研究, 2015 年 4 月
- 3) 石井麻紀子, 末梢血由来単核球とリン酸三カルシウム顆粒を用いた骨再生効果, 学術研究助成基金助成金, 若手研究 (B), 2015 年 4 月
- 4) 鈴木允文, 慢性歯周炎でのメカニカルストレスに対する TRPV4 の役割の解明, 学術研究助成基金助成金, 若手研究 (B) , 2015 年 4 月

## 基礎生物学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) 井上ハルミ、星野都、菊池建太郎、宮崎裕司、坂下英明、草間薫, 各種病変における podoplanin 発現とその意義, 明海歯学 44 (1), 2015, 4
- 2) 原著論文, "Kikuchi K, Ishige T, Ide F, Ito Y, Saito I, Hoshino M, Inoue H, Miyazaki Y, Nozaki T, Kojima M, Kusama K", Overexpression of Activation-Induced Cytidine Deaminase in MTX- and Age-Related Epstein-Barr Virus-Associated B-Cell Lymphoproliferative Disorders of the Head and Neck, Journal of Oncology, 2015, 5

### D. 学会発表

#### (3) 一般演題

- 1) 森 一将、廣井 美紀、嶋田 淳、大森 喜弘, 口腔前癌病変における CD163+ 腫瘍関連マクロファージの分化誘導への浸潤ヘルパー 1 型 T 細胞の関与, 第 57 回日本歯科基礎医学会学術大会・総会, 2015, 9
- 2) 宮崎裕司、菊池建太郎、井上ハルミ、山内雅司、草間 薫, テロメラーゼ活性と口腔癌進展に関する研究, 第 104 回 日本病理学会・総会, 2015, 5
- 3) 宮崎 裕司, 口腔におけるテロメラーゼ活性化要因の同定および発癌・癌進展への影響に関する研究, 明海歯科医学会 第 26 回学術大会, 2015, 6

## 基礎化学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) "Uesawa Y, Sakagami H, Ishihara M, Kagaya H, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Takao K, Sugita Y", Quantitative Structure-Cytotoxicity Relationship of 3-Styryl-2H-chromenes, "Anticancer Res 35", 5299-5306", 2015, 9
- 2) "Sakagami H, Uesawa Y, Ishihara M, Kagaya H, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Takao K, Sugita Y", Quantitative Structure-Cytotoxicity Relationship of Oleoylamides, "Anticancer Res 35", 5341-5355", 2015, 9
- 3) 石原真理子, 2015 年度総合理科実験, (有) リュウワ印刷 (埼玉) 82~121 ページ, 2015, 9

### D. 学会発表

#### (3) 一般演題

- 1) "Ishihara M, Uesawa Y, Kagaya H, Sakagami H, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Takao K, Sugita Y", Quantitative Structure-Cytotoxicity Relationship of Oleoylamides, 第 132 回日本薬理学会関東部会、東京, 2015, 7
- 2) "Uesawa Y, Kagaya H, Ishihara M, Sakagami H, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Yahagi H, Takao K, Sugita Y", Quantitative Structure-Cytotoxicity Relationship of 3-Styryl-2H-chromenes, 第 132 回日本薬理学会関東部会、東京, 2015, 7
- 3) 石原真理子、山内雅司, ヒト口腔癌細胞に傷害活性を有する新規クマリン誘導体類のデザイン (その 2), 第 57 回歯科基礎医学会学術大会・総会、新潟, 2015, 9

# 機能保存回復学講座

歯科生体材料学分野

歯科補綴学分野（有床義歯）

歯科補綴学分野（クラウンブリッジ）

保存治療学分野

オーラル・リハビリテーション 学分野

摂食嚥下リハビリテーション学分野

基礎物理学分野

# 歯科生体材料学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 日比野 靖, 長沢悠子, 重田浩貴, 中畠 裕: Introduction to Practical Dental Materials, 学建書院, 2015年
- 2) 日比野 靖, 長沢悠子, 中畠 裕: 16 義歯用材料. In: スタンダード歯科理工学 第6版-生体材料と歯科材料-, 学建書院, 東京, pp. 275-305, 2016年

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) 栗田 智, 日比野 靖, 長沢悠子, 重田浩貴, 中畠 裕, 粉液比が高強度充填用ガラスアイオノマーセメントの機械的性質に及ぼす影響. 明海歯学, 44, 168-181, 2015
- 2) 松本賢一, 日比野 靖, 長沢悠子, 重田浩貴, 中畠 裕: レジン成分の違いが試作充填用レジン添加型ガラスアイオノマーセメントの強さと吸水率に及ぼす影響. 明海歯学, 44, 182-195, 2015
- 3) 高橋 衛, 岡本和彦, 日比野 靖, 猪野照夫, 長沢悠子, 重田浩貴, 大川周治, 中畠 裕: 有限要素法による鑄造ポストコア装着歯の応力解析-セメント層の剥離が象牙質内応力分布に及ぼす影響. 明海歯学, 45, 15-25, 2016
- 4) 遠藤則和, 松井成幸, 品川 令, 富田至保, 箕田 碧, 日比野 靖, 中畠 裕, 須田直人: セルフエッチングプライマータイプ矯正歯科用接着システムのヒト歯面における接着強さとエナメル質への影響. Orthod Waves-Jpn Ed 75, 8-18, 2016

## D. 学会発表

### 1. 国際学会

#### (3) 一般演題

- 1) Nagasawa Y, Hibino Y, Shigeta H, Omatsu J, Shimano I and Nakajima H: Shear strength and retentive force of experimental resin cements. Academy of Dental Materials 2015 Annual Meeting. Maui, Hawaii, October, 2015
- 2) Shigeta H, Nagasawa Y, Hibino Y and Nakajima H: Fluoride release from experimental glass-ionomers made with different resin monomers. Academy of Dental Materials 2015 Annual Meeting. Maui, Hawaii, October, 2015
- 3) Hibino Y, Nagasawa Y, Shigeta H, Omatsu J and Nakajima H: Flexural strength of experimental highly viscous conventional glass ionomers, Academy of Dental Materials 2015 Annual Meeting. Maui, Hawaii, October, 2015

## 2. 全国学会

### (3) 一般演題

- 1) 重田浩貴, 松本賢一, 粟田 智, 尾松 純, 和田賢一, 長沢悠子, 日比野 靖, 中嶋 裕: 試作充填用レジン添加型ガラスアイオノマーセメントの稠度および破壊靱性値. 第 65 回日本歯科理工学会学術大会, 仙台, 2015 年 4 月.
- 2) 重田浩貴, 長沢悠子, 和田賢一, 日比野 靖, 中嶋 裕: S-PRG フィラー含有試作レジン添加型ガラスアイオノマーセメントのフッ素溶出. 第 66 回日本歯科理工学会学術大会, 東京, 2015 年 10 月.
- 3) 富田至保, 日比野 靖, 中嶋 裕, 須田直人: 矯正用レジン添加型ガラスアイオノマーセメントの接着強さ—サーマルサイクルと粉液比の影響—, 第 74 回日本矯正歯科学会大会, 福岡, 2015 年 11 月.

## 3. 地方会

### (3) 一般演題

- 1) 重田浩貴, 長沢悠子, 日比野 靖, 中嶋 裕: 教育の工夫. 日本歯科理工学会関東地方会夏季セミナー, 神奈川, 2015年8月.

## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 日比野 靖: 基盤研究(C), 訪問診療での使用を目的とした低膨張性レジン添加型ガラスアイオノマーセメントの開発.

## 歯科補綴学(有床義歯)

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) 曾根峰世, 浜坂弘毅, 大川 穰, 染川正多, 増田美至, 松井藍有美, 豊田有美子, 奥津史子, 松川高明, 岡本和彦, 大川周治, 磁性アタッチメント義歯における設計の相違と予後との関連性について, 日磁歯誌 24 巻 1 号. 68-77, 2015, 12
- 2) 遠藤 舞, 松川高明, 豊田有美子, 眞木信太郎, 濱坂弘毅, 松井藍有美, 大川 穰, 染川正多, 大川周治, 垂直顎間距離決定の基準下顎位に関する研究-咬合支持喪失状態が[n]持続発音位に及ぼす影響-, 顎機能誌 21, 97-108, 2015, 11

#### 2. 全国学会

##### (3) 一般演題

- 1) H. Hamasaka, M. Sone, Y. Okawa, S. Somekawa, M. Masuda, A. Matsui, Y. Toyota, F. Okutsu, T. Matsukawa, K. Okamoto and S. Ohkawa, A basic study on the fitness of a zirconia keeper coping fabricated by CAM system, The 15th International Conference on Magnetic Applications in Dentistry General Information, 2016, 2
- 2) M. Masuda, M. Sone, Y. Okawa, S. Somekawa, A. Matsui, H. Hamasaka, Y. Toyota, F. Okutsu, T. Matsukawa, K. Okamoto and S. Ohkawa, A case report of the denture repair on the same day using magnetic attachment, The 15th International Conference on Magnetic Applications in Dentistry General Information, 2016, 2
- 3) 浜坂弘毅, 曾根峰世, 大川 穰, 染川正多, 増田美至, 松井藍有美, 豊田有美子, 奥津史子, 松川高明, 岡本和彦, 大川周治, CAD/CAM によるキーパー付き根面板の製作に関する一考案-ポスト計測用治具の応用-, 第 25 回日本磁気歯科学会学術大会, 2015, 11
- 4) 西端英典, 松田一雄, 岡根秀明, 遠藤 舞, 大川周治, スウィングロックにかわる Wing-Denture® の開発, 平成 27 年度(公社)日本補綴歯科学会 第 124 回学術大会(大宮), 2015, 5
- 5) 下川原 忍, 曾根峰世, 松川高明, 豊田有美子, 松井藍有美, 荒野貴行, 大川 穰, 染川正多, 増田美至, 岡本和彦, 大川周治, パラタルバーの設定位置に関する実験的研究 - 異物感・障害感の応用 -, 平成 27 年度(公社)日本補綴歯科学会 第 124 回学術大会(大宮), 2015, 5
- 6) 松井藍有美, 沼澤美詠, 奥津史子, 遠藤 舞, 大川 穰, 染川正多, 濱坂弘毅, 戸辺武一, 岡本和彦, 大川周治, 下顎遊離端欠損症例における部分床義歯設計の相違が咀嚼機能におよぼす影響, 平成 27 年度(公社)日本補綴歯科学会 第 124 回学術大会(大宮), 2015, 5
- 7) 奥津史子, 過剰な嘔吐反射を有する患者の心身医学的療法の確立, 明海歯科医学会

第 27 回学術大会, 2015, 6

- 8) 大川 穰, 浜坂弘毅, 曾根峰世, 奥津史子, 松井藍有美, 染川正多, 荒野貴行, 増田美至, 岡本和彦, 大川周治, 歯科用 CAM システムを用いて制作したジルコニア製根面板の適合に関する基礎的研究, 平成 27 年度(公社)日本補綴歯科学会 西関東・東関東合同学術大会(横浜), 2016, 1
- 9) 増田美至, 曾根峰世, 大川 穰, 染川正多, 松井藍有美, 浜坂弘毅, 豊田有美子, 奥津史子, 松川高明, 岡本和彦, 大川周治, 磁性アタッチメントを用いて即日義歯修理を行った症例, 第 25 回日本磁気歯科学会学術大会, 2015, 11
- 10) 遠藤 舞, 松川高明, 大川 穰, 染川正多, 豊田有美子, 磯貝佳史, 岡本和彦, 大川周治, 部分床義歯装着者における[n]持続発音位の経時的变化, 平成 27 年度(公社)日本補綴歯科学会 西関東・東関東合同学術大会(横浜), 2016, 1

## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

大川周治(研究代表者), 村本和世, 藤澤政紀, 長谷川彰彦: 睡眠時ブラキシズムのナチュラル抑制療法の新開発, 科学研究費助成事業 基盤研究(B)25293398, 2013-2017



## 歯科補綴学(クラウン・ブリッジ)

### A. 著書・訳本

#### 1. 著書

- 1) 藤澤政紀, 岩瀬直樹. 冠橋義歯補綴学テキスト. 永末書店 1-8, 2015, 4
- 2) 藤澤政紀, 遠藤 聡. 冠橋義歯補綴学テキスト. 永末書店 160-164, 2015, 4
- 3) 大塚英稔, 小飯塚仁美, 飯泉智子, 酒井翔吾, 鈴木善貴, 辻 光順, 中川修佑, 林 宏和, 森園 健, 小川 徹, 石原磯子, 増田裕次: 顎口腔機能の検査・分析—基礎と実践—. 八木印刷 80-83, 2015, 10

#### 2. 訳本

- 1) 藤澤政紀, 勅使河原大輔, 岩田健男: 下顎前歯部に対するジルコニアクラウン支台歯形成後の残存象牙質厚径の調査 (in vitro). *The International Journal of Periodontics & Restorative Dentistry*, Vol.23, Number 2, 2015, April, 45-51
- 2) 藤澤政紀, 渡邊 明, 岩田健男: 補綴装置のマージン形成時における表面荒さ: 仕上げ手法の比較検討. *The International Journal of Periodontics & Restorative Dentistry*, Vol.23, Number 3, 2015, Jun, 70-77
- 3) 藤澤政紀, 遠藤 聡, 岩田健男: 天然歯とインプラントにおけるモノリシックおよびMVジルコニア修復の連続ケースシリーズ: 最長 68 か月の調査. *The International Journal of Periodontics & Restorative Dentistry*, Vol.23, Number 4, 2015, August, 22-31
- 4) 藤澤政紀, 佐藤雅介, 岩田健男: CAD/CAM を用いた全顎補綴装置製作時の臨床および技工手順. *The International Journal of Periodontics & Restorative Dentistry*, Vol.23, Number 5, 2015, October, 70-77
- 5) 藤澤政紀, 猪野照夫, 岩田健男: 口腔内溶接によって製作する上顎のフルアーチ即時荷重プロビジョナル補綴装置. *The International Journal of Periodontics & Restorative Dentistry*, Vol.23, Number 6, 2015, December, 128-135
- 6) 藤澤政紀, 野露浩正, 岩田健男: 咬合: 現状における概説と提言. *The International Journal of Periodontics & Restorative Dentistry*, Vol.24, Number 1, 2016, February, 18-25

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) 佐藤 剛, 猪野照夫, 勅使河原大輔, 磯貝知範, 岩瀬直樹, 遠藤 聡, 渡邊 明, 野露浩正, 佐藤雅介, 大塚英稔, 河合美貴子, 斉藤小夏, 菅原絹枝, 橋戸広大, 藤澤政紀: 有限要素法による支台築造歯の応力解析—レジンコアにおけるポスト材料の影響—. *明海歯学* **44**, 241-249, 2015

- 2) 高橋 衛, 岡本和彦, 日比野 靖, 猪野照夫, 長沢悠子, 重田浩喜, 大川周治, 中嶋 裕: 有限要素法による鑄造ポストコア装着歯の応力解析ーセメント層の剥離が象牙質内応力分布に及ぼす影響ー. 明海歯学 45, 15-24, 2016
- 3) 澁谷智明, 和気裕之, 玉置勝司, 島田 淳, 藤澤政紀, 林 勝彦, 玉井和樹, 原 節宏, 尾口仁志, 山口泰彦: 咬合違和感患者の他施設実態調査. 日本歯科心身医学会雑誌 30, 15-21, 2015

#### C. その他の刊行物など

- 1) 勅使河原大輔, 猪野照夫, 藤澤政紀: 3D フェイシャルスキャンの今、そしてこれから. QDT art & practice 40, 2015, 9
- 2) 大倉一夫, 大川周治, 藤澤政紀, 櫻井 薫, 馬場一美, 小川 匠, 矢谷博文, 窪木拓男, 松香芳三: 睡眠時ブラキシズムの簡便な診断法の確立と対処法の検討. 日歯医学会誌 34, 79-83, 2015, 4

#### D. 学会発表

##### 1. 国際学会

###### (3) 一般演題

- 1) Isogai T, Ino T, Teshigawara D, Endo S, Noro H, Fujisawa M: 3D-FEA of the Stress Distribution for the Abutment Tooth. The 2015 Biennial Joint Congress of JPS-CPS-KAP (箱根), 2015, 4
- 2) Iwase N, Sato M, Otsuka H, Watanabe A, Iizuka T, Isogai T, Fujisawa M: Effect of Electromyogram Biofeedback of Awake-Bruxism on Sleep-Bruxism. The 2015 Biennial Joint Congress of JPS-CPS-KAP (箱根), 2015, 4
- 3) Otsuka H, Sato M, Watanabe A, Saito K, Iwase N, Kawai M, Hashido K, Fujisawa M: Effect of daytime biofeedback training on sleep electroencephalograms. European Prosthodontic Association 2015 (プラハ), 2015, 9
- 4) Teshigawara D, Ino T, Endo S, Noro H, Sugawara K, Hidaka T, Fujita T, Yoshida Y, Isogai T, Fujisawa M: A correction method using color information on facial point group. European Prosthodontic Association 2015 (プラハ), 2015, 9

##### 2. 全国学会

###### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 藤澤政紀: より良い補綴臨床を考える. 日本補綴歯科学会西関東・東関東支部専門医研修会 (横浜), 2016, 1

###### (3) 一般演題

- 1) 大塚英稔, 佐藤雅介, 渡邊 明, 岩瀬直樹, 猪野照夫, 斉藤小夏, 菅原絹枝, 寺田信幸, 林俊成, 藤澤政紀: 日中のバイオフィードバック訓練が夜間睡眠時の脳波に及ぼす影響. 日本顎口腔機能学会第 54 回学術大会. 最優秀賞口演賞受賞(鹿児島), 2015, 4
- 2) 勅使河原大輔, 野露浩正, 藤澤政紀: 汎用デジタルカメラを用いた顔面形状計測一色調による測定ノイズの除去について一. 第 6 回日本デジタル歯科学会. 優秀ポスター賞受賞(福岡), 2015, 4
- 3) 斉藤小夏, 佐藤雅介, 大塚英稔, 渡邊 明, 飯塚知明, 岩瀬直樹, 大久保佑香, 及川純, 和賀浩幸, 藤澤政紀: 日中のバイオフィードバック訓練が夜間のグライインディングに及ぼす影響. 日本補綴歯科学会第 124 回学術大会(大宮), 2015, 5
- 4) 藤田崇史, 遠藤聡, 菅原絹枝, 川田 祐, 廣川琢哉, 吉田有里, 片山 直, 岩田昌久, 栗澤重樹, 藤澤政紀: 上顎小白歯と CAD/CAM 冠用レジンブロックの色彩学的検討. 日本補綴歯科学会第 124 回学術大会(大宮), 2015, 5
- 5) 野露浩正, 岩瀬直樹, 加藤智也, 磯貝知範, 佐藤雅介, 渡邊 明, 勅使河原大輔, 日高達哉, 河合美貴子, 猪野照夫, 宮下英一郎, 藤澤政紀: 臨床実習における CAD システムの導入とその評価. 日本歯科補綴学会第 124 回学術大会. カボデンタル賞受賞(大宮), 2015, 5
- 6) 菅原絹枝, 遠藤 聡, 野露浩正, 勅使河原大輔, 猪野照夫, 藤澤政紀: 内部着色を行ったエピテーゼに応用可能な新規シリコーン材の色彩学的検討. 日本顎顔面補綴学会第 32 回総会・学術大会(東京), 2015, 6
- 7) 林 邦彦, 重田優子, 小川 匠, 松香芳三, 木本克彦, 藤澤政紀, 大久保力廣, 玉置勝司, 矢谷博文: 日本補綴歯科学会西関東支部における症例検討ワークショップの教育効果の検討. 第 34 回日本歯科医学教育学会総会および学術大会(鹿児島), 2015, 7
- 8) 佐藤雅介, 渡邊 明, 藤澤政紀: 覚醒時ブラキシズムに対するバイオフィードバック訓練による睡眠時ブラキシズム抑制効果. 第 28 回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会. 優秀ポスター賞受賞(名古屋), 2015, 7
- 9) 渡邊 明, 佐藤雅介, 岩瀬直樹, 藤澤政紀: 咀嚼筋筋電図バイオフィードバック訓練によるクレンチング抑制効果の持続性に関する検討. 日本歯科心身医学会設立 30 周年記念総会・学術大会(東京), 2015, 7
- 1 0) 斉藤小夏, 佐藤雅介, 大塚英稔, 渡邊 明, 橋戸広大, 菅原絹枝, 岩瀬直樹, 猪野照夫, 寺田信幸, 藤澤政紀: 日中の筋電図バイオフィードバック訓練が夜間のグライインディングに及ぼす影響. 日本顎口腔機能学会第 55 回学術大会. 最優秀賞口演賞受賞(大阪), 2015, 10
- 1 1) 藤田崇史, 菅原絹枝, 遠藤 聡, 河合美貴子, 藤澤政紀: 上顎小白歯と CAD/CAM 冠用レジンブロックに関する色彩学的検討. 第 26 回日本歯科審美学会学

3. 地方会

(3) 一般演題

- 1) 勅使河原大輔. 汎用デジタルカメラを用いた顔面形状計測. 第204回大学院歯学研究発表会（坂戸），2015, 6
- 2) 河合美貴子. 天然歯における色彩学的研究—上顎左右切歯における厚径と色調の関連性—. 第204回大学院歯学研究発表会（坂戸），2015, 6
- 3) 大塚英稔. 日中の咀嚼筋筋電図バイオフィードバック訓練が睡眠中の脳波に及ぼす影響. 第205回大学院歯学研究発表会（坂戸），2015, 10
- 4) 佐藤雅介, 大塚英稔, 斉藤小夏, 渡邊 明, 岩瀬直樹, 猪野照夫, 日高達哉, 吉田有里, 寺田信幸, 畠山康人, 藤澤政紀: 覚醒時ブラキシズムに対するバイオフィードバック訓練が睡眠時ブラキシズムに及ぼす抑制効果について. 日本補綴歯科学会平成27年度西関東・東関東支部会学術大会. イーストレーキ賞受賞（横浜）, 2016, 1
- 5) 河合美貴子, 遠藤 聡, 菅原絹枝, 猪野照夫, 北村 靖, 藤澤政紀: 天然歯における厚径と色調の関連性. 日本補綴歯科学会平成27年度西関東・東関東支部学術大会（横浜）, 2016, 1
- 6) 橋戸広大, 吉沢亮平, 野露浩正, 藤田崇史, 勅使河原大輔, 磯貝知範, 岩田昌久, 宮下英一郎, 藤澤政紀: 各種スキャン方法によるCAD/CAM冠のクラウンマージンにおける適合精度の比較. 日本補綴歯科学会平成27年度関東支部会学術大会（高崎）, 2016, 1
- 7) 大岡貴史, 井上勝元, 重松久夫, 野露紘子, 高野梨沙, 橋本潤子, 岩瀬直樹, 吉岡典子, 坂下英明, 藤澤政紀, 安井利一, 大川周治: 複数科の連携のもとに舌がん切除後の摂食嚥下リハビリテーションを行った1例. 平成28年度埼玉県歯科医学会学術大会（浦和）, 2016, 2
- 8) 橋戸広大, 吉沢亮平, 野露浩正, 藤田崇史, 勅使河原大輔, 磯貝知範, 岩田昌久, 藤澤政紀: 印象法の違いによるCAD/CAM冠の適合性に関する検討. 平成28年度埼玉県歯科医学会学術大会（浦和）, 2016, 2

E. その他の研究会、講演など

- 1) 藤澤政紀: デリケートな咬合を扱うための Tips. 岩手医科大学歯学部補綴・インプラント学講座セミナー（盛岡）, 2015, 5
- 2) 藤澤政紀: 咬合力のコントロール—ブラキシズムへの有効な対策はなにか— 岩手医科大学歯学部埼玉県同窓会 学術講演会（大宮）2015. 7
- 3) 藤澤政紀: ブラキシズムへの挑戦—補綴的アプローチと新たな試み—. 明海大学

- アメリカンフットボール部 OB 会学術講演会（東京），2015,7
- 4) 藤澤政紀：あらためて「咬合」を考える－咬合違和感とブラキシズムを話題として－. 岩手医科大学歯学部秋田県同窓会学術講演会（秋田），2015,7
  - 5) 藤澤政紀：“咬めない”咬合違和感と“咬みすぎる”ブラキシズムへの対処方法. 平成 27 年度青森県南四歯科医師会合同学術講演会（下北），2015,8
  - 6) 藤澤政紀：“咬めない”咬合違和感と“咬みすぎる”ブラキシズムへの挑戦. 平成 27 年度北埼玉歯科医師会学術講演会（加須），2016,2

## F. 研究助成金等の受入れ

### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 藤澤政紀（分担者；金村清孝（研究代表者）：小型筋電計による終日咀嚼筋筋電図記録をインプラントの難易度判定に応用する. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤（C）. 25463014. 平成 25 年度から 27 年度
- 2) 藤澤政紀：超高齢社会に適応するデジタルデンティストリーシステムの構築. 日本学術振興会科学研究費助成事業挑戦的萌芽研究. 2667084. 平成 26 年度から 27 年度
- 3) 野露浩正：次世代型ファイバーポストコアの力学的検討. 日本学術振興会科学研究費助成金若手研究（B）. 26861651. 平成 26 年度から 28 年度
- 4) 藤澤政紀：筋電図バイオフィードバック訓練による咀嚼筋痛患者の症状改善効果に関する多施設研究. 日本学術振興会科学研究費助成事業基盤研究（B）. 15H05031. 平成 27 年度から 30 年度

### 3. 宮田研究奨励金（A）および（E）

- 1) 渡邊 明：咀嚼筋筋電図バイオフィードバック訓練とスプリント療法の相互作用に関する検討. 宮田研究奨励金（A）. 2015 年度
- 2) 大塚英稔：咀嚼筋筋電図バイオフィードバック訓練により睡眠の質を改善することは可能か. 宮田研究奨励金（E）. 2015 年度

# 保存治療学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 横瀬敏志, 小林健二, 門倉弘志, 中村裕子, 市村 葉, 小谷依子, 小澤有美, 鈴木瑛子, 井出祐樹, 上田堯之, 日下洋平, 高良芳樹, 藤原ひかり, 横山博一, 石岡和仁, 高橋淳哉, 田邊一成, 保存修復学模型実習指針, リュウワ印刷, 埼玉, 2015, 9
- 2) 横瀬敏志, 小林健二, 中村裕子, 門倉弘志, 市村 葉, 小谷依子, 小澤有美, 鈴木瑛子, 井出祐樹, 上田堯之, 日下洋平, 高良芳樹, 藤原ひかり, 横山博一, 石岡和仁, 高橋淳哉, 田邊一成, 歯内療法学実習書, 株式会社ヨシダ, 東京, 2015, 11

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) 高橋哲哉, 門倉弘志, 井出祐樹, 上田堯之, 鈴木瑛子, 中村裕子, 横瀬敏志, 吸収性ガッタパーチャを移植したラット脛骨の組織学的観察, 日本歯科保存学雑誌, 58, 157-163, 2015, 4

## C. その他の刊行物など

- 1) 横瀬敏志, 歯科領域におけるレーザーを用いた疼痛緩和と治癒の促進 III. レーザーの生体に対する働き 顎関節症臨床医の会編、医学情報社, 東京, 32-40
- 2) 中村裕子, 横瀬敏志, オブチレーション法による根管充填, 埼玉県歯科医師会 埼玉だより No. 558 『臨床サロン』 13-20, 2015, 5

## D. 学会発表

### 2. 全国学会

#### (2) シンポジウム

- 1) 横瀬敏志, 歯髄組織の保存について考える—メカニカルストレスと歯髄組織の関係, 第 142 回日本歯科保存学会春季学術大会, 北九州, 2015

#### (3) 一般演題

- 1) 中村裕子, 硬組織創傷治癒に及ぼす Mineral Trioxide Aggregate の影響—免疫組織学的検討—, 明海歯科医学会, 2015, 6
- 2) 鈴木瑛子, 中村裕子, 井出祐樹, 上田堯之, 門倉弘志, 小林健二, 小谷依子, 横瀬敏志, ラット脛骨骨欠損における Er:YAG レーザーの LLLT の作用について, 第 27 回日本レーザー歯学会学術大会, 北海道, 2015, 6
- 3) 石岡和仁, 高橋淳哉, 鈴木瑛子, 上田堯之, 横瀬敏志, 注水下にて炭酸ガスレーザーを照射したラット皮膚組織の組織学的観察, 第 27 回日本レーザー歯学会学術大会, 北海道, 2015, 6
- 4) 市村 葉, 古川敏子, 鈴木瑛子, 上田堯之, 井出祐樹, 中村裕子, 門倉弘志, 横瀬敏志, スケーリング後の疼痛緩和におけるレーザーツボ刺激の応用について, 第

- 27 回日本レーザー歯学会学術大会, 北海道, 2015, 6
- 5) 中村裕子, 井出祐樹, 上田堯之, 横瀬敏志, Ni-Ti ファイル破折片の電気化学的溶解についての基礎的検討, 第 36 回 日本歯内療法学会学術大会 横浜, 2015, 7
- 6) 山崎涼子, 古川敏子, 市村 葉, 横瀬敏志, レーザーによるツボ刺激と疼痛緩和について, 第 33 回日本歯科東洋医学会学術大会, 東京 2015, 10
- 7) 中村裕子, 市村葉, 井出祐樹, 小澤有美, 高良芳樹, 横山博一, 田辺一成, 横瀬敏志, エナメルマトリクス蛋白質の血管新生への効果, , 第 143 回日本歯科保存学会秋季学術大会, 東京, 2015, 11
- 8) 上田堯之, 門倉弘志, 鈴木瑛子, 高橋淳哉, 石岡和仁, 藤原ひかり, 横瀬敏志, Ectodin と wnt10a はラット培養歯髓細胞の dentinogenesis を誘導する, 第 143 回日本歯科保存学会秋季学術大会, 東京, 2015, 11
- 9) 小谷依子, 小林健二, 日下洋平, 横瀬敏志, S-PRG フィラー含有ルートチャンネルシーラーを移植したラット脛骨の組織学的観察, 第 143 回日本歯科保存学会秋季学術大会, 東京, 2015, 11

#### F. 研究助成金等の受入れ

##### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 横瀬敏志: 未知なる歯髓細胞の機能を解析し、新たな歯髓再生療法の臨床的展開を目指す。科学研究費補助金, 基盤研究 (A), 2015 年
- 2) 中村裕子: エナメルプロテインに関わる血管内皮細胞実験系の研究, 学術研究助成基金助成金, 基盤研究 (C), 2015 年 4 月

## オーラル・リハビリテーション学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) 篠田寛幸, 竹下 玲, 中林靖雄, 末續真弓, 高野安紀子, 宮澤 慶, 北 邦宏, 西條光雄, 高野梨沙, 中川和弘, 小山主之, 田中園治, 熊倉 学, 遠藤浩正, 柏崎秀一, 田中 入, 元地茂樹, 大高義文, 杉山卓司, 河野 哲, 川俣富貴子, 小野大, 滝田裕美, 鈴木玲爾, 下島孝裕, 安井利一, "マウスマクロファージ様細胞 RAW264.7 細胞の一酸化窒素誘導性アポトーシスに対する *Porphyromonas gingivalis* 由来 CpG DNA の抑制作用", 明海歯科医学, 44 (2); pp250-267., 2015, 12

### D. 学会発表

#### 1. 国際学会

##### (3) 一般演題

- 1) 鈴木玲爾, 松本篤樹, 田邊達彦, 阿部真子, 上顎前歯部インプラント審美修復, 2015ICOI (International Congress of Oral Implantologists) 日本学術大会, 福岡, 2015, 8

#### 2. 全国学会

##### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 天野 修, 川邊好弘, 溝部健一, 平良芙蓉子, 三宅言輝, 崎山浩司, 荒木久生, 外分泌腺における筋上皮の意義 - 唾液腺筋上皮の形態変化 -, 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 郡山, 2016, 3

##### (3) 一般演題

- 1) 川邊好弘, 荒木久生, パーチカルストップ確立のための包括的アプローチ, 第 33 回日本顎咬合学会学術大会・総会, 東京, 2015, 6
- 2) 平良芙蓉子, 川邊好弘, 坂東康彦, 崎山浩司, 天野 修, ラット Ebner 腺の筋上皮細胞の分布と形態, 第 121 回日本解剖学会総会・全国学術集会, 郡山, 2016, 3
- 3) 鈴木惇也, 鈴木玲爾, 松本篤樹, リンガライズドオクルージョンを用いて義歯の安定を図った一症例, 第 33 回日本顎咬合学会学術大会. 東京, 2015, 6
- 4) 北風新平, 溝部健一, 荒木久生, 欠損状態に合わせた補綴処置についての一考察, 第 33 回日本顎咬合学会学術大会, 2015, 6
- 5) 田邊達彦, 鈴木玲爾, 松本篤樹, 上顎前歯部の抜歯窩に対して Ovate pontic を用いた一症例, 第 33 回日本顎咬合学会学術大会. 東京, 2015, 6
- 6) 鈴木玲爾, 松本篤樹, 徳富琴子, 審美修復治療における歯周形成外科の役割, 第 33 回日本顎咬合学会学術大会. 東京, 2015, 6
- 7) 松本和也, 鈴木玲爾, 松本篤樹, 正中離開歯にダイレクトボンディングを行った一



- 症例, 第 3 3 回日本顎咬合学会学術大会. 東京, 2015, 6
- 8) 阿部真子, 鈴木玲爾, 松本篤樹, 総義歯作製においてフレンジテクニックを用いた一症例, 第 3 3 回日本顎咬合学会学術大会. 東京, 2015, 6
- 9) 島田成章, 鈴木玲爾, 松本篤樹, 多数歯欠損に対する咬合再構成, 第 3 3 回日本顎咬合学会学術大会. 東京, 2015, 6
- 10) 伊藤友里子, 鈴木玲爾, 松本篤樹, 補綴前処置として MTM を行った一症例, 第 3 3 回日本顎咬合学会学術大会. 東京, 2015, 6
- 11) 玉置佳嵩, 鈴木玲爾, 松本篤樹, 補綴前処置として臨床的歯冠長延長術を応用した一症例, 第 3 3 回日本顎咬合学会学術大会. 東京, 2015, 6
- 12) 松本篤樹, 鈴木玲爾, 咬合再構成を行った一症例 (長期経過報告), 第 3 3 回日本顎咬合学会学術大会. 東京, 2015, 6

## 摂食嚥下リハビリテーション学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) 大岡 貴史, Changes of Oral Pathogens in Children with Respiratory Disease, "International Journal of Physical Medicine & Rehabilitation, 3, 303-305", 2015, 11
- 2) Nakagawa K, Matsuo K, Takagi D, Morita Y, Ooka T, Hironaka S, Mukai Y, "Effects of gum chewing exercises on saliva secretion and occlusal force in community-dwelling elderly individuals: A pilot study.", "Geriatrics & Gerontology International, 2015", 2015, 12
- 3) Morita Y, Ishikawa K, Nakano M, Wakabayashi H, Yamauchi K, Abe F, Ooka T and Shouji Hironaka, "Effects of lactoferrin and lactoperoxidase-containing food on the oral hygiene status of older individuals: A randomized, double blinded, placebo-controlled clinical trial", "Geriatrics & Gerontology International, 2016", 2016, 3

#### 2. 総説

- 1) 大岡貴史, 地域歯科医療における 摂食嚥下機能への支援や関わり, 日本歯科医師会雑誌, 68, 846-856, 2015, 11

### C. その他の刊行物など

- 1) 大岡貴史, 基盤研究 (C), 自閉症モデルラットにおける離乳期の味覚経験と摂食行動との関連, 科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 2016, 3

### D. 学会発表

#### 1. 国際学会

##### (3) 一般演題

- 1) Hironaka S, Ohkawa S, "Characteristics and changes of eating function in children with intellectual problem in a specialneeds school in Japan", "6th International Conference of Taiwan Association for Disability and Oral Health. Kaohsiung, Taiwan", 2015, 10

#### 2. 全国学会

##### (3) 一般演題

- 1) 弘中祥司, 離乳期における自閉症モデルラットの食餌選択性, 第 53 回日本小児歯科学会学術大会, 広島, 2015, 5
- 2) 高橋摩理, 高橋真朗, 大岡貴史, 弘中祥司, 幼児の食べ方に関する問題の検討 自閉症スペクトラム児と保育園児の比較, 第 53 回日本小児歯科学会学術大会, 広

- 島, 2015, 5
- 3) 弘中祥司, 向井美恵, 周術期患者における転帰と口腔衛生状態との関連, 第 64 回日本口腔衛生学会学術大会, 2015, 5
  - 4) 弘中祥司, 特別支援学校における摂食支援内容とその成果の要因分析, 第 62 回日本小児保健協会学術大会, 長崎, 2015, 6
  - 5) 中野学, 若林裕之, 森田優, 大岡貴史, 石川健太郎, 弘中祥司, ラクトフェリン+ラクトパーオキシダーゼ配合食品の口腔衛生改善効果(第 1 報) 易溶性錠菓の開発, 第 26 回日本老年歯科医学会学術大会, 横浜, 2015, 6
  - 6) 森田優, 大岡貴史, 中野学, 若林裕之, 石川健太郎, 弘中祥司, ラクトフェリン+ラクトパーオキシダーゼ配合食品の口腔衛生改善効果(第 2 報) 口腔衛生状態の変化, 第 26 回日本老年歯科医学会学術大会, 横浜, 2015, 6
  - 7) 弘中祥司, 介護福祉施設における終末期の食事摂取状況の検討, 第 26 回日本老年歯科医学会学術大会, 横浜, 2015, 6
  - 8) 中野学, 森田優, 石川健太郎, 大岡貴史, 若林裕之, 山内恒治, 阿部文明, 弘中祥司, 抗菌成分ラクトフェリン+ラクトパーオキシダーゼ配合食品の口腔衛生改善効果の検討, 第 10 回日本歯科衛生学会学術大会, 札幌, 2015, 9
  - 9) 弘中祥司, 特別養護老人ホームにおける摂食相談内容について, 第 21 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会, 京都, 2015, 9
  - 10) 弘中祥司, 自閉症モデルラットにおける飼育環境と摂食行動との関連, 第 32 回日本障害者歯科学会学術大会, 名古屋, 2015, 11
  - 11) 高橋摩理, 内海明美, 富田かをり, 大岡貴史, 向井美恵, 弘中祥司, スプーンの捕食位置に影響を与える要因の検討, 第 32 回日本障害者歯科学会学術大会, 名古屋, 2015, 11
  - 12) 井上勝元, 重松久夫, 野露紘子, 高野梨沙, 橋本潤子, 岩瀬直樹, 吉岡典子, 坂下英明, 藤澤政紀, 安井利一, 大川周治, 複数科での連携のもとに舌がん切除後の摂食嚥下リハビリテーションを行った 1 例, 明海歯科医学会第 28 回学術大会, 2015, 12
  - 13) 井上勝元, 重松久夫, 野露紘子, 高野梨沙, 橋本潤子, 岩瀬直樹, 吉岡典子, 坂下英明, 藤澤政紀, 安井利一, 大川周治, 多科連携のもとに舌がん切除後の摂食嚥下リハビリテーションを行った 1 例, 平成 27 年度埼玉県歯科医学会学術大会, 浦和, 2016, 2

### 3. 地方会

#### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 埼玉県摂食嚥下研究会・特別講演, 2016, 1

E. その他の研究会、講演など

- 1) 保育所・幼稚園歯科保健指導者研修会（多摩府中保健所）, 2015, 5
- 2) 武蔵野市保育園全体研修会（武蔵野市子ども家庭部）, 2015, 9
- 3) 健口づくりミーティング（埼玉県歯科医師会）, 2015, 10
- 4) 狭山保健所管内摂食嚥下リハビリテーション研修会（狭山保健所保健予防推進課）, 2015, 10
- 5) 福井県歯科医師会地域保健学術講演会（福井県歯科医師会）, 2015, 11
- 6) 障害者歯科ミーティング（埼玉県歯科医師会）, 2016, 1
- 7) 埼玉県学校保健委員会研修会（さいたま市立さくら草特別支援学校）, 2016, 2
- 8) 明海大学歯学部付属病院病診連携講演会, 2016, 2
- 9) 口腔機能向上のための講義（坂戸市役所高齢者福祉課）, 2016, 3
- 10) 口腔ケアに関する講演（坂戸市シルバー人材センター）, 2016, 1

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

科研費基盤 C (15K11428) 採択

## 基礎物理学

### A. 著書・訳本

#### 1. 著書

- 1) 山田英彦, 稲葉明美, 石原真理子, 2015 年度科学実験演習, リュウワ印刷, 埼玉, pp1-57, 2015, 9
- 2) 著書, 吉川秀明, 田草川 徹, 山田英彦, 嶋田 淳, 下顎枝矢状分割後におけるロッキングプレート固定の接合部骨組織の治癒に関する研究—ビーグル犬下顎骨による実験的研究—, 明海歯学誌, 45 (1), 26-38, 2016, 2016, 2

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

##### (3) 一般演題

- 1) 国内学会一般発表, 山田英彦, 石井廣明, 磯貝知範, 携帯型歯科用 X 線撮影装置の口外撮影法への適応, 第 9 回日本法歯科医学会学術大会, 東京, 2015, 6

# 病態診断治療学講座

病 理 学 分 野

薬 理 学 分 野

総合臨床歯科学分野

歯科放射線学分野

口腔顎顔面外科学分野(I)

口腔顎顔面外科学分野(II)

高齢者歯科学分野

歯科麻酔学分野

歯科法医学分野

# 病理学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 菊池建太郎, 草間薫, II. 歯原性腫瘍 1 悪性腫瘍 (1) 転移性エナメル上皮腫・エナメル上皮癌, 森永正二郎, 高田隆, 長尾俊孝: 腫瘍病理鑑別診断アトラス 頭頸部腫瘍Ⅱ 上気道・咽頭・口腔腫瘍と歯原性腫瘍, 文光堂, 東京, pp94-102, 2015, 4
- 2) 井出文雄, 菊池建太郎, 草間薫, II. 歯原性腫瘍 1 悪性腫瘍 (2) 原発性骨内扁平上皮癌, 森永正二郎, 高田隆, 長尾俊孝: 腫瘍病理鑑別診断アトラス 頭頸部腫瘍Ⅱ 上気道・咽頭・口腔腫瘍と歯原性腫瘍, 文光堂, 東京, 103-108, 2015, 4
- 3) 宮崎裕司, 菊池建太郎, 草間薫, 第6章 口腔微生物とがん, 落合邦康 監修, バイオテクノロジーシリーズ 腸内細菌・口腔細菌と全身疾患, シーエムシー出版, 東京, pp135-143, 2015, 12
- 4) 浅野正岳, 東雅啓, 井上孝, 宇都宮忠彦, 岡田康男, 落合隆永, 東理頼亮, 菊池建太郎, 草間薫, 久山佳代, 小宮山一雄, 末光正昌, 田中昭男, 槻木恵一, 徳永ハルミ, 長谷川博雅, 前田初彦, 松坂賢一, 松本直行, 美島健二, 病理学総論にもとづく口腔病理学; 井上考, 田中昭男, 長谷川博雅編集; 主幹, 岡田泰男, 草間薫, 久山佳代, 小宮山一雄, 槻木恵一, 前田初彦, 美島健二編, 永末書店, 京都, pp76-81, pp86-90, pp102-108, 2016, 3

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) Kikuchi K, Noguchi Y, de Rivera MW, Hoshino M, Sakashita H, Yamada T, Inoue H, Miyazaki Y, Nozaki T, Gonzalez-Lopez BS, Ide F and Kusama K, Detection of Epstein-Barr virus genome and latent infection gene expression in normal epithelia, epithelial dysplasia, and squamous cell carcinoma of the oral cavity, *Tumor Biology*, 37(3), 3389-3404, 2016, 3
- 2) Wendoline M, Nino RG, Kikuchi K, Miyazaki Y, Inoue H, Jose SVR, Silvia GLB, Arzate H and Kusama K, Clinicopathological study of epulis, including immunohistochemistry of CEMP1 expression in cases showing hard tissue formation., *J Meikai Dent Med*, 45(1), 7-14, 2016, 2
- 3) Hoshino M, Inoue H, Kikuchi K, Miyazaki Y, Yoshino A, Hara H, Terui T, Kusama K and Sakashita H. Comparative study of cytokeratin and langerin expression in keratinized cystic lesions of the oral and maxillofacial regions, *J Oral Sci*, 57(4), 287-294, 2015, 7

- 4) Miyazaki Y, Yoshida N, Nozaki T, Inoue H, Kikuchi K and Kusama K, Telomerase activity in the occurrence and progression of oral squamous cell carcinoma, J Oral Sci 57(4), 295-303, 2015, 8

## 2. 総説

- 1) 宮崎祐司, 菊池建太郎, 草間薫, 特集: 口腔環境と全身疾患の関係～口腔微生物とがん～, Bio Industry, 32, 38-45, 2015, 4

## 3. 症例報告

- 1) Ide F, Kikuchi K and Kusama K, Anastomosing or plexiform ameloblastoma?, Pathol Int., 65, 556, 2015, 10
- 2) Kikuchi K, Oku Y, Eguchi M, Suzuki S, Ide F, Sakashita K and Kusama K, Mantle cell lymphoma presenting as a symmetrically hard palatal swelling: A case report and review of the literature, Journal of Oral and Maxillofacial Surgery Medicine and Pathology, 27, 746-751, 2015, 9
- 3) Ide F, Kikuchi K, Sakashita H, Muramatsu T and Kusama K, Neurovascular involvement in central odontogenic fibroma: a potential source of confusion with invasive carcinoma, Histopathology, 66, 1044-1046, 2015, 6
- 4) Ide F, Muramatsu T, Kikuchi K and Kusama K, Oral plexiform schwannoma with unusual epithelial induction, J Cutan Pathol, 2015, 8
- 5) Ogasawara T, Kurosaka M, Jodai H, Kikuchi K, Ide F and Kusama K, Sclerosing polycystic adenosis with intraluminal crystalloids of the buccal mucosa: A case report and review of the literature, Journal of Oral and Maxillofacial Surgery Medicine and Pathology, 27, 580-587, 2015, 7
- 6) 藤原敬子, 森一将, 菊池建太郎, 草間薫, 嶋田淳, 上顎歯肉癌術後の口蓋欠損に対し頬脂肪体弁移植術を施行した1例, 日本口腔診断学会雑誌, 25, 118-123, 2015, 6

## D. 学会発表

### 2. 全国学会

#### (3) 一般演題

##### 国内学会一般発表

- 1) 田草川徹, 松山博康, 小林真彦, 田村暢章, 森一将, 龍田恒康, 菊池建太郎, 草間薫, 竹島浩, 嶋田淳, BRONJ発症部に生じた転移性偶発癌の2例, 第60回日本口腔外科学会総会・学術大会, 名古屋, 2015, 10
- 2) Kikuchi K, Inoue H, Ide F and Kusama K, Involvement of Epstein-Barr virus (EBV) in squamous cell carcinoma, 第26回日本臨床口腔病理学会総会・学術大会, 札幌, 2015, 8



- 3) 宮崎裕司, 菊池建太郎, 井上ハルミ, 山内雅司, 草間薫, テロメラーゼ活性と口腔癌進展に関する研究, 第 104 回日本病理学会総会, 名古屋, 2015, 4
- 4) 井上勝元, 鈴木正二, 瀧澤将太, 菊池建太郎, 草間薫, 坂下英明, 共に T1 症例として発見された異時性上下歯肉多発癌の 1 例, 第 69 回日本口腔科学会学術集会, 大阪, 2015, 5
- 5) 瀧澤将太, 鈴木茂, 鈴木正二, 加藤里英, 川本幸寛, 井上勝元, 菊池建太郎, 草間薫, 坂下英明, 上顎臼歯部に発生したエナメル上皮線維歯牙腫の 1 例, 第 27 回一般社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会, 宮崎, 2015, 11
- 6) 藤原敬子, 森一将, 菊池建太郎, 草間薫, 嶋田淳, 大唾液腺腫瘍における術前検査診断と確定診断の比較検討, 第 27 回一般社団法人日本口腔外科学会総会, 名古屋, 2015, 10
- 7) 重松久雄, 奥結香, 勅使河原睦, 鈴木正二, 菊池建太郎, 草間薫, 坂下英明, 男性乳癌を併発した口腔癌の 1 例, 第 60 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 名古屋, 2015, 10
- 8) 森一将, 藤原敬子, 下山彬, 菊池建太郎, 草間薫, 嶋田淳, 頬部皮下に発生した pleomorphic lipoma の 1 例, 第 69 回日本口腔科学会学術集会, 大阪, 2015, 5

E. その他の研究会, 講演など

- 1) 菊池建太郎, 口腔・唾液腺疾患 (依頼講義), 特別講義: 日本大学医学部 (3 年生) 病理学各論, 2015 年 4 月 17 日 (金), 2015, 4

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 菊池建太郎, 口腔癌の発生・浸潤・転移メカニズムにおける EBV と歯周病の関与, 科学研究助成事業 (基盤研究 C) 実施状況報告書 (平成 26 年度), 2015 年 4 月 16 日, 2015, 4

## 薬理学

### A. 著書・訳本

#### 1. 著書

- 1) 増田恵美、坂上宏（監修）, 松かさリグノイドの魅力, 承文堂, 2015, 9

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) "Orabi MA, Taniguchi S, Sakagami H, Yoshimura M, Amakura Y and Hatano T", Hydrolyzable tannins of tamaricaceous plants. 7.1 Structures and cytotoxic properties of oligomeric ellagitannins from leaves of *Tamarix nilotica* and cultured Tissues of *Tamarix tetrandra* Structures and cytotoxic properties of oligomeric ellagitannins from leaves of *Tamarix nilotica* and cultured Tissues of *Tamarix tetrandra*, *J Nat Prod.* 2016 Mar 3 PMID: 26938659, 2016, 3
- 2) "Suzuki R, Sakagami H and Shirataki Y", New anti-oxidative compounds from *Rhinacanthus Nasutus*, "Heterocycles 91(5): 1036-1041, 2015", 2015, 4
- 3) "Karki S, Das U, Umemura N, Sakagami H, Iwamoto S, Kawase M, Balzarini J, De Clercq E, Dimmock S, and Dimmock J", "3,5-Bis(3-alkylaminomethyl-4-hydroxybenzylidene)-4-piperidones: A novel class of potent tumor-selective cytotoxins", *J Med Chem* 59 (2): 763-769, 2016, 1
- 4) "Maki J, Sakagami H, Caceres A and Tada I", "A preliminary trial to the historical survey and view of the present authors' fundamental research for effects of plant-origin drugs on infectious diseases with special attention to Chagas disease caused by the obstinate protozoa, *Trypanosoma cruzi* in Guatemala, Central America (research note)", "Matsuyama University Review 27 (5) , 169-196 (2015) ", 2015, 12
- 5) "Garcia-Contreras R, Sugimoto M, Umemura N, Kaneko M, Hatakeyama Y, Soga T, Tomita M, Scougall-Vilchis RJ, Contreras-Bulnes R, Nakajima H and Sakagami H", Alteration of metabolomic profiles by titanium dioxide nanoparticles in human gingivitis model, *Biomaterials* 57: 33-40, 2015, 4
- 6) "Sakagami H, Sheng H, Ono K, Komine Y, Miyadai T, Terada Y, Nakada D, Tanaka S, Matsumoto M, Yasui T, Watanabe K, Junye J, Natori T, Suguro-Kitajima M, Oizumi H and Oizumi T", Anti-halitosis effect of toothpaste supplemented with alkaline extract of the leaves of *Sasa senanensis* Rehder, *In Vivo* 30(2): 107-111, 2016, 3

- 7) "Gul IH, Yamali C, Yasa TA, Unluer E, Sakagami H, Tanc M and Supuran CT", Carbonic anhydrase inhibition and cytotoxicity studies of Mannich base derivatives of thymol, *J Enzyme Inhib Med Chem*, 2016, 2
- 8) "Jimenez-Bueno I, Kobayashi K, Nakamura Y, Kotani Y, Sakagami H and Nakajma H", Comparative study of the marginal adaptation of three retro-filling materials, "Rev Endod Actua; 9(3): 4-11, 2015", 2015, 4
- 9) "Tugrak M, Yamali C, Sakagami H and Gul HI", "Synthesis of mono Mannich bases of 2-(4-hydroxybenzylidene)-2,3-dihydroinden-1-one and evaluation of their cytotoxicities", "J Enzyme Inhib Med Chem 6:1-6, 2015", 2015, 8
- 10) "Sakagami H, Shimada C, Kanda Y, Amano O, Sugimoto M, Ota S, Soga T, Tomita M, Sato A, Tanuma S, Takao K and Sugita Y", Effects of 3-styrylchromones on metabolic profiles and cell death in oral squamous cell carcinoma cells, "Toxicol Rep 2: 1281-1290, 2015", 2015, 12
- 11) "Okudaira N, Ishizaka Y, Nishio H and Sakagami H", Morphine and fentanyl citrate induce retrotransposition of long interspersed element-1, "In Vivo 30(2): 113-118, 2016", 2016, 3
- 12) "Uesawa Y, Sakagami H, Ishihara M, Kagaya H, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Yahagi H, Takao K and Sugita Y", Quantitative structure-cytotoxicity relationship of 3-styryl-2H-chromenes, *Anticancer Res* 35: 5299-5308, 2015, 10
- 13) "Sakagami H, Uesawa Y, Ishihara M, Kagaya H, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Takao K and Sugita Y", Quantitative structure-cytotoxicity relationship of oleoylamides, *Anticancer Res* 35: 5341-5355, 2015, 10
- 14) "Hino S, Nishiyama A, Matsuta T, Horie N, Shimoyama T, Tanaka S and Sakagami H", Quest for cells responsible for age-related increase of salivary glycine and proline, *In Vivo* 30(2): 91-97, 2016, 3
- 15) "Tomomura M, Suzuki R, Shirataki Y, Sakagami H and Tomomura A", Rhinacanthin C inhibits RANK ligand-induced osteoclast differentiation by preventing TRAF6-TAK1 formation and MAPK/NF-kappaB/NFATc1 pathways, *PLoS One*. 2015 Jun 17;10(6):e0130174., 2015, 6
- 16) 牧 純、関谷洋志、相良英憲、山口功、玉井栄治、坂上 宏、現在の日本において感染が危惧される代表的な寄生原虫類—その学名の言語的解析も含めて—, *愛媛県病薬会誌*、117、9-11 (2016) ", 2016, 1
- 17) 牧 純、田邊知孝、関谷洋志、相良英憲、玉井栄治、坂上 宏、舟橋達也、日本国内で公衆衛生上重要な3種の寄生蠕虫—その学名に親しむ語源的アプローチも含めて—, *愛媛県病薬会誌*、116、7-11 (2015) , 2015, 8

C. その他の刊行物など

- 1) 坂上 宏, 第 132 回日本薬理学学会関東部会報告および研究室訪問, "日薬理誌 146," , 2015, 10
- 2) 牧 純、田邊知孝、関谷洋志、玉井栄治、坂上 宏、舟橋達也, Sparganum mansoni 幼虫感染の危険性、社会・経済損失および予防対策に関する基礎研究, 松山大学論集 27 (1) 145-165 (2015) , 2015, 5
- 3) 坂上 宏、佐藤和恵、金本大成、寺久保繁美、中島秀喜、牧 純、白瀧義明、三間 修、斎田圭子, イヌトウキの生物活性と今後の展望, "New Food Industry 57 (5): 35-39, 2015", 2015, 5
- 4) 坂上 宏, これからの競争社会に立ち向かうには, 日薬理誌 145: 171-172, 2015, 4
- 5) 牧 純、関谷洋志、相良英憲、畑 晶之、山口 巧、玉井栄治、坂上 宏, マンソン住血吸虫感染の概要と予測される社会・経済損失の軽減・予防対策に関する基礎研究, "松山大学論集 27 (4-3) , 85-108 (2015) ", 2015, 8
- 6) 牧 純、田邊知孝、関谷洋志、玉井栄治、坂上 宏、舟橋達也, 肝蛭の感染による社会・経済損失の軽減と予防を目指す基礎研究 (研究ノート) , "松山大学論集 27 (2) 93-109 (2015) ", 2015, 6
- 7) 牧 純、田邊知孝、畑 晶之、関谷洋志、玉井栄治、坂上 宏、舟橋達也, 宮崎肺吸虫に関する概要とその感染がもたらす社会・経済損失、予防対策に関する基礎研究 (ノート) , "松山大学論集 26 (6) 389-402 (2015) ", 2015, 4
- 8) 牧 純、田邊知孝、関谷洋志、畑 晶之、玉井栄治、坂上 宏、舟橋達也, 血液寄生の吸虫類のひとつ日本住血吸虫に関する概要、その感染がもたらす社会・経済損失および予防対策に関する基礎研究 (研究ノート) , "松山大学論集 27 (1) 168-177 (2015) ", 2015, 5
- 9) 牧 純、関谷洋志、相良英憲、畑 晶之、山口 巧、玉井栄治、坂上 宏, 史的世界にみるマラリア、その感染による社会・経済損失の軽減および一次・二次・三次予防に関する基礎研究, "松山大学論集 27 (4-1) 249-276", 2015, 8
- 10) 牧 純、関谷洋志、相良英憲、畑 晶之、山口 巧、玉井栄治、坂上 宏:, 縮小条虫の感染で予測される社会・経済損失の軽減と一次・二次予防に関する基礎研究, "松山大学論集 27 (4-2) 201-222 (2015) ", 2015, 8
- 11) 牧 純、田邊知孝、畑 晶之、坂上 宏、中村円香、大西俊輔、関谷洋志、玉井栄治、舟橋達也, 人体への寄生虫感染を警戒すべき食材 (13) - 刺身・寿司からの感染が怖いアニサキスの予防策の背景となる基本的知見, "New Food Industry 57 (5): 61-69", 2015, 5
- 12) 牧 純、田邊知孝、畑 晶之、関谷洋志、玉井栄治、坂上 宏、舟橋達也, 人体への寄生虫感染を警戒すべき食材 (14) - 水生の食用植物、生の牛レバーから感

- 染する肝蛭, "New Food Industry 57 (7): 45-49, 2015", 2015, 7
- 13) 坂上 宏, 組織の活性化と人材の育成～新たなスタートを迎えるにあたって, "New Food Industry 57(4): 83-88, 2015", 2015, 4
- 14) 北嶋まどか、賈 俊業、名取威徳、大泉浩史、大泉高明、渡邊康一、安井利一、坂上 宏, 対談、広がるクマ笹の可能性—最新研究から見る未来の可能性, "New Food Industry 57 (9) 73-86", 2015, 9
- 15) Sheng H and Sakagami H:, 中国の食材 食効・薬効 No. 1、薏苡仁赤小豆湯, "New Food Industry 57 (9), 54", 2015, 9
- 16) Sheng H, Sakagami H and Shirataki Y, 中国の食材 食効・薬効 No. 2、夏バテに効く 緑(リョク)豆(トウ)湯, "New Food Industry 57 (10) 62", 2015, 10
- 17) Sheng H and Sakagami H, 中国の食材 食効・薬効 No. 3、秋の養生 百合根, "New Food Industry 57 (11) 28", 2015, 11
- 18) 牧 純、田邊知孝、関谷洋志、畑 晶之、玉井栄治、坂上 宏、舟橋達也, 迷信的な動物性“生薬”等が原因となる広東住血線虫感染の概要と予測される社会・経済損失、予防対策に関する基礎研究, "松山大学論集 26 (6) 323-342 (2015)", 2015, 4

#### D. 学会発表

##### 1. 国際学会

###### (2) シンポジウム

- 1) "Adachi K, Kobayashi M, Koshikawa N, Sakagami H, Waddington JL", Disruption of programmed masticatory movements in Parkinson's disease, "2nd Annual Neural Mechanisms of Feeding and Swallowing and Their Applications on Neural Rehabilitation, Chicago, Illinois, USA (October 16, 2015). ", 2015, 10

###### (3) 一般演題

- 1) "Garcia-Contreras R, Acosta-Torres LS, Scougall-Vilchis RJ, Arenas-Arrocena MC, Contreras-Bulnes R and Sakagami H", Pro-inflammatory effects of TiO<sub>2</sub> nanoparticles observed in human periodontitis model, "The American Association for Dental Research, 45th Annual Meeting of the AADR/40th Annual Meeting of the CADR in the Los Angeles Convention Center, Los Angeles, California, USA (March 16-19, 2016). ", 2016, 3
- 2) "Adachi K, Kobayashi M, Sakagami H and Koshikawa N", Pyramidal neurons in the agranular insular cortex receives sensory inputs from the tongue: an in vivo whole-cell patch-clamp study, "Neuroscience 2015, Chicago, Illinois, USA (October 17-21, 2015). ", 2015, 10
- 3) "Orabi M, Taniguchi S, Sakagami M, Yoshimura M, Amakura and Hatanob

- T", Structures and cytotoxicity of oligomeric hydrolyzable tannins from cultured tissues of *Tamarix tetrandra* and leaves of *Tamarix nilotica*, "BSU-HNT2015 Health between Nutrition and Treatment 30 - 31 August 2015 Faculty of Pharmacy, Beni-Suef University Beni-Suef, Egypt", 2015, 8
- 4) "Hasegawa N, Sasaki A, Takahashi K, Yu G, Suda N, Sakagami H and Adachi K", Temporal alterations of morphological and physiological features in rat experimental tooth movement model, "Neuroscience 2015, Chicago, Illinois, USA (October 17-21, 2015). ", 2015, 10
- 5) "Odai R, Adachi K, Hino S, Simoyama T, Sakagami H, Lavigne GJ and Sessle BJ", Time-related changes of jaw-opening reflex excitability in quiet sleep in rats during post-surgical recovery, "Neuroscience 2015, Chicago, Illinois, USA (October 17-21, 2015). ", 2015, 10

## 2. 全国学会

### (3) 一般演題

- 1) 奥平准之、坂上 宏, Analysis of long interspersed element 1 Retrotransposition in various drugs., 第89回日本薬理学会年会, 2016, 3
- 2) 上野美華子、奥平准之、石坂幸人, PhIP処理特異的なLINE-1新規挿入スクリーニングと乳がん発症への関与, 第74回日本癌学会学術集会, 2015, 9
- 3) 坂上 宏, ササヘルスの多様な生物作用, 平成27年緑健会全国大会、TKPガーデンシティ品川、東京, 2015, 6
- 4) 生 宏、奥平准之、坂上 宏、ジア・ジュンイエ、名取威徳、北嶋まどか、大泉浩史、大泉高明, ドキソルビシンによるヒト口腔ケラチノサイト毒性の誘導一クマ笹葉アルカリ抽出液による抑制, 第89回日本薬理学会年会、横浜, 2016, 3
- 5) 黒田明平、石原 舞、生 宏、奥平准之、坂上 宏、三巻祥浩, "ナス科 *Withania somnifera* 種子からの単離されたステロイド成分の化学構造と腫瘍細胞毒性", 日本薬学会第136年会, 2015, 10
- 6) 木村優里子、青山弘枝、下津祐樹、坂上 宏、波多野力, ハンカチノキの成分 (第2報), 日本生薬学会第62回年会、岐阜、長良川国際会議場, 2015, 9
- 7) 梅村直己、坂上 宏, ヒアルロン酸は歯髄幹細胞をCD44 を介して象牙芽細胞様に分化させる, 第57回歯科基礎医学会学術大会、新潟, 2015, 9
- 8) 坂上 宏、神田由未子、天野 修、杉本昌弘, ベンジリデンアスコルベート関連物質によるヒト口腔扁平上皮癌細胞死誘導のメタボローム解析, 第89回日本薬理学会年会、横浜, 2016, 3
- 9) 坂上 宏、田中庄二、村上幸生、片山 直、天野 修、横瀬敏志, ユージノールにより誘導される口腔正常細胞の代謝プロファイルの変化, 第57回歯科基礎医学会

学術大会、新潟、2015, 9

- 10) 尾台令奈、安達一典、渡部 茂、坂上 宏、ラットの術後性回復と安静睡眠時の末梢刺激応答性変化, 第57回歯科基礎医学会学術大会、新潟、2015, 9
- 11) 友村美根子、鈴木龍一郎、白瀧義明、坂上 宏、田村暢章、友村明人, リナカンチンCの抗破骨作用, 第88回生化学会、神戸、2015, 12
- 12) 田島雅道、坂上 宏, リン酸ナトリウムはbisphosphonateによる骨芽細胞障害を増強する, 第57回歯科基礎医学会学術大会、新潟、2015, 9
- 13) 田島雅道、坂上 宏, リン酸塩はbisphosphonateによる骨芽細胞障害を増強する, 第89回日本薬理学会年会、横浜、2016, 3
- 14) 田中庄二、秋田紗世子、谷口 潔、片山 直、坂上 宏, 加齢に伴う唾液アミノ酸変動のメタボローム解析, 第57回歯科基礎医学会学術大会、新潟、2015, 9
- 15) 松島玄明、新井由香、今泉俊介、鈴木龍一郎、坂上 宏、白瀧義明, 口腔がんの有効な生薬成分の探索, 日本生薬学会第62回年会、岐阜、長良川国際会議場、2015, 9
- 16) 奥平准之、西口美紀、主田英之、大塚洋輔、西尾元, 鎮痛薬のLong Interspersed Element 1転移機構, 第99回日本法医学会学術集会、2015, 6
- 17) 安達一典、小林真之、坂上 宏, 島皮質無顆粒層錐体細胞の口腔内刺激応答, 第89回日本薬理学会年会、横浜、2016, 3
- 18) 奥平准之、坂上 宏, 乱用薬物のlong interspersed element 1レトロトランスポジションの誘導機序, 第89回日本薬理学会年会、横浜、2016, 3

### 3. 地方会

#### (3) 一般演題

- 1) 坂上 宏、杉本昌弘、佐藤 聡、田沼靖一、高尾浩一、杉田義昭, (E)-3-(4-Hydroxystyryl)-6-methoxy-4H-chromen-4-oneのヒト口腔扁平上皮癌細胞に対する腫瘍選択性および誘導される細胞死の解析, 第133回日本薬理学会関東部会、柏、2015, 10
- 2) 植沢芳広、加賀谷肇、石原真理子、坂上 宏、金本大成、寺久保繁美、中島秀喜、矢作秀明、高尾浩一、杉田義昭, 3-Styryl-2H-chromenesの定量的構造 - 細胞傷害性相関解析, 第132回日本薬理学会関東部会、浦安、2015, 7
- 3) 石原真理子、植沢芳広、加賀谷肇、坂上 宏、金本大成、寺久保繁美、中島秀喜、高尾浩一、杉田義昭, Oleoylamides誘導体の定量的構造-細胞傷害性相関解析, 第132回日本薬理学会関東部会、浦安、2015, 7
- 4) 大野裕和、三好省三、新穂大介、金本大成、寺久保繁美、中島秀喜、須永克佳、天野滋、坂上 宏、山本正次, アルカリ抽出による甘草根の効率的利用, 第132回日本薬理学会関東部会、浦安、2015, 7
- 5) 賈 俊業、大泉高明、大泉浩史、北嶋まどか、名取威徳、田中庄二、松本 勝、安

- 井利一、渡邊康一、坂上 宏, クマ笹アルカリ抽出液の口臭抑制作用：基礎研究から臨床研究へ, 第132回日本薬理学会関東部会、浦安, 2015, 7
- 6) 加藤崇雄、瀬上夏樹、坂上 宏, 漢方製剤および構成植物抽出液のLPS様物質の混入と漢方製剤の炎症作用およびについて, 第132回日本薬理学会関東部会、浦安, 2015, 7
  - 7) 坂上 宏、梅村直己、中畷 裕、杉本昌弘、Rene Garcia-Contreras、Rogelio J. Scougall-Vilchis、Rosalia Contreras-Bulnes, 酸化チタンナノ粒子によるヒト歯肉線維芽細胞炎症への影響, 第132回日本薬理学会関東部会、浦安, 2015, 7
  - 8) 尤 雅田、長谷川直哉、佐々木会、安達一典、坂上 宏、須田直人, 歯の移動に伴う疼痛に対する漢方薬の効果, 第132回日本薬理学会関東部会、浦安, 2015, 7
  - 9) 日野峻輔、尾台令奈、堀江憲夫、下山哲夫、坂上 宏、安達一典, 睡眠時の末梢刺激応答性変化に関わる神経機構の検討, 第132回日本薬理学会関東部会、浦安, 2015, 7

#### E. その他の研究会、講演など

- 1) 坂上 宏、生 宏、大石隆介, 組織の活性化と人材の育成～国際的コミュニケーション能力の重要性, 平成 27 年度コミュニケーション教育学会合同研究会（産業連合研究会）、日本医療科学大学、坂戸、埼玉, 2016, 3

#### F. 研究助成金等の受入れ

##### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 奥平准之, 乱用薬物の Long Interspersed Element 1 転移機構の解析, 若手 B (課題番号：15K19278)
- 2) 坂上宏 (分担), 植物性食品および生薬中の抗腫瘍性物質としての抗分子ポリフェノール研究の展開、基盤 (C) (課題番号：25450170) (研究代表者：波多野力)
- 3) 安達一典 (代表), In vivo マルチパッチクランプ法による島皮質統合機構の解明, 科研費：基盤 (C) (課題番号：26462824)

##### 2. その他の公的機関からの助成金

- 1) 奥平准之, Long Interspersed Element 1 の中枢神経機能への影響と薬物依存との関連性, 2013 年度 武田科学振興財団 医学系研究奨励
- 2) 奥平准之, Long Interspersed Element 1 の薬物依存形成機構に関する生物学的研究, 2013 年度 内藤記念科学振興財団研究助成

##### 3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 安達一典, 睡眠時末梢刺激応答性に関与する因子の同定と受容体機構の検討, 宮田研究奨励金 (A)



## 総合臨床歯科学分野

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Murakami Y, Kawata A, Katayama T and Fujisawa S: Anti-inflammatory activity of the artificial antioxidants 2-tert-butyl-4-methoxyphenol (BHA), 2,6-di-tert-butyl-4-methylphenol (BHT) and 2,4,6-tri-tert-butylphenol (TBP), and their various combinations. *In Vivo* 29: 197-206, 2015.
- 2) Murakami Y, Kawata A, Ito S, Katayama T and Fujisawa S. The radical scavenging activity and cytotoxicity of resveratrol, orcinol and 4-allylphenol and their inhibitory effects on Cox-2 gene expression and Nf  $\kappa$  b activation in RAW264.7 cells stimulated with *Porphyromonas gingivalis*-fimbriae. *In Vivo* 29: 341-350. 2015.
- 3) Murakami Y, Kawata A, Ito S, Katayama T and Fujisawa S: Radical-scavenging and anti-inflammatory activity of quercetin and related compounds and their combinations against RAW264.7 cells stimulated with *Porphyromonas gingivalis* fimbriae. Relationships between anti-inflammatory activity and quantum chemical parameters. *In Vivo* 29: 701-710, 2015.

#### 2. 総説

- 1) 村上幸生, 川田朗史, 片山 直: 植物性 phenol 関連化合物による抗炎症作用と口腔病予防薬への可能性. *明海歯学* 44: 119-128, 2015 年.

#### 3. 症例報告

- 1) 丸山直美, 村上幸生, 川田朗史, 大井優一, 片山 直: 口腔衛生管理によって義歯を装着できた肉芽腫性エプーリス患者の 1 例. *日総歯誌* 7: 53-56, 2015 年.

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

##### (3) 一般演題

- 1) 宇津木千鶴, 村上幸生, 町野 守: 上顎歯肉に外向性増殖を示した周辺性エナメル上皮腫の 1 例. 第 69 回日本口腔科学会, 大阪, 2015 年 5 月.
- 2) 村上幸生: 植物性抗酸化フェノール関連化合物の歯周病原細菌菌体成分刺激による転写因子活性化制御機構を探る. 第 26 回明海歯科医学会, 坂戸, 2015 年 6 月.
- 3) 松村正晃, 川田朗史, 香村亜希子, 岡田知之, 渡辺裕美, 田所瑞希, 小井戸美公, 丸山直美, 大井優一, 田村靖子, 岡田典久, 田中庄二, 村上幸生, 片山 直: 明海大学病院口腔診断科における過去 2 年間の患者動向調査. 第 28 回日本口腔診断学会. 東京, 2015 年 9 月.

- 4) 宇津木千鶴, 田村靖子, 村上幸生, 片山 直, 町野 守: 当科で実施した病理組織学的検査の統計学的検討. 第 28 回日本口腔診断学会, 東京, 2015 年 9 月.
- 5) 村上幸生, 香村亜希子, 川田朗史, 松村正晃, 丸山直美, 小井戸美公, 岡田知之, 田所瑞希, 田村靖子, 町野 守, 片山 直: タマサキツヅラフジ抽出アルカロイド剤 (セファランチン) の投与によって改善した口腔扁平苔癬の 1 例. 第 28 回日本口腔診断学会, 東京, 2015 年 9 月.
- 6) 町野 守, 高松紗耶子, 村上幸生: Plasma cell mucositis の 1 例. 第 25 回日本口腔内科学会, 大阪, 2015 年 9 月.
- 7) 坂上 宏, 田中庄二, 村上幸生, 片山 直, 天野 修, 横瀬敏志: ユージノールにより誘導される口腔正常細胞の代謝プロファイルの変化. 第 57 回日本歯科基礎学会, 新潟, 2015 年 9 月.
- 8) 田中庄二, 秋田紗世子, 谷口 潔, 片山 直, 坂上 宏: 加齢に伴う唾液アミノ酸変動のメタボローム解析. 第 57 回歯科基礎医学会, 2015 年 9 月.
- 9) 宇津木千鶴, 片山 直, 村本和世, 町野 守: 残存歯数と嗅覚機能の関係. 第 49 回日本味と匂学会, 岐阜, 2015 年 9 月.
- 10) 松村正晃, 大井優一, 村上幸生, 川田朗史, 丸山直美, 片山 直: 過蓋咬合に起因する咀嚼不良患者に補綴的咬合再構成を図った 1 例. 第 8 回日本総合歯科学会, 東京, 2015 年 11 月.

### 3. 地方会

#### (3) 一般演題

- 1) 賈 俊業, 大泉高明, 大泉浩史, 北嶋まどか, 名取威徳, 渡邊康一, 田中庄二, 松本 勝, 安井利一, 坂上 宏: クマ笹アルカリ抽出液の口臭抑制作用. 基礎研究から臨床研究へ. 第 132 回日本薬理学会関東部会, 2015 年 7 月.

#### E. その他の研究会、講演など

- 1) 松村正晃, 松村正平: 虫歯と歯科予防管理について. 御狩場小学校平成 27 年度第 3 回学校保健委員会後援会, 2015 年 12 月.
- 2) 松村正晃, 松村正平: 虫歯について. 山王中学校平成 27 年度やまびこ歯科保健指導, 2015 年 12 月.

#### F. 研究助成金等の受入れ

##### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 片山 直: ヒト歯髄幹細胞の造骨性分化を誘導する PI 3-Kinase/Akt シグナルの解析. 日本学術振興会科学研究費助成事業 (科学研究費補助金), 基盤研究 (C), 2015 年.

2) 村上幸生：抗酸化性フェノール関連化合物による酸化還元感受性転写因子の活性化制御機構を探る。日本学術振興会科学研究費助成事業（科学研究費補助金），基盤研究（C），2015年。

3. 宮田研究奨励金（A）および（E）

1) 村上幸生：歯周病原細菌菌体成分刺激による酸化還元感受性転写因子活性化に及ぼす抗酸化性フェノール関連化合物による調節作用を探る。2015年度宮田研究奨励金【A】，2015年。

# 歯科放射線学

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) 奥村泰彦, 高橋伸年, 小澤智宣, 大高祐聖, 井澤真希, 齋藤圭輔, 芝規良, 桶田賢次, 齊藤嘉大, 鈴木達也, 岸田尚樹: 2015年度 歯科放射線学実習帳, リュウワ印刷, 埼玉, pp1-52, 2015.9

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) 流石 麻由, 小泉 伸秀, 鈴木 達也, 齊藤 嘉大, 岸田 尚樹, 齋藤 圭輔, 池 真樹子, 坂 英樹, 奥村 泰彦: 下顎骨の成長発育にともなう下顎管走行の変化. 明海歯学誌 44 (2), 129-144, 2015.9
- 2) 瀬寄 雄介, 小泉 伸秀, 岸田 尚樹, 齊藤 嘉大, 齋藤 圭輔, 小澤 智宣, 高橋 伸年, 奥村 泰彦: トモシンセシスによるパノラマ断層面再構成画像の MTF. 明海歯学誌 44 (2), 145-156, 2015.9
- 3) 渡邊 正佳, 井澤 真希, 芝 規良, 岸田 尚樹, 齋藤 圭輔, 小澤 智宣, 奥村 泰彦: 歯科放射線学臨床実習における放射線被曝防護のための Quality Assurance. 明海歯学誌 44 (2), 157-167, 2015.9

### 2. 総説

- 1) 原田康雄, 井澤真希, 奥村泰彦: 歯科用コーンビーム CT の画質評価: 最適化とリスク管理. 歯科放射線学会誌 55 (1), 1-4, 2015.12
- 2) 佐藤健児, 原田康雄, 西川慶一, 三浦雅彦, 勝又明敏, 有地栄一郎: 大学歯学部・歯科大学附属病院における歯科用コーンビーム CT 検査についてのアンケート調査. 歯科放射線学会誌 55 (1), 5-10, 2015.12
- 3) 原田康雄, 境野利江, 奥村泰彦: 歯科用コーンビーム CT の線量評価と品質管理. 歯科放射線学会誌 55 (1), 11-14, 2015.12

## D. 学会発表

### 1. 国際学会

#### (3) 一般演題

- 1) Izawa M, Kishida N, Harata Y, Shiba N and Okumura Y: Rando Phantom Dosimetry of Three-Dimensional Cephalometry Using KaVo 3D eXam+ Cone-Beam Computed Tomography and nanoDot Dosimeters. 91th European Orthodontics Society, Venice, 2015.6

- 2) Suzuki T, Koizumi N, Oketa K, Saito Y and Takahashi N : Influence of the Surrounding Organization in the Growth and Development in a Mandibular Incisor Using Cone Beam Computed Tomography. 91th European Orthodontics Society, Venice, 2015.6

## 2. 全国学会

### (3) 一般演題

- 1) 小泉伸秀, 高橋信生, 池真樹子, 西川慶一, 和光衛, 奥村泰彦 : 一次元超解像を応用した高解像度パノラマエックス線撮影装置の開発. 日本歯科放射線学会第 56 回総会・学術大会, 仙台, 2015.6
- 2) 小澤智宣, 井澤真希, 大高祐聖, 小泉伸秀, 池真樹子, 高橋伸年, 奥村泰彦 : フォトカウンティング型パノラマエックス線撮影装置を利用したチタン周囲の頬舌的骨評価の試み, 日本歯科放射線学会第 56 回総会・学術大会, 仙台, 2015.6
- 3) 大高祐聖, 坂 英樹, 原田康雄, 井澤真希, 芝 規良, 岸田尚樹, 齋藤圭輔, 奥村泰彦 : 携帯型歯科用エックス線発生装置における後方散乱シールドの効果について, 日本歯科放射線学会第 56 回総会・学術大会, 仙台, 2015.6
- 4) 佐藤健児, 原田康雄, 西川慶一, 境野利江, 奥村泰彦, 佐野司 : 大学歯学部・歯科大学附属病院における歯科用コーンビーム CT の診断参考レベル. 日本歯科放射線学会第 56 回総会・学術大会, 仙台, 2015.6
- 5) 境野利江, 原田康雄, 佐藤健児, 井澤真希, 芝規良, 岸田尚樹, 小林育夫, 佐野司, 奥村泰彦 : 広い視野を有する歯科用コーンビーム CT 装置の線量測定. 日本歯科放射線学会第 56 回総会・学術大会, 仙台, 2015.6
- 6) 原田康雄, 小林育夫, 井澤真希, 岸田尚樹, 芝規良, 齋藤圭輔, 高橋伸年, 奥村泰彦 : 歯科 X 線検査における水晶体被曝について. 日本歯科放射線学会第 56 回総会・学術大会, 仙台, 2015.6
- 7) 奥村泰彦, 井澤真希, 岩井一男, 大林尚人, 後藤賢一, 佐藤健児, 杉原義人, 西川慶一, 野津雅和, 原田康雄, 丸橋一夫, 三島章 : 歯科口内法 X 線撮影における診断参考レベルを設定するための線量調査. 日本歯科放射線学会第 56 回総会・学術大会, 仙台, 2015.6
- 8) 井澤真希 : 線量測定・品質管理に関する私達の経験. 第 21 回コンピュータ応用・画像情報研究会, 仙台, 2016.6
- 9) 岩脇淳志, 大高祐聖, 浅見瑠璃, 奥村泰彦, 坂英樹 : 携帯型歯科用 X 線発生装置の後方被曝線量について. 第 14 回警察歯科医会全国大会, 仙台, 2015.8
- 10) 大高祐聖, 岩脇淳志, 浅見瑠璃, 井澤真希, 奥村泰彦, 坂英樹 : 個人識別作業における携帯型エックス線撮影による手指被曝. 日本法歯科医学会第 9 回学術大会, 東京, 2015.6

- 1 1) 大高祐聖, 坂英樹, 北村晃, 奥村泰彦, 歯科的個人識別業務における携帯型エックス線装置使用時の防護: 第 99 次日本法医学会学術全国集会, 高知, 2015.6

### 3. 地方会

#### (3) 一般演題

- 1) 齊藤嘉大、高橋伸年、鈴木達也、井澤真希、小澤智宣、奥村泰彦: MDCT を使用したボリュームレンダリング法における仮想顔貌 3D モデル構築. NPO 法人 日本歯科放射線学会第 222 回関東地方会, 神奈川, 2016.1
- 2) 芝規良, 原田康雄, 井澤真希, 齋藤圭輔, 岸田尚樹, 高橋伸年, 奥村泰彦: デジタルパノラマ X 線撮影装置の画質と線量の関係について. 第 221 回関東地方会・第 35 回北日本地方会・第 23 回合同地方会, 東京, 2015.7
- 3) 佐藤健児, 原田康雄, 西川慶一, 境野利江, 奥村泰彦, 佐野司: 大学歯学部・歯科大学附属病院における歯科用コーンビーム CT の診断参考レベルー異なる FOV における線量評価ー. 第 221 回関東地方会・第 35 回北日本地方会・第 23 回合同地方会, 東京, 2015.7
- 4) 大高祐聖: 携帯型エックス線発生装置の被曝線量管理. 明海歯科医学会第 26 回学術大会, 埼玉, 2015.6
- 5) 齋藤圭輔, 小澤智宣, 芝規良, 高橋伸年, 泉澤充, 高橋徳明, 東海林理, 杉山芳樹, 小豆島正典, 奥村泰彦: 石灰化の程度の異なるエナメル上皮繊維歯牙腫の 2 例. NPO 法人日本歯科放射線学会第 20 回臨床画像大会, 福岡, 2015.11
- 6) 芝規良: 輝尽蛍光体を用いたパノラマ画像の画質と線量. 明海歯科医学会第 26 回学術大会, 埼玉, 2015.6
- 7) 鈴木達也: CBCT を用いた下顎切歯管の成長発育 における周囲組織の影響. 明海歯科医学会第 26 回学術大会, 埼玉, 2015.6
- 8) 桶田賢次: 口内法デジタルエックス線撮影に使用される イメージングプレートの粒状性に関する研究. 明海歯科医学会第 26 回学術大会, 埼玉, 2015.6
- 9) 齊藤嘉大: MDCT を使用したボリュームレンダリング法 における仮想顔貌 3D モデル構築. 明海歯科医学会第 26 回学術大会, 埼玉, 2015.6
- 1 0) 岸田尚樹: 大照射野歯科用コーンビーム CT 装置での 患者被ばく量の検討. 明海歯科医学会第 26 回学術大会, 埼玉, 2015.6

#### E. その他の研究会、講演など

- 1) 金田 隆, 奥村泰彦, 佐藤健児, 西川慶一, 原田康雄, 境野利江, 井澤真希, 高橋伸年, 小澤智宣, 芝 規良, 桶田賢次, 鈴木達也, 岸田尚樹, 齋藤圭輔: 第三回顎口腔領域エックス線検査に対する被曝線量測定研修会. NPO 法人日本歯科放射線学会, 埼玉, 2016.1

- 2) 金田 隆, 奥村泰彦, 佐藤健児, 西川慶一, 原田康雄, 境野利江, 井澤真希, 高橋伸年, 小澤智宣, 芝 規良, 桶田賢次, 鈴木達也, 岸田尚樹, 齋藤圭輔: 第二回企業向け顎口腔領域エックス線検査に対する被曝線量測定研修. NPO 法人日本歯科放射線学会, 埼玉, 2015.9
- 3) 奥村泰彦, 三島章, 野津雅和, 林孝文, 月岡庸之, 小林育夫, 佐藤健児, 原田康雄: 歯科領域の医療放射線の利用と防護. 第37回「医療放射線の安全利用」フォーラム, 東京, 2016.2

#### F. 研究助成金等の受入れ

##### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 大高祐聖: 歯科用携帯型エックス線発生装置の安全基準ガイドラインの作製. 2015年度 日本学術振興会科学研究費補助金若手研究 (B), 2015.4

##### 3. 宮田研究奨励金 (A) および (E)

- 1) 井澤真希: 歯科用コーンビーム CT 装置の品質管理に向けた線量測定の研究. 2015年度 宮田研究奨励金(A), 95万円, 2015.6

## 口腔顎顔面外科学 (I)

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) "Mori K, Haraguchi S, Hiroi M, Shimada J, Ohmori Y", Tumor-associated macrophages in oral premalignant lesions coexpress CD163 and STAT1 in a Th1-dominated microenvironment., "BMC Cancer 15, 573", 2015, 8
- 2) 田中敏史, 青木竜平, 佐野哲文, 園川拓哉, 豊田博行, 浦 啓修, 大山洋子, 川口祥子, Victor Jose KITANO FLORES, 嶋田 淳, インプラント窩形成時の骨表面の温度変化の計測, "明海歯科医学 45(1), 72-80, 2016 ", 2016, 3
- 3) 佐野哲文, 大山洋子, 森 一将, 龍田恒康, 佐野正之, 渡部 茂, 嶋田 淳, 小児歯科専門医院における外傷性歯牙脱臼の臨床的検討, 小児口腔外科学誌, 25(3), 140-145, 2015, 12
- 4) 関根真一, 青木竜平, 佐野哲史, 園川拓哉, 豊田博之, 浦啓修, 大山洋子, 川口祥子, Victor Jose KITANO FLORES, 嶋田淳, 頬骨骨折発生時の衝撃力と動ひずみ計測, 明海歯学誌. 45. pp62-71, 2016, 2

#### 3. 症例報告

- 1) 藤原敬子, 森 一将, 菊池建太郎, 草間 薫, 嶋田 淳, 上顎歯肉癌術後の口蓋欠損に対し頬脂肪体弁移植術を施行した 1 例, 日本口腔診断学会誌 28 118-123, 2015, 6

### C. その他の刊行物など

- 1) 龍田恒康, 舌 苔, 東京新聞, 平成 27 年 7 月 8 日朝刊, 健康欄, 2015, 7

### D. 学会発表

#### 1. 国際学会

##### (3) 一般演題

- 1) "Masahiko Kobayashi, Aous Abdulmajeed, Jongyun Moon, Risto Punkkinen, Jun Shimada, Pekka Vallittu, Lippo Lassila", "The effect of ultraviolet treatment on surface characteristics, bacterial adhesion, and cellular response of TiO<sub>2</sub> nanotubes", "45th Annual Meeting & Exhibition of the AADR. Los Angeles, Calif., USA.", 2016, 3

#### 2. 全国学会

##### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 田草川徹, BRONJ とインプラントについて, 平成 27 年度 第 10 回一般社団法人



東京形成歯科研究会 主催公益社団法人日本口腔インプラント学会 認定講習会 : 東京, 2016, 1

(3) 一般演題

- 1) 田草川徹, 松山博康, 小林真彦, 田村暢章, 森 一将, 龍田恒康, 菊池建太郎, 草間 薫, 竹島 浩, 嶋田 淳, BRONJ 発症部に生じた転移性偶発癌の 2 例, 第 60 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (名古屋国際会議場), 2015, 10
- 2) "Kazumasa Mori, Miki Hiroi, Jun Shimada and Yoshihiro Ohmori", Involvement of infiltrated T-helper cell type 1 in differentiation of CD163-positive tumor associated macrophages in oral premalignant lesion, 第 57 回歯科基礎医学会学術大会・総会, 2015, 9
- 3) 藤原 敬子, 田村 暢章, 田草川 徹, 森 一将, 嶋田 淳, インプラント機能後にビスフォスフォネート製剤投与の開始された患者に生じたインプラント周囲炎の 1 例, 第 45 回日本口腔インプラント学会学術集会, 2015, 9
- 4) 龍田恒康, インプラント治療における外科的合併症を回避するために, 第 33 回日本顎咬合学会・学術大会, 東京都, 2015, 6
- 5) 田草川徹, 田村暢章, 龍田恒康, 竹島 浩, 嶋田 淳, インプラント埋入が原因と考えられた上顎洞アスペルギルス症の 1 例, 第 35 回日本口腔インプラント学会関東・甲信越支部学術大会, 東京, 2016, 2
- 6) 森 一将, 藤原敬子, 嶋田 淳, 口腔内多発性潰瘍患者の舌背部より分離された *Leclercia adecarboxylata* の 1 例, 第 25 回日本有病者歯科医学会総会学術大会, 2016, 3
- 7) 金子 優, 大塚雄一郎, 加藤悠歩, 森脇由華, 藤田昌樹, 田草川徹, 龍田恒康, 嶋田 淳, 須田直人, 骨格性下顎前突患者における顎矯正手術前後の口唇圧と舌圧の変化, 第 25 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 東京, 2015, 5
- 8) 龍田恒康, 今後の歯科医療人として知らなければならない臨床検査+口腔外科「噛んで食べることの表舞台」, 2015 年度日本顎咬合学会 認定医教育研修会, 東北支部, 仙台, 2015, 12
- 9) 川口 祥子, 田草川 徹, 園川 拓哉, 吉川 秀明, 田村 暢章, 龍田 恒康, 竹島 浩, 川尻 朱美, 真野 樹子, 須田 直人, 嶋田 淳, 術前 CT 画像により中頭蓋窩くも膜嚢胞が確認された 1 例, 第 25 回日本顎変形症学会総会・学術大会 (ベルサール神田: 東京), 2015, 6
- 10) 佐野哲文, 荻原 孝, 龍田恒康, 渡部 茂, 嶋田 淳, 上顎第三大臼歯の存在が, 上顎第二大臼歯の萌出を妨げた 1 例, 日本小児歯科学会関東地方会第 30 回記念大会・総会, 東京, 2015, 9
- 11) 森 一将, 廣井美紀, 嶋田 淳, 大森喜弘, 前癌病変の CD163+ 腫瘍関連マクロファージ分化誘導に浸潤ヘルパー 1 型 T 細胞が関与する, 第 59 回 公益社団法人 日

本口腔外科学会総会・学術大会, 2015, 10

- 12) 藤原 敬子, 森 一将, 菊池 建太郎, 草間 薫, 嶋田 淳, 大唾液腺腫瘍における術前検査診断と確定診断の比較検討, 第 59 回 公益社団法人 日本口腔外科学会総会・学術大会, 2015, 10
- 13) 浦 啓修, 森 一将, 小林真彦, 田村暢章, 田草川徹, 龍田恒康, 竹島 浩, 嶋田 淳, 当科における外科矯正手術の臨床的検討, 第 60 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (名古屋国際会議場), 2015, 10
- 14) 岩橋由佳子, 田村暢章, 竹島 浩, 龍田恒康, 嶋田 淳, 当科における入院管理下でのインプラント及びインプラント関連手術症例の臨床的検討, 第 35 回日本口腔インプラント学会関東・甲信越支部学術大会, 東京, 2016, 2
- 15) 藤田耕太郎, 竹島 浩, 田村暢章, 小林真彦, 田草川徹, 森 一将, 龍田恒康, 嶋田 淳, 当科における粘液貯留嚢胞に対する臨床統計的検討, 第 60 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (名古屋国際会議場), 2015, 10
- 16) 藤原 敬子, 森 一将, 嶋田 淳, 抜歯後疼痛を機に判明した SAPHO 症候群の 1 例, 第 69 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 2015, 5
- 17) 森 一将, 藤原 敬子, 下山 彬, 菊池 建太郎, 草間 薫, 嶋田 淳, 頬部皮下に発生した Pleomorphic lipoma の 1 例, 第 69 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 2015, 5

E. その他の研究会、講演など

- 1) 龍田恒康, インプラント治療時における全身管理 1 (術前・術中・術後の患者管理), 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修プログラム, CE インプラントベーシック 2015, 千葉県浦安市, 2015, 10
- 2) 龍田恒康, インプラント治療時における全身管理 2 (術前・術中・術後の患者管理), 明海大学・朝日大学歯学部生涯研修プログラム, CE インプラントベーシック 2015, 千葉県浦安市, 2015, 12
- 3) 龍田恒康, 歯科治療と全身管理, 平成 27 年度 PDI 埼玉歯科診療所研修会, 埼玉県入間市, 2015, 6
- 4) 龍田恒康, 訪問歯科診療における全身管理, 平成 27 年度本庄児玉郡歯科医師会学術講演, 埼玉県本庄市, 2016, 1

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 小林真彦, 研究活動スタート支援, 酸化チタンナノ粒子の炎症増悪作用の検証, 科学研究費補助金, 2016, 3

## 口腔顎顔面外科学(Ⅱ)

### A. 著書・訳本

#### 1. 著書

- 1) 坂下英明, 抜歯器具-その奇妙なものたちの物語-, "口腔保健協会, 東京", 2015, 8

#### 2. 訳本

- 1) "Miyako Hoshiono, Harumi Inoue, Kentaro Kikuchi, Yuji Miyazaki, Atsuo Yoshino, Hiroyuki Hara Tadashi Terui, Kaoru Kusama, and Hideaki Sakashita", Comparative Study of cytokeratin and langerin expression in keratinized cystic lesions of the oral and maxillofacial regions, "J of Oral Science, 57, No.4 287-294", 2015, 7
- 2) "Kentaro Kikuchi, Yoshihiro Noguchi, Michelle Wendoline Garcia-Nino de Rivera, Miyako Hoshino, Hideaki Sakashita, Tsutomu Yamada, eta", "Detection of Epstein-Barr virus genome and latent infection gene expression in normal epithelia, epithelial dysplasia, and squamous cell carcinoma of the oral cavity", "Tumor Biol, DOI 10.1007/s13277-015-4167-7", 2015, 8

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Masakatsu FUKUDA・Syota TAKIZAWA・Yuka OKU・Yoshito OHYAMA・Yukihiro KAWAMOTO・Hide SAKASHITA・Fuyoko TAIRA・Miyako HOSHINO・Katsuyuki INOUE・Hisao SHIGEMATSU・Seiji SUZUKI・Hideaki SAKASHITA, Expression of mucin1 (MUC1) in squamous cell carcinoma of the oral cavity, Japanese Society of Pediatric Oral and Maxillofacial Surgery, 2015, 4
- 2) "Kentaro Kikuchi, Yuka Oku, Midori Eguchi, Seiji Suzuki, Fumio Ide, Hideaki Sakashita, Kaoru Kusama", Mantle cell lymphoma presenting as a symmetrically hard palatal swelling: A case report and review of the literature, "J Oral Maxillofac Surg Med Pathol, 27, 746-751", 2015, 9
- 3) "横塚裕二, 重松久夫, 坂東安彦, 崎山浩司, 天野 修, 坂下英明", マウス咽頭・喉頭筋における心筋型脂肪酸結合タンパクの局在, "Ped Oral Maxillo Surg 25, 126-139", 2015, 12
- 4) "坂下英明, 井上勝元, 重松久夫, 福田正勝, 奥 結香, 瀧澤将太, 川本幸寛, 鈴木正二", 顎骨骨折における歯牙結紮法と線副子の基礎と応用の文献的考察-歴史的背景を加えて-その(1) 歯牙結紮法について, "Ped Oral Maxillo Surg 25, 126-140", 2016, 3
- 5) "坂下英明, 井上勝元, 重松久夫, 福田正勝, 奥 結香, 瀧澤将太, 川本幸寛, 鈴木正二", 顎骨骨折における歯牙結紮法と線副子の基礎と応用の文献的考察-歴史的背景を加えて-その(2) 線副子の基礎と応用について, "Ped Oral Maxillo Surg 25, 141-148", 2016, 3

木正二”,顎骨骨折における歯牙結紮法と線副子の基礎と応用の文献的考察-歴史的背景を加えて-その(2)線副子法の基礎と応用について,”Ped Oral Maxillo Surg 25, 126-141”,2016,3

- 6) ”重松久夫, 奥 結香, 坂下 英, 勅使河原睦, 小峰雄介, 三宅言輝, 鈴木正二, 菊池建太郎, 草間薫, 坂下英明”,男子乳がんを併発した口腔癌の1例,”第60回日本口腔外科学会総会・学術大会, 愛知”,2015,10

### 3. 症例報告

- 1) ”田中恵理, 真野樹子, 松本美樹, 長谷川紘也, 瀬川千花子, 品川 令, 富田至保, 箕田 碧, 奥 結香, 重松久夫, 坂下英明”,Palatet-rich plasma (PRP)を用いた片側性唇顎口蓋裂児における顎裂部二次骨移植の術後評価,”Orthodontic Waves-Japanese Edition 74, 111-120”,2015,9
- 2) ”須賀則幸, 馬越誠之, 大山嘉人, 奥結香, 福田正勝, 重松久夫, 鈴木正二, 坂下英明”,両側性唇顎口蓋裂児の口唇形成術を Mulliken 変法にて施行した1例,”Pediatric Oral and Maxillofacial Surgery 25, 156-160”,2015,12

## D. 学会発表

### 1. 国際学会

#### (3) 一般演題

- 1) ”Masakatsu Fukuda, Hide Sakashita, Fuyoko Taira, Seiji Suzuki and Hideaki Sakashita”,Anti-cancer effects of  $\alpha$ -mangostin against oral cancer,4th Asia Pacific Congress & Expo on Dental and Oral Health,2015,7

### 2. 全国学会

#### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 坂下英明,下顎智歯抜去の完全ガイド The Complete Guide to Extra Mandibular Wisdom Teeth,”第60回日本口腔外科学会総会・学術大会, 愛知”,2015,10
- 2) 坂下英明,抜歯器具-その奇妙なものたちの物語-,”第43回日本歯科医史学総会・学術大会, 東京”,2015,10

#### (3) 一般演題

- 1) Masakatsu FUKUDA and Hideaki SAKASHITA, Resveratrol Induces Autophagic Cell Death In Oral Squamous Cell Carcinoma,”第74回日本癌学会総会・学術大会, 愛知”,2015,10
- 2) ”高木純一郎, 宮田 勝, 名倉 功, 坂下英明”,観血的整復固定術を行った小児下顎骨骨折の2例,”第27回日本小児口腔外科学会 総会・学術大会, 宮崎”,2015,11
- 3) ”馬越誠之, 須賀則幸, 大山嘉人, 坂下 英, 坂下英明”,公立福生病院歯科口腔外科における開設6年間の新患患者の臨床統計的検討,”第60回日本口腔外科学会総会・学術大会, 愛知”,2015,10

- 4) “坂下 英, 井上勝元, 瀧澤将太, 菊池健太郎, 鈴木正二, 草間 薫, 坂下英明”, 口腔内転移性癌の3例,”第200回日本口腔外科学会関東支部学術集会, 東京”, 2015, 12
- 5) “宮田 勝, 高木純一郎, 名倉 功, 坂下英明”, 周術期口腔機能管理を契機に口腔への転移を発見した2症例,”第25回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 東京”, 2016, 3
- 6) “瀧澤将太, 鈴木 茂, 鈴木正二, 加藤里英, 川本幸寛, 井上勝元, 菊池健太郎, 草間 薫, 坂下英明”, 上顎臼歯部に発生したエナメル上皮線維歯牙腫の1例,”第27回日本小児口腔外科学会 総会・学術大会, 宮崎”, 2015, 11
- 7) “宮田 勝, 高木純一郎, 名倉功, 宇佐美雄司, 坂下英明”, 石川県におけるHIV感染症歯科診療ネットワーク構築について,”第61回日本口腔外科学会総会・学術大会, 愛知”, 2015, 10
- 8) “宮田勝, 高木純一郎, 名倉 功, 坂下英明”, 石川県立中央病院歯科口腔外科の患者動向と今後の課題,”第60回日本口腔外科学会総会・学術大会, 愛知”, 2015, 10
- 9) “川本幸寛, 菊池建太郎, 大山嘉人, 重松久夫, 井上勝元, 草間薫, 坂下英明”, 頬粘膜多形腺腫由来癌を契機として発見された乳がんとの同時性重複癌の1例,”第60回日本口腔外科学会総会・学術大会, 愛知”, 2015, 10
- 10) “井上勝元, 崎山浩司, 坂下 英, 瀧澤将太, 坂東康彦, 坂下英明, 天野 修”, マウス甲状舌管の移動経路と消失機構,”第121回日本解剖学会総会・学術大会, 福島”, 2016, 3
- 11) “井上勝元, 塩野隼也, 重松久夫, 鈴木正二, 坂下英明”, 下顎埋伏智歯抜歯に対する顕微鏡の有用性,”第13回日本顕微鏡歯科医療学会学術大会, 北海道”, 2016, 4

#### E. その他の研究会、講演など

- 1) 坂下英明, 市民公開講座 「口の中にもガンがある」, 第22回 我孫子聖仁会病院市民公開講座のお知らせ 「口の中にもガンがある」, 2015, 10
- 2) 坂下英明, 周術期（がん患者等）の口腔ケア, 平成27年度県民フォーラム講話, 2015, 10

# 高齢者歯科学

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) Mineko Tomomura, Ryuichiro Suzuki, Yoshiaki Shirataki, Hiroshi Sakagami, Nobuaki Tamura, Akito Tomomura, "Rinacanthin C inhibits osteoclast differentiation and bone resorption: roles of TRAF6/TAK1/MAPKs/NF- $\kappa$ B/NFATc1 signaling", PLOS ONE 2015 Jun 17;10(6):e0130174. doi: 10.1371/journal.pone.0130174., 2015, 6

## D. 学会発表

### 2. 全国学会

#### (3) 一般演題

- 1) 森下未奈子, 小貫裕之, 新井友理, 増子諭志, 間崎 誠, 田草川 徹, 田村暢章, 龍田恒康, 竹島 浩, 嶋田 淳, "過去5年間の全身麻酔下障害者歯科治療症例の臨床的検討", 第69回NP0法人日本口腔科学会学術集会 (大阪) 2015, 5
- 2) 川口祥子, 田草川 徹, 吉川秀明, 龍田恒康, 竹島 浩, 川尻朱美, 真野樹子, 須田直人, 嶋田 淳, 田村暢章, "術前 CT 画像により中頭蓋窩くも膜嚢胞が確認された 1 例", 第 25 回日本顎変形症学会総会・学術大会 (東京) 2015, 6
- 3) 田村暢章, 友村美根子, 川口祥子, 嶋田 淳, 友村明人, "細菌内毒素による破骨細胞分化誘導に対するカルデクリンの抑制効果", 第 33 回日本骨代謝学会学術集会 (京王プラザホテル), 2015, 7
- 4) 田村暢章, 竹島 浩, 川口祥子, 嶋田 淳, "Caldecrin の細菌感染に伴う骨破壊への抑制効果", 第 45 回 (公社) 日本口腔インプラント学会学術大会, 第 35 回 (公社) 日本口腔インプラント学会中国・四国支部学術大会併催 (岡山), 2015, 9
- 5) 藤原敬子, 田村暢章, 田草川 徹, 森 一将, 嶋田 淳, "インプラント機能後にビスフォスフォネート製剤投与の開始された患者に生じたインプラント周囲炎の 1 例", 第 45 回 (公社) 日本口腔インプラント学会学術大会, 第 35 回 (公社) 日本口腔インプラント学会中国・四国支部学術大会併催 (岡山), 2015, 9
- 6) 浦 啓修, 森 一将, 小林真彦, 田村暢章, 田草川 徹, 龍田恒康, 竹島 浩, 嶋田 淳, "当科における外科矯正手術の臨床的検討", 第 60 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (名古屋国際会議場), 2015, 10
- 7) 田村暢章, 竹島 浩, 川口祥子, 嶋田 淳, "細菌感染による破骨細胞分化に対する Caldecrin の抑制効果", 第 60 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (名古屋国際会議場), 2015, 10
- 8) 藤田耕太郎, 竹島 浩, 田村暢章, 小林真彦, 田草川 徹, 森 一将, 龍田恒康,

- 嶋田 淳, ” 当科における粘液貯留嚢胞に対する臨床統計的検討”, 第 60 回(公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (名古屋国際会議場), 2015, 10
- 9) 田草川 徹, 松山博康, 小林真彦, 田村暢章, 森 一将, 龍田恒康, 菊池建太郎, 草間 薫, 竹島 浩, 嶋田 淳, ”BRONJ 発症部に生じた転移性偶発癌の 2 例”, 第 60 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会 (名古屋国際会議場), 2015, 10
- 10) 三條恵介, 松本美樹, 櫻井洋介, 松井成幸, 田村暢章, 嶋田 淳, 須田直人, ”角化嚢胞性歯原性腫瘍摘出後に外科的矯正治療を行った骨格性下顎前突の 1 例”, 第 74 回日本矯正歯科学会大会 (福岡), 2015, 11
- 11) 坂東健二郎, 田村暢章, 川口祥子, 友村美根子, 友村 明人, ”LPS により誘導される破骨細胞分化に対する Caldecrin の影響”, 第 38 回日本分子生物学会年会, 第 88 回日本生化学会大会合同大会(BMB2015) (神戸ポートアイランド), 2015, 12
- 12) 岩橋由佳子, 田村暢章, 龍田恒康, 竹島 浩, 嶋田 淳, ” 当科における入院管理下でのインプラント及びインプラント関連手術症例の臨床的検討”, 第 35 回 日本口腔インプラント学会関東・甲信越支部学術大会 (東京) 2016, 2
- 13) 田草川徹, 田村暢章, 龍田恒康, 竹島 浩, 嶋田 淳, ” インプラント埋入が原因と考えられた上顎洞アスペルギルス症の 1 例”, 第 35 回 日本口腔インプラント学会関東・甲信越支部学術大会 (東京) 2016, 2

### 3. 地方会

#### (2) シンポジウム

- 1) 田村暢章, ” 安心で安全なインプラント治療のための高齢者のメディカルリスクにおいて考慮すべきポイントについて考える”, 公益社団法人日本口腔インプラント学会関東・甲信越支部 第 6 回学術シンポジウム「超高齢社会とインプラント」(東京) 2015, 8

#### E. その他の研究会、講演など

- 1) 竹島 浩, ”口腔外科診療とはと口腔インプラントについて”, 川越ロータリークラブ (川越) 2015,10
- 2) 竹島 浩, ” 歯科治療時における全身管理”, 明海大学歯学部同窓会中国ブロック大会 (岡山) 2015,10
- 3) 竹島 浩, ” 感染症と歯科治療時の感染対策・高齢者 (有病者を含む) の全身状態とその注意点” (新宿) 2016.3
- 4) 竹島 浩, ”食べて笑って健康長寿 ～口の中にできるがん～”, 埼玉県草加市・草加市歯科医師会合同市民公開講座 (草加) 2016,3

## 歯科麻酔学

### A. 著書・訳本

#### 1. 著書

- 1) 大上沙央理, 山田守正, 「まれな疾患の麻酔 AtoZ」 13 感染症・アレルギー疾患 壊死性筋膜炎, 文光堂, 東京, p495 - 496, 2015, 5
- 2) Arendt-Nielsen L and Oono Y, 9th Congress of the EFIC REFRESHER course book Endogenous Pain Modulation: Test methodology, 9th Congress of the EFIC REFRESHER course book p20-24, 2015, 9
- 3) 吉田和市, 飯島毅彦, 今村佳樹, 大井良之, 大野由夏, 岡俊一, 岡田明子, 河原博, 小長谷光, 谷口省吾, 森本佳成, 大上沙央理, 牧野兼三, 2 歯科治療時の患者管理 B 歯科治療時に注意を要する全身疾患と歯科治療時の対応 (呼吸器疾患, 消化器疾患, 泌尿器・生殖器疾患, 神経・運動器疾患). In : 「歯科麻酔・生体管理学第2版」, 吉田和市, 学建書院, 東京, p17 - 46, 69-94, 2016, 3

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) 大野 由夏, 黒佐 通代, 小長谷 光, 医薬品医療機器総合機構(PMDA)における医薬品審査の実態報告 歯科麻酔領域に関連した新医薬品について, 日本歯科麻酔学会雑誌 43(5)653-658, 2015, 10
- 2) Mizuta K, Yi Zhang, Mizuta F, Hoshijima H, Shiga T, Masaki M, Charles W. Emala Sr, Novel identification of the free fatty acid receptor FFAR1 that promotes contraction in airway smooth muscle, American Journal of Physiology - Lung Cellular and Molecular Physiology 309(9): 970-982, 2015, 11
- 3) Akihisa Y, Hoshijima H, Maruyama K, Koyama K, Andoh T, Effects of sniffing position for tracheal intubation: a meta-analysis of randomized controlled trials, The American Journal of Emergency Medicine 33(11): 1606-1611, 2015, 11
- 4) Kothari SF, Baad-Hansen L, Oono Y and Svensson P, Somatosensory assessment and conditioned pain modulation in temporomandibular disorders pain patients, Pain 156(12): 2545-55, 2015, 12

#### 2. 総説

- 1) 志賀 俊哉, 輪嶋 善一郎, 星島 宏, 丹後 俊郎, ネットワーク・メタアナリシスを用いた術後シバリング予防に対する戦略, 国際医療福祉大学学会誌 20 巻, 63, 2015, 08



### 3. 症例報告

- 1) 中島 丘, 岩崎 妙子, 長坂 浩, 歯科診療中に意識を消失し AED を装着したが除細動不要と解析された高齢者の 1 例, 老年歯科医学 30 巻 2 号, 91-96, 2015, 09

### C. その他の刊行物など

- 1) 中島 丘, 岩崎 妙子, 医療安全対策はじめてガイド なぜ医療安全管理が求められるのか? いまそこにある危機! 歯科医師が知っておくべきこと, DENTAL DIAMOND, 40 巻 9 号 Page102-104, 2015, 07
- 2) 岩崎 妙子, 中島 丘, Safety First!! 医療安全を学ぼう なぜ医療安全管理が求められるのか? いまそこにある危機! 歯科衛生士が知っておくべきこと, DHstyle, 9 巻 7 号 Page62-63, 2015, 07
- 3) 中島 丘, 岩崎 妙子, 医療安全対策はじめてガイド 医療事故事例の収集方法事例から学ぶ、転ばぬ先の杖, DENTAL DIAMOND, 40 巻 11 号 Page92-93, 2015, 08
- 4) 岩崎 妙子, 中島 丘, Safety First!! 医療安全を学ぼう 医療事故事例を収集しよう! 備えあれば憂いなし、事例を知ろう, DHstyle, 9 巻 8 号 Page60-61, 2015, 08
- 5) 中島 丘, 岩崎 妙子, 医療安全対策はじめてガイド 医療事故・医事紛争防止のポイント 増加する訴訟へのマネジメント, DENTAL DIAMOND, 40 巻 12 号 Page 90-92, 2015, 09
- 6) 岩崎 妙子, 中島 丘, Safety First!! 医療安全を学ぼう 医療訴訟、医事紛争の現状を知ろう! 歯科衛生士の法的責任, DHstyle, 9 巻 9 号 Page54-55, 2015, 09
- 7) 中島 丘, 岩崎 妙子, 医療安全対策はじめてガイド 医療安全指針を整備する!問われる院長のリーダーシップ, DENTAL DIAMOND, 40 巻 13 号 Page90-93, 2015, 10
- 8) 岩崎 妙子, 中島 丘, Safety First!! 医療安全を学ぼう 医療安全指針の整備とは? 歯科衛生士がサポートできること, DHstyle, 9 巻 11 号, Page58-59, 2015, 10
- 9) 中島 丘, 岩崎 妙子, 医療安全対策はじめてガイド 医療安全のために必要な器具・機材 これだけは整備しておこう, DENTAL DIAMOND, 40 巻 15 号 Page96-99, 2015, 11
- 10) 岩崎 妙子, 中島 丘, Safety First!! 医療安全を学ぼう 医療安全に欠かせない器具・機材 使い方をマスターしよう, DHstyle, 9 巻 12 号 Page58-59, 2015, 11
- 11) 中島 丘, 岩崎 妙子, 医療安全対策はじめてガイド 偶発症への緊急時対応 チーム力が試される! DENTAL DIAMOND, 40 巻 16 号 Page90-93, 2015, 12
- 12) 岩崎 妙子, 中島 丘, Safety First!! 医療安全を学ぼう 緊急時に対応できますか? 歯科衛生士に必要なスキルとは, DHstyle, 9 巻 13 号 Page58-59, 2015, 12

## D. 学会発表

### 1. 国際学会

#### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) Arendt-Nielsen L and Oono Y, 9th Congress of the EFIC REFRESHER course Endogenous Pain Modulation: Test methodology, 9th Congress of the European Federation of IASP Chapters (EFIC). Vienna, Austria, 2015, 9

#### (3) 一般演題

- 1) Oono Y, Imamura T, Ogami S, Hasegawa A, Nagasaka H, Wang K, Arendt-Nielsen L and Kohase H, Conditioned pain modulation in healthy volunteers evaluated with a new custom-made quantitative cold pain stimulator, 9th Congress of the European Federation of IASP Chapters (EFIC). Vienna, Austria, 2015, 9

### 2. 全国学会

#### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 今村敏克, 大上沙央理, 大野由夏, 内田茂則, 小長谷 光, 牧野兼三, 小林克江, 岸田全人, 長坂浩, こども大学西入間 チャレンジこども麻酔医, 明海大学附属明海大学病院, 2015, 9

#### (2) シンポジウム

- 1) 斎藤智彦, 岩瀬良範, 今村敏克, 大上沙央理, 大野由夏, 小長谷光, 牧野兼三, 内田茂則, paperChart ワークショップ・ハンズオンセミナー, 第43回日本歯科麻酔学会, 東京, 2015, 10

#### (3) 一般演題

- 1) 今村 敏克, 大野 由夏, 大上 沙央理, 長坂 浩, 小長谷 光, あらたに開発した定量的熱刺激装置を用いたCPM評価, 日本麻酔科学会 第62回学術集会, 神戸, 2015, 5
- 2) 内田 茂則, 鈴木 佐知子, 大野 由夏, 大上 沙央理, 小長谷 光, 新しく開発した圧痛覚閾値測定用アルゴメーターの信頼性, 日本麻酔科学会 第62回学術集会, 神戸, 2015, 5
- 3) 内藤 茜, 高平 修二, 岸田 全人, 大谷 義孝, 長坂 浩, 園田 健一郎, 野村 侑史, 根本 学, 埼玉医科大学関連施設における一次救命講習会(BLS)の取り組みと今後の課題, 日本臨床救急医学会総会・学術集会, 富山, 2015, 6
- 4) 盛島 美智子, 浅野 聖子, 小宅 宏史, 加藤 義浩, 安田 治男, 上下無歯顎欠損に対してインプラント治療を行った1症例, 第45回日本口腔インプラント学会学術大会, 岡山, 2015, 9
- 5) 加藤 義浩, 北爪 昭彦, 盛島 美智子, 小宅 宏史, 安田 治男, 濃厚血小板フィブリンジェルと骨補填材によって上顎前歯部にインプラント治療を行った1症例,

- 第 45 回日本口腔インプラント学会学術大会, 岡山, 2015, 9
- 6) 中島 丘, 岩崎 妙子, 長坂 浩, 歯科診療中に意識を喪失し AED を装着した高齢者の 1 例, 日本老年歯科医学会・学術大会, 横浜, 2015, 9
  - 7) 岩崎 妙子, 中島 丘, 渡辺 真人, 長坂 浩, 失敗モード影響分析法による高齢者歯科医療事故の防止システム 認知高齢者への服薬事故未然防止策, 日本老年歯科医学会総会・学術大会, 横浜, 2015, 9
  - 8) 渡辺 真人, 中島 丘, 岩崎 妙子, 長坂 浩, 失敗モード影響分析法による高齢者歯科医療事故の防止システム 治療椅子への移乗事故未然防止策, 日本老年歯科医学会総会・学術大会, 横浜, 2015, 9
  - 9) 東 俊晴, 小川 さおり, 西岡 慧, 長坂 浩, 松本 延幸, LPS によるヒト血管内皮細胞の凝固活性マイクロパーティクル放出に対するニューロキニン 1 受容体阻害薬の影響, 日本心臓血管麻酔学会第 20 回学術大会, 福岡, 2015, 10
  - 1 0) 高橋 正人, 大上 沙央理, 大野 由夏, 今村 敏克, 小長谷 光, 終末呼気二酸化炭素濃度および IPI (Integrated Pulmonary Index) は鎮静中の低呼吸を迅速に検出する Capnostream 20P を使用した評価, 第 43 回日本歯科麻酔学会, 東京, 2015, 10
  - 1 1) 大野 由夏, 黒佐 通代, 小長谷 光, 医薬品医療機器総合機構 (PMDA) における医薬品審査の実態報告 歯科麻酔学領域に関連した新医薬品について, 第 43 回日本歯科麻酔学会, 東京, 2015, 10
  - 1 2) 神谷 清, 外園 智唯, 神野 成治, 深山 治久, フルマゼニルの投与により興奮状態を呈した自閉症患者の一症例, 第 43 回日本歯科麻酔学会, 東京, 2015, 10
  - 1 3) 今村 敏克, 上杉典子, 竹内菊子, 星島宏, 西澤秀哉, 内田茂則, 山西雄一郎, 小林克江, 鈴木佐知子, 黒田翔太, 大野 由夏, 大上 沙央理, 長坂 浩, 長谷川彰彦, 小長谷 光, 新たに開発した定量的熱刺激装置を用いた CPM 評価, 第 43 回日本歯科麻酔学会総会および学術集会, 東京, 2015, 10
  - 1 4) 原田 達也, 阪柳 敏春, 菊田 高行, 戸坂 清二, 丸山 清孝, 藤本 晋一, 白井 弘三, 稲田 穰, 新井 曄子, 桜井 真理, 峯岸 忠, 内田 博之, 鈴木 朋, 神野 成治, 脇田 亮, 篠塚 修, 深山 治久, 大上 沙央理, 小長谷 光, 深鎮静を必要としたためラリンジアルマスクを使用した静脈内鎮静法の 1 症例, 第 32 回日本障害者歯科学会および学術集会, 名古屋, 2015, 11
  - 1 5) 外園 智唯, 神谷 清, 今井 昭彦, 田村 朗, 金栗 勝仁, 清水畑 倫子, 子安 裕之, 古川 隆彦, 石川 祥一, 大上 沙央理, 小長谷 光, 神野 成治, 深山 治久, 当口腔保健センターの高齢者歯科診療の実態, 第 32 回日本障害者歯科学会および学術集会, 名古屋, 2015, 11
  - 1 6) 大上沙央理, 今村敏克, 原田達也, 大野由夏, 牧野兼三, 宮澤有美子, 長坂浩, 小長谷光, 歯科治療時の鎮静法におけるカプノメーターによる呼吸モニタリングの有用性, 日本臨床麻酔学会第 35 回大会, 横浜, 2015, 11

- 17) 上杉 典子, 鈴木 佐知子, 大上 沙央理, 今村 敏克, 牧野 兼三, 大野 由夏, 新井 友理, 龍田 恒康, 嶋田 淳, 長坂 浩, 清水 良昭, 野露 紘子, 小長谷 光, Williams 症候群の全身麻酔下歯科治療の周術期管理の1症例, 第32回日本障害者歯科学会総会および学術集会, 名古屋, 2015, 11
- 18) 中島 丘, 医療安全教育をどのように体系化するか 医療安全を獲得するための教育項目の提言 歯科衛生士教育により, どのようなことを身につけてもらいたいのか, 第6回日本歯科衛生教育学会総会・学術大会, 神奈川, 2015, 11
- 19) 田村 朗, 金栗 勝仁, 滝田 和弘, 外園 智唯, 広瀬 芳之, 市川 裕文, 鹿野 敏和, 長嶋 和浩, 落合 俊輔, 加藤 大樹, 末吉 正幸, 柵山 泰昭, 清水畑 倫子, 田村 純治, 今井 昭彦, 児玉 健, 子安 裕之, 古川 隆彦, 石川 祥一, 当口腔保健センター開設10年の歩みと課題, 第32回日本障害者歯科学会総会および学術集会, 名古屋, 2015, 11
- 20) 宮迫 志織, 高鍋 雄亮, 田山 道太, 千葉 隼人, 竹内 菊子, 丸岡 豊, 口腔内に広範な壊死組織を認めたHIV感染者の2例, 第25回日本有病者歯科医療学会総会・学術大会, 東京, 2016, 3

### 3. 地方会

#### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 瀬尾憲司, 馬場有希子, 今村敏克, 内田茂則, 大上沙央理, 大野由夏, 小林克江, 牧野兼三, 小長谷光, PBLDセッション「気道管理」～JSA-AMAは歯科麻酔の領域で有効か～, 第32回関東臨床歯科麻酔懇話会, 浦安, 2015, 6

#### (3) 一般演題

- 1) 大上沙央理, 原田達也, 今村敏克, 内田茂則, 鈴木佐知子, 大野由夏, 上杉典子, 小長谷光, 歯科医院で使える自動麻酔記録装置paperChart, 第32回関東臨床歯科麻酔懇話会, 浦安, 2015, 6

### E. その他の研究会、講演など

- 1) 今村敏克, 大上沙央理, 大野由夏, 内田茂則, 小長谷 光, 牧野兼三, 小林克江, 岸田全人, 長坂浩, 明海大学歯学部B L S講習会救急医学会認定コース, 明海大学附属明海大学病院, 2015, 6
- 2) 今村敏克, 大上沙央理, 大野由夏, 内田茂則, 小長谷 光, 牧野兼三, 小林克江, 岸田全人, 長坂浩, 明海大学歯学部輪状甲状間膜穿刺ワークショップ, 明海大学附属明海大学病院, 2015, 6
- 3) 今村敏克, 大上沙央理, 大野由夏, 内田茂則, 小長谷 光, 牧野兼三, 小林克江, 岸田全人, 長坂浩, 明海大学歯学部B L S講習会救急医学会認定コース, 明海大学附属明海大学病院, 2015, 10

- 4) 今村敏克, 大上沙央理, 大野由夏, 内田茂則, 小長谷 光, 牧野兼三, 小林克江, 岸田全人, 長坂浩, 明海大学歯学部B L S 講習会救急医学会認定コース, 明海大学附属明海大学病院, 2015, 12
- 5) 今村敏克, 大上沙央理, 大野由夏, 内田茂則, 小長谷 光, 牧野兼三, 小林克江, 岸田全人, 長坂浩, 明海大学歯学部B L S 講習会, 明海大学附属明海大学病院, 2016, 2

#### F. 研究助成金等の受入れ

##### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 小長谷光, 基盤研究(B), 2015, 5
- 2) 小長谷光, 基盤研究(C), 2015, 5
- 3) 大上沙央理, 若手研究(B), 科学研究費補助金, 2015, 7
- 4) 大野由夏, 若手研究(B), 科学研究費補助金, (B), 2015, 7
- 5) 大野由夏, 若手研究(B), 科学研究費補助金, (B), 2015, 5

## 歯科法医学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) 流石 麻由, 小泉 伸秀, 鈴木 達也, 齊藤 嘉大, 岸田 尚樹, 齋藤 圭輔, 池 真樹子, 坂 英樹, 奥村 泰彦, 下顎骨の成長発育にともなう下顎管走行の変化, "明海歯学誌 44 (2) , 129-144", 2015, 9

#### 2. 総説

- 1) 坂 英樹, 歯科大学基礎分野における労働衛生, 日本労働衛生研究協議会雑誌, 22(2), 96-99, 2016, 2

#### 3. 症例報告

- 1) Hideki Saka, "Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains at Peleliu Island, Republic of Palau in June 2015", "Historic Preservation Office, Republic of Palau", 2015, 6
- 2) 坂 英樹, 2015 年度第 1 回パラオ共和国・ペリリュー島遺骨帰還応急派遣報告書, 厚生労働省社会・援護局援護企画課外事室, 2015, 6
- 3) Hideki Saka, Forensic anthropological report of the collection of human skeletal remains in Republic of Palau on December 2015 , "Historic Preservation Office, Republic of Palau", 2015, 12
- 4) 坂 英樹, 2015 年度パラオ諸島戦没者遺骨収集帰還派遣報告書, 厚生労働省社会・援護局援護企画課外事室, 2015, 12

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

##### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 坂 英樹, 歯の萌出に伴う小児顎骨内部の変化, 顎咬合学会第 33 回学術集会, 東京, 2015, 6

##### (3) 一般演題

- 1) 大高祐聖, 坂 英樹, 原田康雄, 井澤真希, 芝 規良, 岸田尚樹, 齋藤圭輔, 奥村泰彦, 携帯型歯科用エックス線発生装置における後方散乱シールドの効果について, 日本歯科放射線学会第 56 回学術大会, 仙台, 2015, 6
- 2) 大高祐聖, 岩脇淳志, 浅見瑠璃, 井澤真希, 奥村泰彦, 坂 英樹, 個人識別作業における携帯型エックス線撮影による手指被曝, 日本法歯科医学会第 9 回学術大会, 東京, 2015, 6
- 3) 大高祐聖, 坂 英樹, 北村 晃, 奥村泰彦, 歯科的個人識別業務における携帯型エックス線装置使用時の防護, 第 99 次日本法医学会学術全国集会, 高知, 2015, 6

- 4) 岩脇淳志, 大高祐聖, 浅見瑠璃, 奥村泰彦, 坂 英樹, 携帯型歯科用 X 線発生装置の後方被曝線量について, 第 14 回警察歯科医会全国大会, 仙台, 2015, 8

### 3. 地方会

#### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 坂 英樹, 児童虐待について 歯科医師の立場から, 平成 27 年度青森県学校歯科保健研究大会, 青森, 2015, 7
- 2) 坂 英樹, 災害時における歯科的個人識別, 口腔衛生関東地方研究会, 浦安, 2016, 2

#### (3) 一般演題

- 1) 大高祐聖, 岩脇淳志, 浅見瑠璃, 奥村泰彦, 坂 英樹, 携帯型エックス線発生装置の付属品使用時における手指被曝線量, 第 84 回日本法医学会学術関東地方集会, 東京, 2015, 10

### E. その他の研究会、講演など

- 1) 坂 英樹, 歯が教えてくれる! ~「この人は誰?」~, 平成 27 年度こども大学にしているま【はてな学】, 2015, 7
- 2) 坂 英樹, 歯科保健, 東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科特別講義, 朝霞, 2015, 7
- 3) 坂 英樹, 大規模災害における歯科的個人識別の実際と今後の課題, 明海大学歯学部 同窓会 埼玉県支部, 川越, 2015, 7
- 4) 坂 英樹, 戦没者遺骨発掘作業における歯科法医学的見地からの人種鑑別, 川越市歯科医師会定例会学術委員会, 川越, 2015, 7
- 5) 坂 英樹, 身元確認につながる歯の役割, 彩の国大学コンソーシアム, 川越, 2015, 9
- 6) 坂 英樹, 法歯学, 朝日大学第 5 学年特別講義, 瑞穂, 2015, 10
- 7) 坂 英樹, インプラント治療に必要な解剖学, “口腔インプラント生涯研修センター 第 30 回口腔インプラントセミナー, 名古屋”, 2016, 1

# 社会健康科学講座

口腔衛生学分野

スポーツ歯学分野

医療情報科学分野

障がい者歯学分野

基礎数学・統計学分野



## 口腔衛生学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) 篠田宏幸, 竹下 玲, 中林靖雄, 末續真弓, 高野安紀子, 宮澤 慶, 北 邦宏, 西條光雅, 高野梨沙, 中川和弘, 小山主之, 田中園治, 熊倉 学, 遠藤浩正, 柏崎秀一, 田中 入, 元地茂樹, 大高義文, 杉山卓司, 河野 哲, 川俣富貴子, 小野大地, 滝田裕美, 鈴木玲爾, 下島孝裕, 安井利一, マウスマクロファージ様細胞 RAW264.7 細胞の一酸化窒素誘導性アポトーシスに対する *porphyromonas gingivalis* 由来 CpG DNA の抑性作用, 明海歯科医学誌 44 (2), 250-267, 2015年8月
- 2) 北 邦宏, 松本 勝, 竹下 玲, 深井智子, 宮澤 慶, 安井利一, 模型に対する基底面の角度がマウスガードの厚さに及ぼす影響について, スポーツ歯学雑誌, 19 (1), 23-27, 2015年8月

### C. その他の刊行物など

- 1) 末續真弓, ジョイント4シンポジウム Work Shop 2015 報告, 口腔衛生関東地方研究会ニュースレターNo.17, 2015年12月

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

##### (3) 一般演題

- 1) 竹下 玲, 広瀬公治, 岡本和彦, 高野安紀子, 末續真弓, 柴田えり子, 小野大地, 滝田裕美, 鈴木玲爾, 下島孝裕, 大川周治, 安井利一, 骨芽細胞MC3T3-E1細胞におけるTNF- $\alpha$  誘導性MCP-1の発現機構について, 第64回日本口腔衛生学会・総会, つくば市, 2015年5月
- 2) 深井智子, 仲筋宣子, 高橋明子, 清水良昭, 安井利一, 思春期の顎関節症状の自覚と「あごの健康診断チャート」を使用した要因推定, 第64回日本口腔衛生学会, つくば市, 2015年5月
- 3) 上野俊明, 添島沙夜香, 田中沙織, 豊島由佳子, 高橋敏幸, 山中拓人, 近藤尚知, 松本芳郎, 宇都宮幸正, 宮澤 慶, 松本 勝, シニアアスリートの歯科外傷経験とマウスガード使用に関する分析調査, 第26回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 新潟, 2015年6月

- 4) 上野俊明, 額賀康之, 片山幸太郎, 月村直樹, 田村康夫, 前田芳信, 松田成俊, 林 良宣, 根来武史, 武田友孝, 松本 勝, 飯沼光生, 大山喬史, 安井利一: 学会認定医等養成に関する調査報告ー養成開始から 10 年経過してー, 第 26 回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 新潟, 2015 年 6 月
- 5) 北 邦宏, 松本 勝, 竹下 玲, 深井智子, 宮澤 慶, 安井利一, 模型の前歯歯軸角度の違いがマウスガードの厚さに及ぼす影響, 第 26 回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 新潟, 2015 年 6 月
- 6) 宮澤 慶, 松本 勝, 竹下 玲, 深井智子, 高橋明子, 北 邦宏, 杉山義祥, 安井利一, 歯科衛生士学校の学生に対するスポーツ歯学の授業に関する調査, 第 26 回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 新潟, 2015 年 6 月
- 7) 宮澤 慶, 松本 勝, 竹下 玲, 深井智子, 高橋明子, 北 邦弘, 杉山義祥, 安井利一, 歯科衛生士学校学生のスポーツ歯学に関する興味・理解の変化, 第 26 回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 新潟, 2015 年 6 月
- 8) 北 邦宏, 松本 勝, 深井智子, 宮澤 慶, 安井利一, カスタムメイドマウスガードの咬合面の加熱が適合性に及ぼす影響について, 第26回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 神戸, 2015年11月
- 9) 松本 勝, 宮澤 慶, 深井智子, 北 邦宏, 安井利一, 家庭用真空包装機を利用した簡易型マウスガードの作製法, 第 26 回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 神戸, 2015 年 11 月

#### E. その他の研究会、講演など

- 1) 竹下 玲: 歯周病が全身の影響に及ぼす影響について, 坂戸市(坂戸保健所), 平成 27 年度保健所歯科口腔保健連携会議, 2015 年 10 月
- 2) 竹下 玲: 「ミールラウンドに呼ばれたらどうしますか?」, さいたま市, 埼玉歯科医師会学術部部会・在宅歯科医療推進体制整備事業, 2015 年 11 月
- 3) 末續真弓: 「2 歳児歯科健康診査の有効性について」, 東久留米市(わくわく健康プラザ), 2 歳児歯科健康診査勉強会, 2016 年 1 月
- 4) 竹下 玲: 高齢者のサルコペニアや誤嚥性肺炎の予防のために～元気なお口のお手入れ方法～, 富士見市(ウエルガーデンみずほ台デイサービス), ウエルシア介護サービス(株)主催「専門職セミナー」, 2016 年 2 月
- 5) 竹下 玲: 高齢者の誤嚥性肺炎とサルコペニアの予防のために～元気なお口のお手入れ方法～, 白岡市(ウエルガーデン白岡), ウエルシア介護サービス(株)主催「専門職セミナー」, 2016 年 2 月
- 6) 末續真弓: 「年齢ごとの口腔ケアについて」, 比企郡(ときがわ町保健センター), よい歯の教室-1, 2016 年 3 月

F. 研究助成金等の受入れ

1. 科学研究費助成事業

- 1) 安井利一(研究代表者), 竹下 玲(分担者), 岡本和彦(分担者), 高野安紀子(分担者): 細胞内に侵入した歯周病原性細菌の病態形成機構とその侵入細菌の除去薬剤の検索, 日本学術振興会(文部科学省) 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C), 2015年度

3. 宮田研究奨励金(A) および(E)

- 1) 深井智子: 宮田研究奨励金(A), 自尊感情を高めていく心の健康教育と歯・口の健康づくりの関連性について(第1報・自尊感情と口腔内の状態の関連性について), 2015年度

## スポーツ歯学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) 北 邦宏, 松本 勝, 竹下 玲, 深井智子, 宮澤 慶, 安井利一: 模型に対する基底面の角度がマウスガードの厚さに及ぼす影響について, スポーツ歯学 19 (1), 23-27, 2015 年 8 月

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

##### (3) 一般演題

- 1) 宮澤 慶, 松本 勝, 竹下 玲, 深井智子, 高橋明子, 北 邦宏, 杉山義祥, 安井利一: 歯科衛生士学校の学生に対するスポーツ歯学の授業に関する調査, 第 26 回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 新潟, 2015 年 6 月
- 2) 上野俊明, 添島沙夜香, 田中沙織, 豊島由佳子, 高橋敏幸, 山中拓人, 近藤尚知, 松本芳郎, 宇都宮幸正, 宮澤 慶, 松本 勝: シニアアスリートの歯科外傷経験とマウスガード使用に関する分析調査, 第 26 回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 新潟, 2015 年 6 月
- 3) 北 邦宏, 松本 勝, 竹下 玲, 深井智子, 宮澤 慶, 安井 利一: 模型の前歯歯軸角度の違いがマウスガードの厚さに及ぼす影響, 第 26 回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 新潟, 2015 年 6 月
- 4) 上野俊明, 額賀康之, 片山幸太郎, 月村直樹, 田村康夫, 前田芳信, 松田成俊, 林良宣, 根来武史, 武田友孝, 松本勝, 飯沼光生, 大山喬史, 安井利一: 学会認定医等養成に関する調査報告ー養成開始から 10 年経過してー, 第 26 回日本スポーツ歯科医学会学術大会, 新潟, 2015 年 6 月
- 5) 松本 勝, 宮澤 慶, 深井智子, 北 邦宏, 安井利一: 家庭用真空包装機を利用した簡易型マウスガードの作製法, 第 26 回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 神戸, 2015 年 11 月
- 6) 北 邦宏, 松本 勝, 深井智子, 宮澤 慶, 安井利一: カスタムメイドマウスガードの咬合面の加熱が適合性に及ぼす影響について, 第 26 回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 神戸, 2015 年 11 月

## 医療情報科学

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

##### (3) 一般演題

- 1) 宮崎裕司, 菊池建太郎, 井上ハルミ, 山内雅司, 草間 薫, テロメラーゼ活性と口腔癌進展に関する研究, 第 104 回日本病理学会・総会 (名古屋), 2015, 5
- 2) 石原真理子, 山内雅司, 口腔扁平上皮癌細胞に傷害活性を有する新規クマリン誘導体類のデザイン(その 2), 第 57 回歯科基礎医学会学術大会・総会(新潟), 2015, 9

## 障がい者歯科学

### A. 著書・訳本

#### 1. 著書

- 1) “神部芳則, 井上千恵子, 秋元留美, 相澤健一, 阿見由起子, 伊藤弘人, 大橋望, 川島理恵, 北方恵美, 佐瀬美和子, 仙名あかね, 槻木恵一, 土屋欣之, 早坂純一, 藤村昭夫, 牧野兼三, 宮城徳人, 若林宣江”, “20 治療中, 患者さんの具合が悪くなったら, In: はじめましょう有病者の口腔ケア-歯科衛生士のためのチェックポイント-, 神部芳則, 井上千恵子, 秋元留美編”, “学建書院, 東京, pp138-145”, 2015, 4
- 2) “吉田和市, 飯島毅彦, 今村佳樹, 大井良之, 大野由夏, 岡俊一, 岡田明子, 河原博, 小長谷光, 谷口省吾, 森本佳成, 大上沙央理, 牧野兼三”, “3 局所麻酔法 D 血管収縮薬. In: 「歯科麻酔・生体管理学第2版」, 吉田和市編”, “学建書院, 東京, pp77-78”, 2016, 3

### D. 学会発表

#### 2. 全国学会

##### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) “瀬尾憲司, 馬場有希子, 今村敏克, 内田茂則, 大上沙央理, 大野由夏, 小林克江, 牧野兼三, 小長谷光”, PBLD セッション「気道管理」～JSA-AMA は歯科麻酔の領域で有効か～, 第32回関東臨床歯科麻酔懇話会, 浦安, 2015, 6
- 2) “今村敏克, 大上沙央理, 大野由夏, 内田茂則, 小長谷光, 牧野兼三, 小林克江, 岸田全人, 長坂浩”, こども大学西入間 チャレンジこども麻酔医, 明海大学附属明海大学病院, 2015, 9
- 3) “斎藤智彦, 岩瀬良範, 今村敏克, 大上沙央理, 大野由夏, 小長谷光, 牧野兼三”, paperChart ワークショップ・ハンズオンセミナー, 第43回日本歯科麻酔学会, 東京, 2015, 10

##### (3) 一般演題

- 1) “大上沙央理, 今村敏克, 原田達也, 大野由夏, 牧野兼三, 宮澤有美子, 長坂浩, 小長谷光”, 歯科治療時の鎮静法におけるカプノメーターによる呼吸モニタリングの有用性, 日本臨床麻酔学会第35回大会, 横浜, 2015, 11
- 2) “牧野兼三, 向井美恵, 深山治久, 黒崎友美子, 入野光市, 箱島光一, 江面陽子, 田村厚子, 亀田智, 茂呂祐康, 若林竹彦, 柴田勝”, 笑気吸入鎮静法が著効し歯科治療を円滑に行えた治療非協力自閉症患者の1例, 第32回日本障害者歯科学会総会および学術集会, 名古屋, 2015, 11
- 3) “上杉典子, 鈴木佐知子, 大上沙央理, 今村敏克, 牧野兼三, 大野由夏, 新井友理, 龍田恒康, 嶋田淳, 長坂浩, 清水良昭, 野露紘子, 小長谷光”, Williams 症候群の全身麻酔下歯科治療の周術期管理の1症例, 第32回日本障害者歯科学会総会および学術集会, 名古屋, 2015, 11

E. その他の研究会、講演など

- 1) “今村敏克, 大上沙央理, 大野由夏, 内田茂則, 小長谷光, 牧野兼三, 小林克江, 岸田全人, 長坂浩”, 明海大学歯学部 B L S 講習会救急医学会認定コース, 明海大学附属明海大学病院, 2015, 6
- 2) “今村敏克, 大上沙央理, 大野由夏, 内田茂則, 小長谷光, 牧野兼三, 小林克江, 岸田全人, 長坂浩”, 明海大学歯学部輪状甲状間膜穿刺ワークショップ, 明海大学附属明海大学病院, 2015, 6
- 3) “今村敏克, 大上沙央理, 大野由夏, 内田茂則, 小長谷光, 牧野兼三, 小林克江, 岸田全人, 長坂浩”, 明海大学歯学部 B L S 講習会救急医学会認定コース, 明海大学附属明海大学病院, 2015, 10
- 4) “今村敏克, 大上沙央理, 大野由夏, 内田茂則, 小長谷光, 牧野兼三, 小林克江, 岸田全人, 長坂浩”, 明海大学歯学部 ERAS 講習会, 明海大学附属明海大学病院, 2015, 12
- 5) “今村敏克, 大上沙央理, 大野由夏, 内田茂則, 小長谷光, 牧野兼三, 小林克江, 岸田全人, 長坂浩”, 明海大学歯学部 B L S 講習会救急医学会認定コース, 明海大学附属明海大学病院, 2016, 2

## 基礎数学・統計学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) Itaba A, Furuya T and Sanada K, “On the decomposition of the Hochschild cohomology group of a monomial algebra satisfying a separability condition,” *Communications in Algebra*, 43, pp2282-2292, 2015, 6

### E. その他の研究会、講演など

- 1) 古谷貴彦, 既約写像の合成について, 第 19 回神楽坂代数セミナー, 東京, 2015, 7



# 総合臨床医学講座

内 科 学 分 野

眼 科 学 分 野

## 内科学

### B. 学術論文

#### 1. 原著

- 1) 飯島里子, 長谷川彰彦, 後藤誠一, 古賀紀子: 歯学部学生における臨床実習および卒業試験・国家試験の影響－健康診断結果の検討－. CAMPUS HEALTH 52, 276-278, 2015

### D. 学会発表

#### 1. 国際学会

##### (3) 一般演題

- 1) Oono Y, Imamura T, Ogami S, Hasegawa A, Nagasaka H, Wang K, Arendt-Nielsen L and Kohase H: Conditioned pain modulation in healthy volunteers evaluated with a new custom-made quantitative cold pain stimulator. 9th Congress of the European Pain Federation, EFIC, Vienna, Austria, 2015. 9

#### 2. 全国学会

##### (3) 一般演題

- 1) 今村敏克, 上杉典子, 竹内菊子, 星島宏, 西澤秀哉, 内田茂則, 山西優一郎, 小林克江, 鈴木佐知子, 黒田翔太, 大野由夏, 大上沙央理, 長坂浩, 長谷川彰彦, 小長谷光: 新たに開発した定量的熱刺激装置. 第43回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 東京, 2015. 10

# 眼科学

## D. 学会発表

### 2. 全国学会

#### (3) 一般演題

- 1) 菅谷哲史、加島陽二、原田奈月子、古賀紀子、石川弘, 中高年男性にみられたレーベル病の2症例, 第53回日本神経眼科学会, 2015, 11
- 2) 古賀紀子, 斜視、弱視、遮蔽試験、立体視, 第38回コ・メディカル講習会, 2016, 2

# 特別研究室

M P L

# M P L

## A. 著書・訳本

### 1. 著書

- 1) Sheng H, Nakamura K, Kanno T, Sasaki K, and Niwano Y: Microbicidal activity of artificially generated hydroxyl radical. In: Interface Oral Health Science 2014, Sasaki K, Suzuki O, Takahashi N (eds) pp203-215, Springer, 2015, 9
- 2) 増田恵美、坂上宏 (監修) : 松かさリグノイドの魅力. 承文堂, 2015, 9

## B. 学術論文

### 1. 原著

- 1) Sakagami H, Sheng H, Ono K, Komine Y, Miyadai T, Terada Y, Nakada D, Tanaka S, Matsumoto M, Yasui T, Watanabe K, Junye J, Natori T, Suguro-Kitajima M, Oizumi H and Oizumi T: Anti-halitosis effect of toothpaste supplemented with alkaline extract of the leaves of *Sasa senanensis* Rehder. *In Vivo*, 30(2), 107-111, 2016, 3
- 2) Nakamura K, Ishiyama K, Sheng H, Ikai H, Kanno T and Niwano Y: Bactericidal activity and mechanism of photoirradiated polyphenols against Gram-positive and -negative bacteria. *J Agric Food Chem*. 63(35), 7707-7713, 2015, 9
- 3) Sheng H, Nakamura K, Kanno T, Sasaki K and Niwano Y: Bactericidal effect of photolysis of H<sub>2</sub>O<sub>2</sub> in combination with sonolysis of water via hydroxyl radical generation. *PLoS ONE*, 10(7), e0132445, 2015, 7
- 4) Tomomura M, Suzuki R, Shirataki Y, Sakagami H, Tamura N and Tomomura A: Rhinacanthin C inhibits osteoclast differentiation and bone resorption, Roles of TRAF6/TAK1/MAPKs/NF- $\kappa$ B/NFATc1 signaling. *PLoS ONE*, 10(6), e0130174, 2015. 6
- 5) Karki S, Das U, Umemura N, Sakagami H, Iwamoto S, Kawase M, Balzarini J, De Clercq E, Dimmock S, and Dimmock J: 3,5-Bis(3-alkylaminomethyl-4-hydroxy benzylidene)-4-piperidones, A novel class of potent tumor-selective cytotoxins. *J Med Chem* 59 (2), 763-769, 2016, 1
- 6) Garcia-Contreras R, Susigimoto M, Umemura N, Kaneko M, Hatakeyama Y, Soga T, Tomita M, Scougall-Vilchis RJ, Contreras-Bulnes R, Nakajima H and Sakagami H: Alteration of metabolomic profiles by titanium dioxide nanoparticles in human gingivitis model. *Biomaterials* 57, 33-40, 2015, 4

- 7) Gul IH, Yamali C, Yasa TA, Unluer E, Sakagami H, Tanc M and Supuran CT: Carbonic anhydrase inhibition and cytotoxicity studies of Mannich base derivatives of thymol. *J Enzyme Inhib Med Chem* 31(6), 1375-1380, 2016,2
- 8) Uesawa Y, Sakagami H, Ishihara M, Kagaya H, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Yahagi H, Takao K and Sugita Y: Quantitative structure-cytotoxicity relationship of 3-styryl-2H-chromenes. *Anticancer Res* 35, 5299-5308, 2015,10
- 9) Sakagami H, Uesawa Y, Ishihara M, Kagaya H, Kanamoto T, Terakubo S, Nakashima H, Takao K and Sugita Y: Quantitative structure-cytotoxicity relationship of oleoylamides. *Anticancer Res* 35, 5341-5355, 2015,10
- 10) Hino S, Nishiyama A, Matsuta T, Horie N, Shimoyama T, Tanaka S and Sakagami H: Quest for cells responsible for age-related increase of salivary glycine and proline. *In Vivo* 30(2), 91-97, 2016,3
- 11) Suzuki R, Sakagami H and Shirataki Y: New anti-oxidative compounds from *Rhinacanthus Nasutus*. *Heterocycles* 91(5), 1036-1041, 2015,4

## 2. 総説

- 1) Tomomura M and Tomomura A: Caldecrin: A pancreas-derived hypocalcemic factor, regulates osteoclast formation and function. *World J Biol Chem*, 6(4), 358-365, 2015,11

## C. その他の刊行物など

- 1) Sheng H and Sakagami H:中国の食材 食効・薬効 No.1 苡仁赤小豆湯. *New Food Industry*, 57(9), 54, 2015,9
- 2) Sheng H, Sakagami H and Shirataki Y:中国の食材 食効・薬効 No.2 夏バテに効く 緑豆湯. *New Food Industry*, 57(10), 62, 2015,10
- 3) Sheng H and Sakagami H:中国の食材 食効・薬効 No.3 秋の養生 百合根. *New Food Industry*, 57 (11), 28, 2015,11
- 4) Sheng H:中国の食材 食効・薬効 No.4 ヤギの乳で作る乳餅. *New Food Industry*, 57 (12), 71, 2015,12
- 5) Sheng H:中国の食材 食効・薬効 No.5 黄河文明の粟. *New Food Industry*, 58 (1), 56, 2016,1
- 6) Sheng H:中国の食材食効・薬効 No.6 女性のコスメティクス 藜. *New Food Industry*, 58(2), 86, 2016,2
- 7) Sheng H:中国の食材食効・薬効 No.7 羊肉. *New Food Industry*, 58(3), 40, 2016,3

- 8) 坂上 宏:これからの競争社会に立ち向かうには. 日薬理誌 145, 171-172, 2015, 4
- 9) 坂上 宏:組織の活性化と人材の育成 新たなスタートを迎えるにあたって. New Food Industry 57(4), 83-88, 2015, 4
- 10) 北嶋まどか、賈 俊業、名取 威徳、大泉浩史、大泉高明、渡邊康一、安井利一、坂上 宏: 対談、広がるクマ笹の可能性—最新研究から見る未来の可能性. New Food Industry 57 (9) 73-86, 2015, 9

#### D. 学会発表

##### 2. 全国学会

###### (3) 一般演題

- 1) 生宏、奥平准之、坂上宏、ジア・ジュンイエ、名取威徳、北嶋まどか、大泉浩史、大泉高明:ドキシソルビシンによるヒト口腔ケラチノサイト毒性の誘導-クマ笹葉アルカリ抽出液による抑制. 第 89 回日本薬理学会年会, 横浜, 2016, 3
- 2) 田村暢章, 友村美根子, 坂東健二郎、川口祥子, 嶋田淳、友村明人:細菌内毒素による破骨細胞分化誘導に対するカルデクリンの抑制効果. 第 33 回日本骨代謝学会, 東京、2015, 7
- 3) 田村暢章, 坂東健二郎、友村美根子, 川口祥子, 友村明人、嶋田淳:細菌感染による破骨細胞分化に対する Caldecrin の抑制効果. 第 60 回日本口腔外科学会総会、名古屋, 2015, 10
- 4) 坂東健二郎, 田村暢章, 川口祥子, 友村美根子, 友村明人:LPS により誘導される破骨細胞分化に対する Caldecrin の影響. 第 38 回日本分子生物学会年会・第 88 回日本生化学会大会合同大会 (神戸), 2015, 12
- 5) Tomomura M, Suzuki R, Shirataki Y, Sakagami H, Tamura N, and Tomomura A: Anti-osteoclastic activity of rhinacanthin C. 第 38 回日本分子生物学会年会・第 88 回日本生化学会大会合同大会 (神戸), 2015, 12
- 6) 坂上 宏、杉本昌弘、佐藤 聡、田沼靖一、高尾浩一、杉田義昭:(E)-3-(4-Hydroxystyryl)-6-methoxy-4H-chromen-4-one のヒト口腔扁平上皮癌細胞に対する腫瘍選択性および誘導される細胞死の解析. 第 133 回日本薬理学会関東部会、柏, 2015, 10
- 7) 植沢芳広、加賀谷肇、石原真理子、坂上宏、金本大成、寺久保繁美、中島秀喜、矢作秀明、高尾浩一、杉田義昭: 3-Styryl-2H-chromenes の定量的構造 - 細胞傷害性相関解析. 第 132 回日本薬理学会関東部会, 浦安, 2015, 7
- 8) 大野裕和、三好省三、新穂大介、金本大成、寺久保繁美、中島秀喜、須永克佳、天

野滋、坂上宏、山本正次:アルカリ抽出による甘草根の効率的利用. 第 132 回日本薬理学会関東部会, 浦安, 2015, 7

- 9) 賈 俊業、大泉高明、大泉浩史、北嶋まどか、名取威徳、田中庄二、松本 勝、安井利一、渡邊康一、坂上 宏:クマ笹アルカリ抽出液の口臭抑制作用,基礎研究から臨床研究へ. 第 132 回日本薬理学会関東部会, 浦安, 2015, 7
- 1 0) 木村優里子, 青山弘枝、下津祐樹、坂上 宏、波多野 力: ハンカチノキの成分 (第 2 報). 日本生薬学会第 62 回年会, 岐阜, 長良川国際会議場, 2015, 9
- 1 1) 坂上宏 田中庄二 村上幸生 片山直 天野修 横瀬敏志: ユージノールにより誘導される口腔正常細胞の代謝プロファイルの変化. 第 57 回歯科基礎医学会学術大会, 新潟, 2015, 9
- 1 2) 加藤崇雄、瀬上夏樹、坂上 宏: 漢方製剤および構成植物抽出液の LPS 様物質の混入と漢方製剤の炎症作用およびについて. 第 132 回日本薬理学会関東部会, 浦安, 2015, 7
- 1 3) 松島玄明, 新井由香, 今泉俊介, 鈴木龍一郎, 坂上宏, 白瀧義明: 口腔がんにも有効な生薬成分の探索. 日本生薬学会第 62 回年会, 岐阜, 長良川国際会議場, 2015, 9

### 3. 地方会

#### (1) 特別講演 (教育講演)

- 1) 友村美根子: 血清カルシウム降下因子 (カルデクリン) と骨代謝. 第 130 回日本薬理学会関東部会, ランチョンセミナー, 浦安, 千葉, 2015, 7

### E. その他の研究会、講演など

- 1) 坂上 宏、生 宏、大石隆介: 組織の活性化と人材の育成 国際的コミュニケーションの重要性. 平成 27 年度コミュニケーション教育学会合同研究会 (産業連合研究会)、日本医療科学大学, 坂戸, 埼玉, 2016, 3
- 2) 坂上宏: ササヘルスの多様な生物作用. 平成 27 年緑健会全国大会、TKP ガーデンシティ品川, 東京, 2015, 6

### F. 研究助成金等の受入れ

#### 1. 科学研究費助成事業

- 1) 友村美根子: 破骨細胞形成におけるリナカンチン C の抑制作用の分子メカニズム. 基盤研究(C) (課題番号: 25462898)
- 2) 坂上宏 (分担): 植物性食品および生薬中の抗腫瘍性物質としての抗分子ポリフェノール研究の展開、基盤(C) (課題番号: 25450170) (研究代表者: 波多野力)